Lui リモートスクリーンマニュアル

VALUESTAR
LaVie

このマニュアルについて

853-811090-001-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	利用の参考となる補足的な情報や、用語について説明しています。
	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの（ソフト&サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。
DVD/CDドライブ	パソコンに搭載されているブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
ワイヤレスTVデジタル添付モデル	地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を、ワイヤレスLANを使ってパソコンに送信する機能を搭載した「ワイヤレスTVデジタル」が添付されたモデルのことです。

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional Windows® 7 Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 3 Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版Service Pack 3
Windows Media Player	Windows Media® Player 12
Outlook	Microsoft® Office Outlook®
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express
Windows Live フォト ギャラリー	Windows Live® フォト ギャラリー
Windows Live メール	Windows Live® メール
Windowsメール	Windows®メール
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
タスクバー	Windows® タスクバー
ファイアウォール	Windows® ファイアウォール

◆ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4） 当社では、本ソフトウェアの運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5） 本ソフトウェアは、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本ソフトウェアを使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6） ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

◆商標

Microsoft、Windows、Windows Live、Hotmail、Internet Explorer、Outlook、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
NVIDIA、NVIDIA関連製品のロゴ、CUDA、GeForce、Quadro、Tesla、IONは、NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
TREND MICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。
Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）はBlu-ray Disc Associationの商標です。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
Aterm、SmartVisionは、日本電気株式会社の登録商標です。
LUI、リモートスクリーン、セーフコネクト、PCリモーターはNECパーソナルプロダクツ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

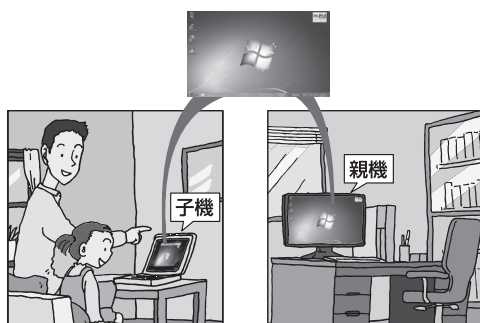
*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

目　次

PART 8

PART 9

Luiリモートスクリーンとは

Luiリモートスクリーンを使うと、ネットワーク接続した2台のパソコンで自宅内はもちろん、自宅外からも、一方のパソコン(子機と呼びます)から他方のパソコン(親機と呼びます)を操作できるようになります(※1)。
※1:自宅外から利用する際は、モバイル通信などインターネットへの接続が必要です。

▲親機の画面が子機に表示され、子機側で親機の画面を操作できます。

■Luiリモートスクリーンを利用するためには

次のような機器やネットワーク環境が必要です。

●親機用パソコン(※2)

Luiリモートスクリーン機能の親機として、Windows 7がプリインストールされているVALUESTARシリーズ、LaVieシリーズのパソコン(一部モデルを除く)をご用意ください。

●子機用パソコン(※2)

Luiリモートスクリーン機能の子機として、Windows 7がインストールされているLaVieシリーズのパソコン(一部モデルを除く)をご用意ください。

※2: 親機および子機に使用できるパソコンの最新情報については次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/taioukiki/

●ネットワーク環境

親機用パソコンと子機用パソコンをネットワークに接続する必要があります。詳しくは「PART1　ご使用前の準備」(p.1)をご覧ください。

Luiリモート
スクリーンで
できること

おすすめの使い方

持ち歩くのは子機だけ。
自宅にあるパソコン(親機)がいつも身近に。
自宅の好きな場所、外出先へも。

データは持ち出さなくてOK、親機(自宅)にあるから安心です。

自宅の中

ビデオ、写真、音楽を
みたい場所、聴きたい場所で
子機を好きな場所へ持って行って、お気に入りのコンテンツを楽しめます。

親機のソフトを有効利用
親機にしかインストールしていないソフトやデータも子機から利用できるので、子機へのインストールやコピーの手間が省けます。

続きは別の部屋で・・・
親機でしていた作業、続きは別の部屋で、というときも便利です。

外出先でも

自宅のパソコン(親機)を外出先から利用
外出先へは携帯しやすい子機を持って行って、自宅の親機にアクセス。普段使い慣れた親機の機能やソフトを利用できます。

データは1か所にまとめて保存
複数のパソコンを利用するときもデータを自宅の親機1台にまとめて保存すれば、データの分散や混在を防げます。

大切なデータの持ち出しも不要
データを自宅の親機に置いたまま利用できるので、紛失する心配が少なくなります。

※著作権保護されたコンテンツを子機から視聴することはできません。

Luiリモートスクリーンの機能

■リモートスクリーン(p.93)

「リモートスクリーン」とは、子機から親機を遠隔操作するNEC独自の機能です。
「リモートスクリーン」で親機に接続して動画再生を含むパソコン操作を利用できます。※1

※1:DVD再生や地デジ視聴、解像度の切り換えを伴うソフト、一部のオンラインゲーム、Direct Xを使用する一部のソフトなど、使用できない機能もあります。

■共有フォルダについて(p.131)

親機のフォルダの共有を有効にしておけば、ネットワークを経由して子機からそのフォルダ(共有フォルダ)にアクセスし、ファイルをやりとりできます。
外出先では、子機をインターネットに接続しておくことが難しい場合があります。また、電波の状況が悪いときは必要な通信速度が確保できないこともあります。
共有フォルダを使って、あらかじめ子機に必要なファイルをコピーしておけば、親機と接続できないときでも、子機でファイルを操作できます。※2

※2:コピーしたデータの編集・閲覧をするには子機にも対応したソフトが必要です。

■セーフコネクトについて(p.92)

子機と親機をインターネット経由で安全に接続するための、NEC独自のVPN(仮想プライベートネットワーク)技術です。

PART

1

ご使用前の準備

このPARTでは、Luiリモートスクリーンを使う前に準備するものや、あらかじめ設定しておく内容などを説明しています。

Luiリモートスクリーンご利用までの流れ

Luiリモートスクリーンを利用するには、次の準備と設定をおこなう必要があります。
準備や設定が正しくおこなわれないと、Luiリモートスクリーンが動作しないことがあります。

準　備 ▶ 初期設定 ▶ 利　用

作業の流れ

はじめに、このマニュアルを読む上で注意していただきたいことを説明します。

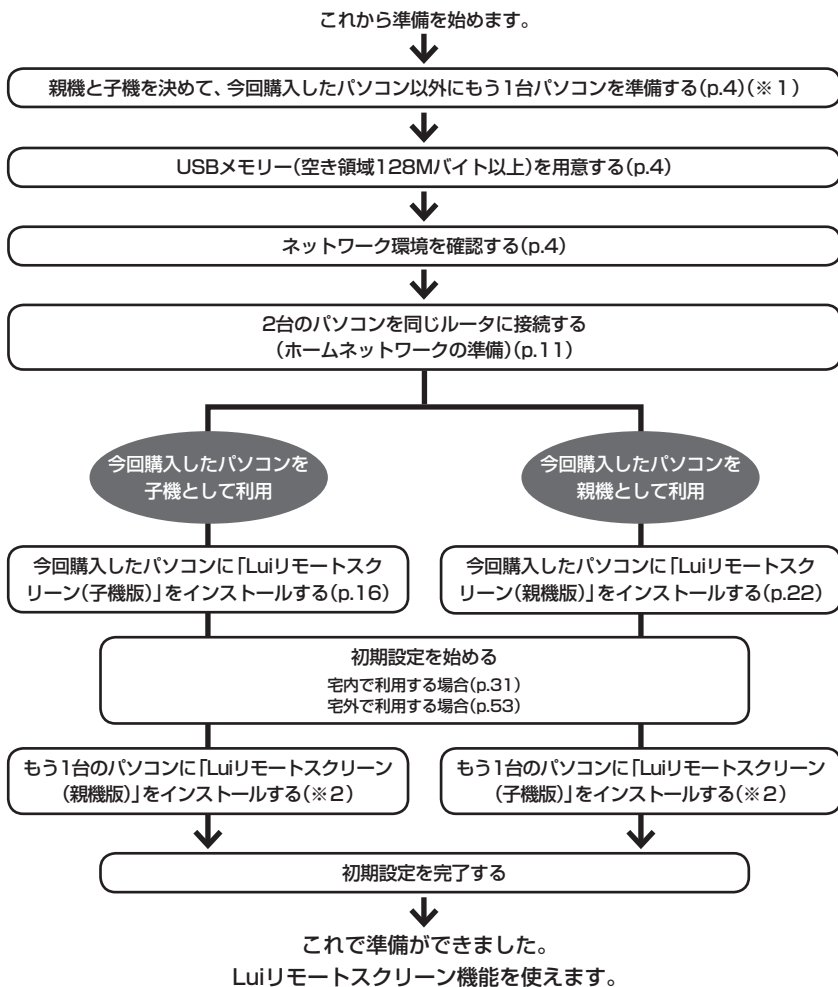
各機能の呼び方

このマニュアルでは、Luiリモートスクリーンの利用に関する各機器や各機能を次の名前で呼んでいます。

Luiリモートスクリーンの機能の概要については、「Luiリモートスクリーンでできること」(p.x)をご覧ください。

用語	意味
子機	「Luiリモートスクリーン(子機版)」がインストールされたパソコンを指します。
親機	「Luiリモートスクリーン(親機版)」がインストールされたパソコンを指します。
親機接続中	親機と接続している状態を指します。
宅内(接続)	親機と子機が同じルータに接続されている状態を指します。
宅外(接続)	親機と子機がインターネットを介して接続している状態を指します。
VALUESTARシリーズ	NEC製の個人向けデスクトップパソコンを指します。
LaVieシリーズ	NEC製の個人向けノートパソコンを指します。
初期設定	Luiリモートスクリーンを使い始める前に必ずおこなう設定を指します。設定後も変更ややりなおしが可能です。 初期設定の方法は、2つあります。宅内利用のみの場合は、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」を、宅内および宅外で利用する場合は、「マニュアル初期設定(宅内･宅外用)」をおこないます。

作業の流れ

使い始めるまでの準備について説明します。
ここでは、おおまかな流れをつかんでください。

ご使用前に確認すること

Luiリモートスクリーンをご利用になるには、ネットワークの回線やルータなどのネットワーク機器が必要です。

ここでは、設定をおこなう前に、必要なものがそろっているか確認します。

● **2台のパソコン**

Luiリモートスクリーンを使うには、親機と子機が必要です。このPARTの「親機と子機を決める」(p.8)をご覧になり、今回購入したパソコンを親機、子機のどちらで使用するかを決めた後、接続して使うためのパソコンをもう１台準備してください。

● **USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)**

この後におこなう「かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「マニュアル初期設定(宅内･宅外用)」(p.53)の手順の中でソフトをUSBメモリーを使ってコピーし、もう1台のパソコンにインストールします。USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)を準備しておいてください。

● **ネットワーク環境**

必要なネットワーク環境について、次の「ネットワーク接続について」をご覧ください。

ネットワーク接続について

親機と子機を接続するには、ホームネットワーク(宅内/宅外利用の場合)およびインターネット(宅外利用の場合)の設定が必要です。親機、子機のマニュアルをご覧になり、あらかじめ設定をおこない、子機で親機およびインターネットに接続できることを確認しておいてください。

■ネットワーク接続をするために用意するもの

◎：利用シーンに関係なく、Luiリモートスクリーン使用にあたり必須
○：サービスや機能を利用する場合に必要

◆親機側

用意するもの		宅内	宅外	備考
ルータ（※1※2）	UPnP対応		◎	UPnPは、複雑な操作をすることなく、機器をネットワークに接続し、ネットワークを通じて操作する規格です。
	DHCP対応	○	○	DHCP機能を有効にすることをおすすめします。 DHCPは、機器がネットワークに接続する際に必要な情報を提供する機能です。
	グローバルIPアドレスの割り当て		◎	グローバルIPアドレスは、インターネットにつながっている機器に割り振られた、ほかと重複することのないIPアドレスです。宅外でLuiリモートスクリーンを利用するには、ご自宅のルータにグローバルIPアドレスが割り振られている必要があります。グローバルIPアドレスは「動的」「固定」のどちらでもかまいません。ご自宅のルータにグローバルIPアドレスが割り振られているかについては、ご利用の「インターネットサービスプロバイダ」（プロバイダ）にお問い合わせください。
	有線LANまたは無線LAN	◎	◎	有線LANをご利用の場合、使用するルータにLANの空きポートが足りないときは、スイッチングハブなどが必要です。接続方法は、「ネットワーク接続図」（p.11）を参考にしてください。親機が無線LANを搭載している場合、無線LANも利用できます。
LANケーブル（※1）		○	○	有線LANをご利用の場合、準備してください。
メールアカウント			◎	メールアカウントは、使用する受信メールサーバがPOP3のものを使用してください（※3）。 Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。また、迷惑メールフィルタをご利用になっている場合、セーフコネクトが正常に動作しないことがあります。

用意するもの	宅内	宅外	備考
ブロードバンド回線		◎	宅外でLuiリモートスクリーンを利用するには、インターネットサービスプロバイダ(プロバイダ)とのご契約が必要になります。 回線速度(上り回線の帯域)の目安は、親機側のブロードバンド回線が1Mbps以上(FTTH)を推奨します。 回線速度の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

※1: 有線LANの場合、ルータのLANポートとパソコン本体のLANコネクタをLANケーブルで接続します。
無線LANの場合、お使いの環境に合わせてネットワークに接続してください。

※2: ルータのファームウェアを最新にしてください。ファームウェアは、ルータの動作を制御するソフトウェアで、ルータに内蔵されています。お使いのルータのメーカーのホームページからダウンロードすることで、最新の機能を利用できます。詳しくは、ルータのマニュアルをご覧ください。

※3: 受信メールサーバが、「HTTP(Webメール)」「Microsoft Exchange Server」「IMAP」「POP3 over SSL」などPOP3以外のメールアカウントは使用できません。

◆子機側

用意するもの	宅内	宅外	備考
有線LANまたは無線LAN	◎	◎	有線LANをご利用の場合、使用するルータにLANの空きポートが足りないときは、スイッチングハブなどが必要です。接続方法は、「ネットワーク接続図」(p.11)を参考にしてください。無線LANを使用する場合、子機と接続できる無線LAN 環境が必要です。
LANケーブル(※1)	○	○	有線LANをご利用の場合、準備してください。
インターネットに接続できる環境(※2)		◎	外出先からインターネットに接続するには、 ・データ通信カードによる接続サービス ・公衆無線LANのスポットサービス ・ホテルのインターネット接続サービス などを別途ご利用ください。 モバイルWiMAXやHSDPAなどの高速な回線(実効速度約1Mbps以上)のご利用をおすすめします。

※1：有線LANの場合、ルータのLANポートとパソコン本体のLANコネクタをLANケーブルで接続します。
　　無線LANの場合、お使いの環境に合わせてネットワークに接続してください。
※2：回線速度については、PART5の「リモートスクリーンの各種機能について」-「Luiリモートスクリーンメニュー」-「回線速度」(p.113)をご覧ください。

親機と子機を決める

親機・子機とは

Luiリモートスクリーンを使用して遠隔で操作されるパソコンを親機、操作するパソコンを子機と呼びます。
まず、今回購入したパソコンを親機にするか、子機にするか決めます。次に、接続して使うためのパソコンをもう１台準備します（※）。

※：今回購入したパソコンを親機にするかたは、子機を準備してください。
　　今回購入したパソコンを子機にするかたは、親機を準備してください。

親機・子機として利用できるパソコンには条件があります。詳しくは、次の「親機を準備する」「子機を準備する」をご覧ください。

親機を準備する

親機用パソコンとして、Windows 7がプリインストールされているVALUESTARシリーズ、LaVieシリーズのパソコン（一部モデルを除く）をご用意ください。

使用できるパソコンの最新情報については次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/taioukiki/

- 親機は、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能（縦長表示状態での接続）はサポートしていません。
- Luiリモートスクリーンで親機に接続するためには、親機側のWindows ユーザー アカウントが管理者権限のあるユーザーである必要があります。
- PCリモーターサーバボードを搭載したパソコンをお持ちの場合、すでにインストールされているPCリモーターサーバソフトをアンインストール後に「Luiリモートスクリーン（親機版）」をインストールして親機として使用することができます。なお、インストールの途中で、画面の表示にしたがってPCリモーターサーバボードを初期化してください（「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」の手順5のチェック（p.27））。

子機を準備する

子機用のパソコンとして、Windows 7がプリインストールされているLaVieシリーズのパソコン(一部モデルを除く)をご用意ください。
使用できるパソコンの最新情報については次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/taioukiki/

VALUESTAR R Luiモデルを親機として利用する場合

Luiリモートスクリーン(親機版)では、PCリモーターサーバボードのリモートパワーオン機能は利用できません。リモートパワーオン機能を利用したい場合は、以下をご覧ください。

●すでにVALUESTAR R Luiモデルでリモートスクリーン機能(PCリモーターソフト)を利用している場合

＜親機＞
PCリモーターサーバソフトを最新にする必要があります。詳しくは次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/taioukiki/

＜子機＞
- 今回購入したパソコンを子機として使う場合は、今回購入したパソコンにのみ、Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールしてください。その後、マニュアル初期設定(宅内･宅外用)をおこなってください(※)。
- すでにLaVie LightシリーズでPCリモーターソフトを使用している場合は、Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールする必要はありません。ただし、再度初期設定をおこなってご利用ください。

●VALUESTAR R Luiモデルでリモートスクリーン機能(PCリモーターソフト)を使用していない場合

＜親機＞
PCリモーターサーバソフトをインストールする必要があります。詳しくは次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/catalog/taioukiki/

＜子機＞
今回購入したパソコンを子機として使う場合は、今回購入したパソコンのみに、Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールしてください。その後、マニュアル初期設定(宅内･宅外用)をおこなってください(※)。

※:かんたんステップ初期設定(宅内用)はご利用いただけません。

ソフトのインストールについて

Luiリモートスクリーンを使用するには、次の２つのソフトを親機と子機にそれぞれインストールします。
２つのソフトは、今回購入したパソコンのハードディスクに格納されています。

ソフト名	ファイル名	説　明
Luiリモートスクリーン（親機版）	Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール.exe（※）	親機とするパソコンにインストールします。
Luiリモートスクリーン（子機版）	Luiリモートスクリーン（子機版）のインストール.exe（※）	子機とするパソコンにインストールします。

※：お使いの環境によっては、ファイル名が「Luiリモートスクリーン（子機版）のインストール」、「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」と表示される場合があります。

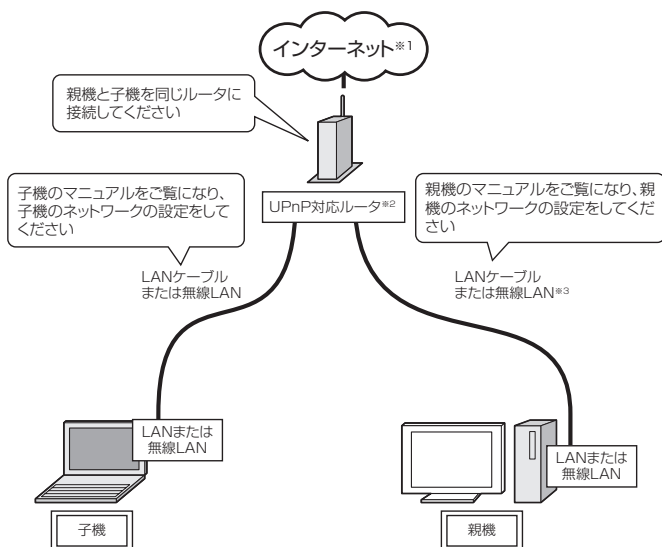
- 今回購入したパソコンで親機版または子機版のどちらかをインストールします。その後、「かんたんステップ初期設定（宅内用）」（p.31）または「マニュアル初期設定（宅内･宅外用）」（p.53）の手順の中でソフトをUSBメモリーを使ってコピーし、もう1台のパソコンにインストールします。USBメモリー（空き領域128Mバイト以上）を準備しておいてください。
- 1台のパソコンに子機と親機の両方はインストールできません。どちらか一方をインストールしてください。

- 今回購入したパソコンにLuiリモートスクリーン（親機版）をインストールする→このPARTの「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」（p.22）
- 今回購入したパソコンにLuiリモートスクリーン（子機版）をインストールする→このPARTの「Luiリモートスクリーン（子機版）のインストール」（p.16）

2台のパソコンを同じルータに接続する（ホームネットワークの準備）

ルータと接続する

親機と子機を同じルータに接続します。
ルータの設定に関する注意事項(p.12)もご覧ください。

ネットワーク接続図

※1：子機のLuiリモートスクリーンを宅外で使用するときにインターネット接続環境が必要です。宅内のみで使用する場合、インターネット接続環境は不要です。
※2：DHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。
※3：親機の接続は、有線LANをおすすめします。

親機、子機のセキュリティソフトは、ご購入時にインストールされているウイルスバスターのご利用をおすすめします。
そのほかのセキュリティソフトをご利用になる場合は、PART3の「セキュリティソフトの設定について」(p.80)をご覧になり、設定をおこなってください。

宅外から親機に接続してご利用になる場合、親機とルータに関する次の点もご確認ください。

- **親機を接続するルータに、グローバルIPアドレスが割り振られている**

  グローバルIPアドレスが割り振られていないと、子機を宅外から接続することができません。プロバイダからグローバルIPアドレスが割り振られているか確認してください。

- **親機を接続しているルータを2段以上つないで使用しない**

  ルータを2段以上つなぐと、親機をつないでいるルータにグローバルIPアドレスが割り振られず、子機を宅外から接続できません。
  プロバイダなどからレンタルされているルータやマンションなどで管理されているルータがある場合、新たに無線LANのルータを接続すると、2段つなぎになりますのでご注意ください。

- **ほかのパソコンなどで同じメールアドレスのメールを同時に受信しない**

  子機は、接続開始時に親機とメールのやりとりをおこないます。このメールが親機でないほかの機器に取得されてしまうと、接続できなくなります。接続時はほかの機器からのメール受信がおこなわれないようにするか、メールのコピーを親機に残す設定をおこなってください。

- **接続時に送受信するメールが迷惑メールと見なされない設定にする**

  接続時に送受信するメールをインターネットプロバイダが、迷惑メールと見なしてフィルタしている場合、接続できなくなります。
  迷惑メールフィルタをご利用の場合、迷惑メールの例外設定で、メールヘッダーに次の文字を含むものを例外条件として設定してください。
  X-Mailer: SafeConnect

- **接続時に送受信するメールをメール転送する際、受信メールサーバから自動削除しない**

  接続時に送受信するメールを受信メールサーバなどでほかのメールアドレスへ自動転送する設定をおこなう際、転送されたメールを自動削除する設定にすると接続できません。転送後も受信メールサーバに残すように設定してください。

- **親機が外部から接続可能な状態になっている**

  スリープ状態、休止状態、シャットダウン状態の場合、接続できません。パソコンが動作中になっていることを確認してください。
  なお、親機がWoL(Wake on LAN)機能に対応している場合、市販のWoL対応ルータを利用して、子機から親機を起動できます(※)。
  お使いの親機がWoLに対応しているかどうかや利用方法について詳しくは、親機に添付のマニュアルおよびWoLに対応したルータのマニュアルをご覧ください。WoL機能で親機を起動後、リモートスクリーン接続の操作をおこなってください。
  ※:親機を無線LANで接続している場合は、WoL機能は使用できません。

子機、親機のネットワーク設定を確認する

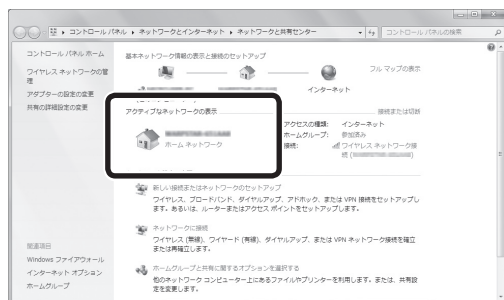
宅外から接続する場合は、親機でインターネットとメールが利用できることを確認してください。インターネットの接続設定については、ご契約の回線事業者/インターネットサービスプロバイダの情報にしたがって設定してください。

なお、「PART2 かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「PART3 マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)をおこなう前に、子機と親機を「ホームネットワーク」に接続する必要があります。
次の説明をご覧になり、子機と親機が「ホームネットワーク」に接続されているかを子機、親機の順に確認し、接続されていない場合は接続をおこなってください。

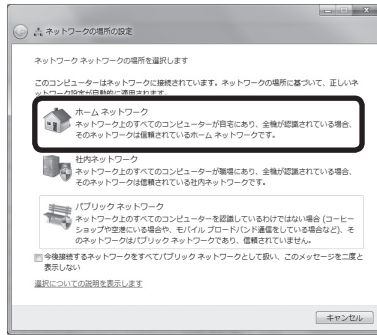
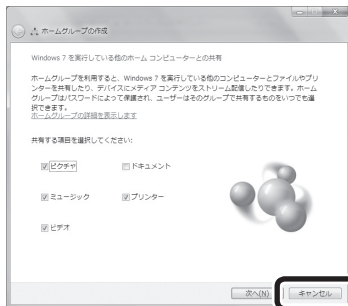
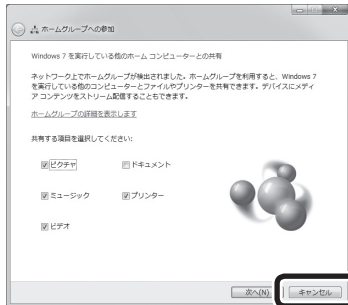
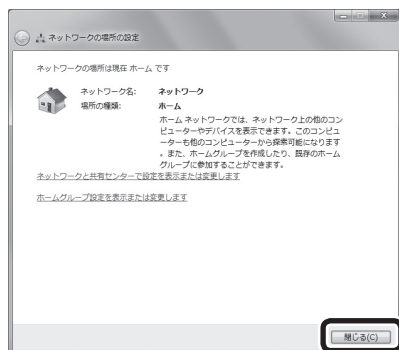
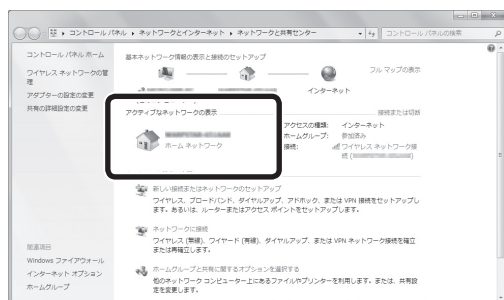
● **子機がホームネットワークに接続されていることを確認する**
まず、次の手順で、子機が「ホームネットワーク」に接続されているかを確認し、接続されていない場合は、接続までをおこないます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする

2 「アクティブなネットワークの表示」に「ホーム ネットワーク」と表示されている場合、[x]をクリックして画面を閉じる

「ホーム ネットワーク」と表示されている場合、すでに子機がホームネットワークに接続されています。続いて、「● 親機がホームネットワークに接続されていることを確認する」(p.15)へ進んでください。

「パブリックネットワーク」または「社内ネットワーク」と表示されている場合は、手順3へ進んでください。

3 「社内ネットワーク」または「パブリックネットワーク」をクリックする

途中で[ネットワークの場所の設定]画面が表示された場合、「ホームネットワーク」をクリックしてください。

「ホームグループへの参加」または「ホームグループの作成」が表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。

「ネットワークの場所の設定」が表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。

4 ネットワーク接続後、「アクティブなネットワークの表示」に「ホーム ネットワーク」が表示されていることを確認し、[x]をクリックする

これで、子機がホームネットワークに接続されました。続いて、親機の確認をおこないます。次の「● 親機がホームネットワークに接続されていることを確認する」へ進んでください。

● 親機がホームネットワークに接続されていることを確認する

上記と同様の手順で、親機が「ホームネットワーク」に接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、上記と同様の手順で、親機も「ホームネットワーク」に接続してください。

これで、子機と親機が「ホームネットワーク」に接続されていることを確認できました。

今回購入したパソコンを親機として使用する場合、「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」（p.22）へ進んでください。
今回購入したパソコンを子機として使用する場合、「Luiリモートスクリーン（子機版）のインストール」（p.16）へ進んでください。

Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール

Luiリモートスクリーンを使用するには、子機に「Luiリモートスクリーン(子機版)」、親機に「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールし、初期設定をおこないます。

ここでは、子機とするパソコンに「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールする方法について説明します。

●今回購入したパソコンを子機として使用する場合、以下の説明をご覧ください。
●今回購入したパソコンを親機として使用する場合、「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)へ進んでください。

・親機とするパソコンへ「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールする方法については、このPARTの「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)をご覧ください。
・1台のパソコンに子機と親機の両方のソフトはインストールできません。
・インストールするには、インストール先のハードディスク空き容量が200Mバイト以上必要です。
・必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。
・起動中のほかのアプリケーションは終了させてから、インストールしてください。
・ルータのDHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。
・ウイルス検出ソフトなどセキュリティソフトを使用していると、「インストールを許可しますか」「通信を許可しますか」などセキュリティの警告が出ることがあります。その場合、「許可する」「はい」などをクリックしてください。インストールを許可しない場合は、インストールはおこなわれません。
・ユーザー アカウント制御の確認で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合、表示されているプログラム名を確認し問題なければ「はい」をクリックしてください。この確認画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。
・Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールするには、PCリモーターソフトをアンインストールする必要があります。「スタート」-「コントロールパネル」からPCリモーターソフトをアンインストールした後、Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールしてください。

今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールする手順について、以下に説明します。

パソコンを子機として使用できることを確認する

▼

「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」を起動する(以下の手順1)

▼

Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールする
(以下の手順2 ～ 5)

子機として使用できるパソコンについて→このPARTの「親機と子機を決める」(p.8)

1 子機とするパソコンで「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」をクリックする

このメニューは、「Luiリモートスクリーン(子機版)」または「Luiリモートスクリーン(親機版)」がすでにインストール済みの場合、表示されません。どちらかのソフトがインストール済みの場合は、「PART2 かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「PART3 マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)へ進んでください。

このメニューが表示されない場合は、親機に「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールしてから、「PART2 かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「PART3 マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)へ進んでください。初期設定の途中でインストールします。

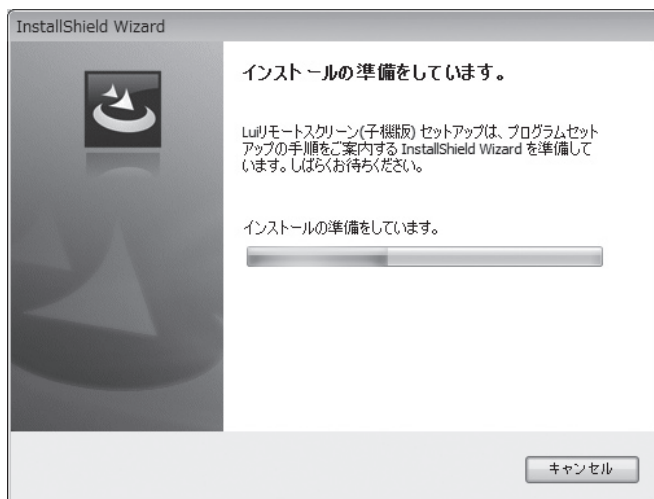
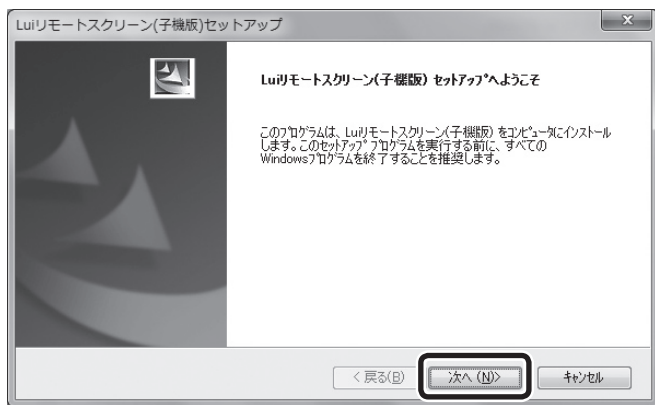
初期設定は、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」または「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」のどちらかひとつをおこないます。Luiリモートスクリーンを宅内のみで利用する場合、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」を、宅内・宅外から利用する場合、「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をおこないます。

2 [ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか? プログラム名:Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール.exe」と表示された場合、「はい」をクリックする

この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

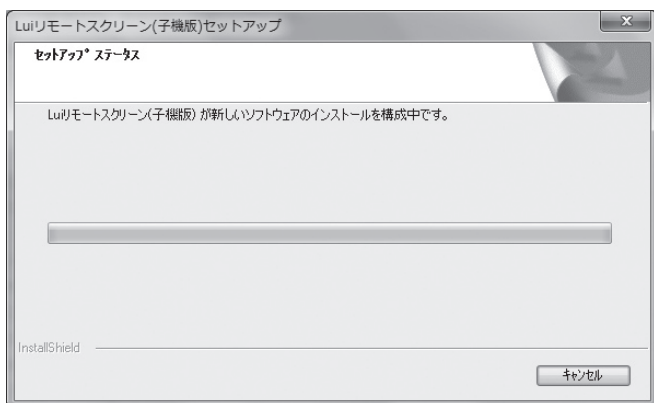
チェック

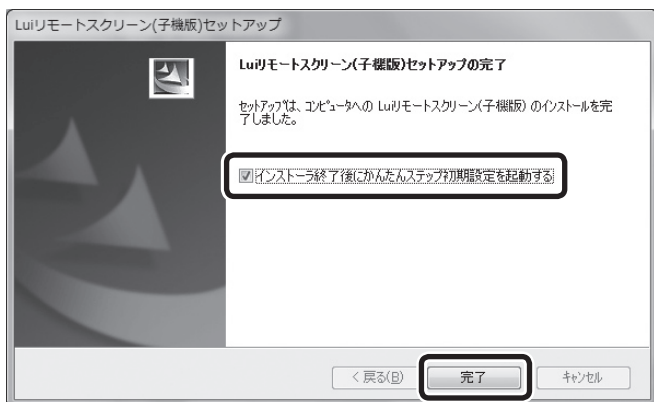
USBメモリーに格納したファイルを使ってインストールする場合、「ファイルの入手先」には「このコンピューター上のリムーバブルメディア」と表示されます。

次の画面が表示されます。

3 [Luiリモートスクリーン(子機版)セットアップへようこそ]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

4 [プログラムフォルダ指定]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

通常は変更の必要はありません。そのまま「次へ」をクリックしてください。

お使いの環境によって画面が異なることがあります。その場合も、通常、インストール先の変更の必要はありません。

［セットアップ ステータス］画面が表示され、インストールがおこなわれます。
画面が止まっているように見えることがありますが、そのまま何もしないでしばらくお待ちください。

5 ［Luiリモートスクリーン（子機版）セットアップの完了］画面が表示されたら、宅内のみで利用する場合、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」が☑になっていることを確認して、「完了」をクリックする

かんたんステップ初期設定は、宅内のみで利用する場合の初期設定です。宅外からも利用する場合は、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」を□にして、「完了」をクリック後、PART3の「初期設定（子機）」（p.58）へ進んでください。

・Luiリモートスクリーン(子機版)が起動します。
「PART2　かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「PART3 マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)へ進んでください。

・親機のかんたんステップ初期設定(宅内用)の途中でインストールをおこなった場合は、PART2の「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」の手順4-6(p.48)へ進んでください。
・親機のマニュアル初期設定(宅内・宅外用)の途中でインストールをおこなった場合は、PART3の「初期設定(親機)」の手順11-5(p.73)へ進んでください。

Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール

Luiリモートスクリーンを使用するには、親機に「Luiリモートスクリーン(親機版)」、子機に「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールし、初期設定をおこないます。

ここでは、親機に「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールする方法について説明します。

●今回購入したパソコンを親機として使用する場合、以下の説明をご覧ください。
●今回購入したパソコンを子機として使用する場合、「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)へ進んでください。

- 子機とするパソコンへ「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールする方法については、このPARTの「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)をご覧ください。
- 1台のパソコンに子機と親機の両方のソフトはインストールできません。
- インストールするには、インストール先のハードディスク空き容量が200Mバイト以上必要です。
- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- 起動中のほかのアプリケーションは終了させてから、インストールしてください。
- ルータのDHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。
- ウイルス検出ソフトなどセキュリティソフトを使用していると、「インストールを許可しますか」「通信を許可しますか」などセキュリティの警告が出ることがあります。その場合、「許可する」「はい」などをクリックしてください。インストールを許可しない場合は、インストールはおこなわれません。

チェック

- ユーザー アカウント制御の確認で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合、表示されているプログラム名を確認し問題なければ「はい」をクリックしてください。この確認画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコン をクリックして表示させてください。
- 「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールするには、PCリモーターサーバソフトをアンインストールする必要があります。「スタート」-「コントロールパネル」からPCリモーターサーバソフトをアンインストールした後、Luiリモートスクリーン(親機版)をインストールしてください。
  また、インストールの途中で、画面の表示にしたがってPCリモーターサーバボードを初期化してください(「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」の手順5のチェック(p.27))。

参照

PCリモーターサーバソフトのアンインストールについて→付録の「PCリモーターサーバソフトのアンインストール」(p.191)

今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールする手順について、以下に説明します。

親機へのインストール作業の流れは次のようになっています。
必要な作業は、お使いの環境によって異なります。必要な作業が画面に表示されるので、画面のメッセージにしたがって進んでください。

パソコンを親機として使用できることを確認する

「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」を起動する(以下の手順1)

Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールする
(以下の手順2 ～ 6)

参照

親機として使用できるパソコンについて→このPARTの「親機と子機を決める」(p.8)

1 親機とするパソコンで「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」をクリックする

このメニューは、すでに「Luiリモートスクリーン(子機版)」または「Luiリモートスクリーン(親機版)」がインストールされている場合、表示されません。どちらかのソフトがインストール済みの場合は、「PART2 かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「PART3 マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)へ進んでください。

このメニューが表示されない場合は、子機に「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールしてから、「PART2 かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)または「PART3 マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)へ進んでください。初期設定の途中で親機版をインストールします。

メモ

初期設定は、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」または「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」のどちらかひとつをおこないます。Luiリモートスクリーンを宅内のみで利用する場合、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」を、宅内・宅外から利用する場合、「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をおこないます。

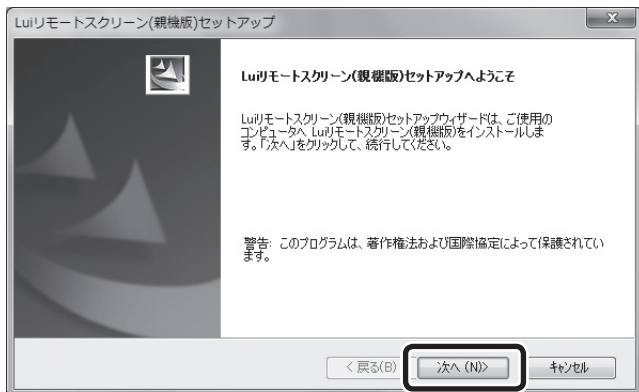
2 [ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか? プログラム名:Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール.exe」と表示された場合、「はい」をクリックする

この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

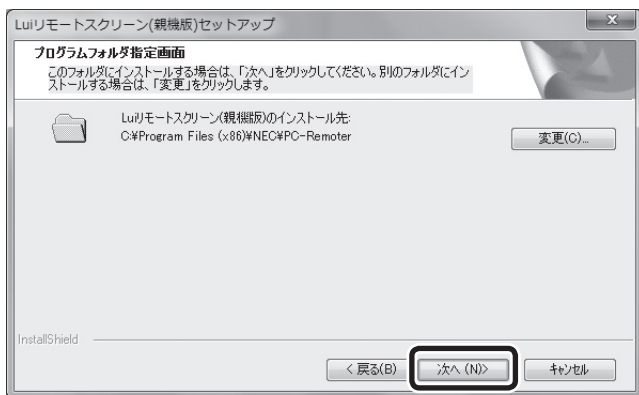
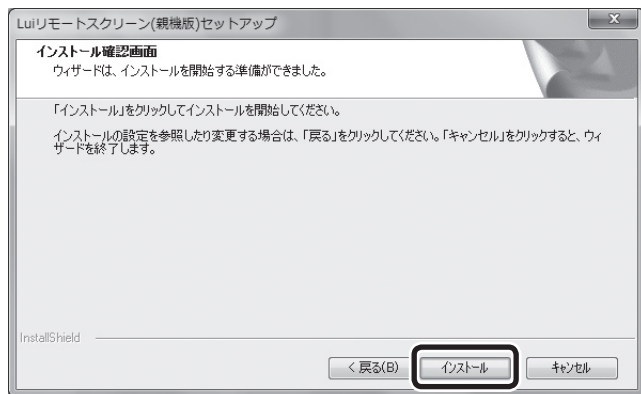
チェック

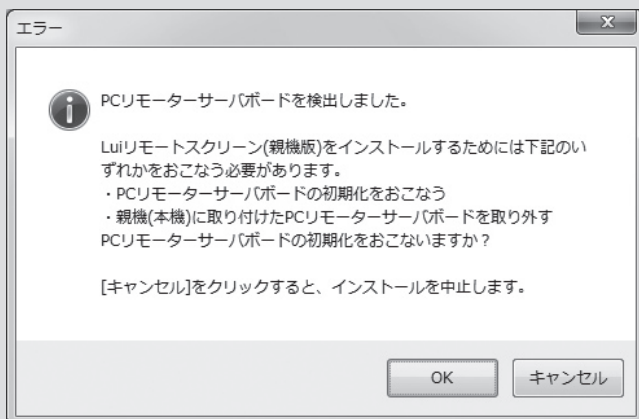
- USBメモリーに格納したファイルを使ってインストールする場合、「ファイルの入手先」には「このコンピューター上のリムーバブルメディア」と表示されます。
- PCリモーターサーバソフトがインストールされている場合は、付録の「PCリモーターサーバソフトのアンインストール」(p.191)をご覧になりアンインストールをしてください。

3 「セットアップの準備」と表示された後、[Luiリモートスクリーン(親機版) セットアップへようこそ]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

以降、表示される画面については、変更しないで「次へ」をクリックし、インストールを進めてください。

4 [プログラムフォルダ指定]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

通常は変更の必要はありません。そのまま「次へ」をクリックしてください。

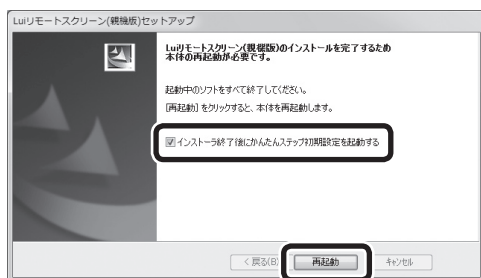
お使いの環境によって画面が異なることがあります。その場合も、通常、インストール先の変更の必要はありません。

5 [インストール確認]画面が表示されたら、「インストール」をクリックする

「Luiリモートスクリーン(親機版)をインストールしています。しばらくお待ちください。」と画面に表示されるので、そのまましばらくお待ちください。

PCリモーターサーバボードが搭載されたパソコンの場合、次の画面が表示されます。

・Luiリモートスクリーン（親機版）をインストールするには「OK」をクリックして、PCリモーターサーバボードの初期化をおこなってください。
・「キャンセル」をクリックすると、インストールを中止します。

※以前、初期設定をおこなったことがある場合は、「OK」をクリックして、インストール完了後、PCリモーターサーバボードを取り外してください。

6 「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストールを完了するため本体の再起動が必要です。」と表示されたら、宅内のみで利用する場合、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」が☑になっていることを確認して、「再起動」をクリックする

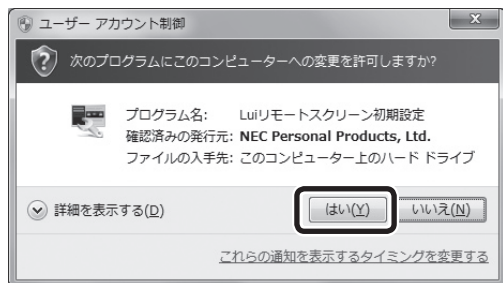
「かんたんステップ初期設定（宅内用）」は、宅内のみで利用する場合の初期設定です。宅外からも利用する場合は、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」を□にして、「再起動」をクリック後、PART3の「初期設定（親機）」（p.63）へ進んでください。

なお、子機のマニュアル初期設定（宅内・宅外用）の途中でインストールをおこなった場合は、PART3の「初期設定（親機）」（p.63）へ進んでください。

必ず上記画面の「再起動」をクリックして親機を再起動してください。「再起動」をクリックしないと、インストールが正しく完了できません。
なお、「再起動」をクリックした後、一時的にキーボードやマウスの反応が悪くなったり、反応しなくなることがあります。その場合は、再起動後に使用可能になりますので、再起動するまでお待ちください。

パソコンが再起動します。
これでLuiリモートスクリーン（親機版）のインストールは完了です。

手順6で「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」を☑にした場合、次の手順7へ進んでください。

7 手順6で「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」が ☑になっている場合、再起動後に[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？　プログラム名:Luiリモートスクリーン初期設定」と表示されたら、「はい」をクリックする

この画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

この画面が表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。

この後は、次のように進んでください。

- [かんたんステップ初期設定へようこそ]画面が表示された場合は、PART2の「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」(p.42)へ進んでください。
- 子機のかんたんステップ初期設定(宅内用)の途中でインストールをおこなった場合は、PART2の「かんたんステップ初期設定(宅内用)(子機)」の手順3-6(p.40)へ進んでください。

PART

2

かんたんステップ初期設定（宅内用）

このPARTでは、Luiリモートスクリーンを自宅内のみで利用するための初期設定を説明しています。

Luiリモートスクリーンご利用までの流れ

Luiリモートスクリーンを利用するには、設定をおこなう必要があります。
設定が正しくおこなわれないと、Luiリモートスクリーンが動作しないことがあります。

初期設定について

初期設定は、Luiリモートスクリーンをはじめて使用するときに親機、子機でおこなう設定です。初期設定をしないとLuiリモートスクリーンを使用できません。一度初期設定をおこなった後も、やりなおしたり、変更したりすることができます。

参照

初期設定のやりなおしや変更について→PART3の「初期設定のやりなおしや変更、親機の削除について」(p.79)

初期設定は、親機と子機ともに起動した状態で作業します。
次のどちらかひとつの方法でおこないます。

- **かんたんステップ初期設定(宅内用)**
  Luiリモートスクリーン機能を宅内のみから利用する場合におこないます。
  このPARTをご覧ください。

- **マニュアル初期設定(宅内・宅外用)**
  Luiリモートスクリーン機能を宅内のほか宅外からも利用する場合におこないます。
  「PART3　マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)をご覧ください。

このPARTでは、かんたんステップ初期設定(宅内用)の手順について説明します。

かんたんステップ初期設定(宅内用)を始める前に

準備するもの

かんたんステップ初期設定(宅内用)を始める前に次のことを確認してください。

●2台のパソコンを用意

親機と子機が必要です。PART1の「親機と子機を決める」-「親機を準備する」(p.8)、「子機を準備する」(p.9)をご覧になり、親機と子機を用意してください。

●ソフトのインストール

今回購入したパソコンを親機または子機とする場合、PART1をご覧になり、親機とするパソコンに「Luiリモートスクリーン(親機版)」、または子機とするパソコンに「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールしてください。
この段階では親機か子機のどちらかにインストールしておき、後でもう一方のパソコンにインストールする手順をこれから説明します。

参照

・今回購入したパソコンでLuiリモートスクリーン(親機版)をインストールする→PART1の「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)
・今回購入したパソコンでLuiリモートスクリーン(子機版)をインストールする→PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)

・これからおこなう「かんたんステップ初期設定(宅内用)」の途中でソフトをUSBメモリーにコピーし、もう1台のパソコンにインストールします。USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)を準備しておいてください。
・1台のパソコンに子機と親機の両方はインストールできません。どちらか一方をインストールしてください。
・かんたんステップ初期設定(宅内用)では、1台の子機に複数台の親機を登録することはできません。

●空き領域128Mバイト以上のUSBメモリーを用意
●親機と子機を同じルータに接続する

参照

親機と子機のネットワーク接続について→PART1の「2台のパソコンを同じルータに接続する(ホームネットワークの準備)」(p.11)

このPARTでは、かんたんステップ初期設定(宅内用)の手順について説明します。
また、子機と親機を交互に操作するため、次の説明を読みながら進めてください。

初期設定を始める

かんたんステップ初期設定(宅内用)開始から準備完了までの流れ

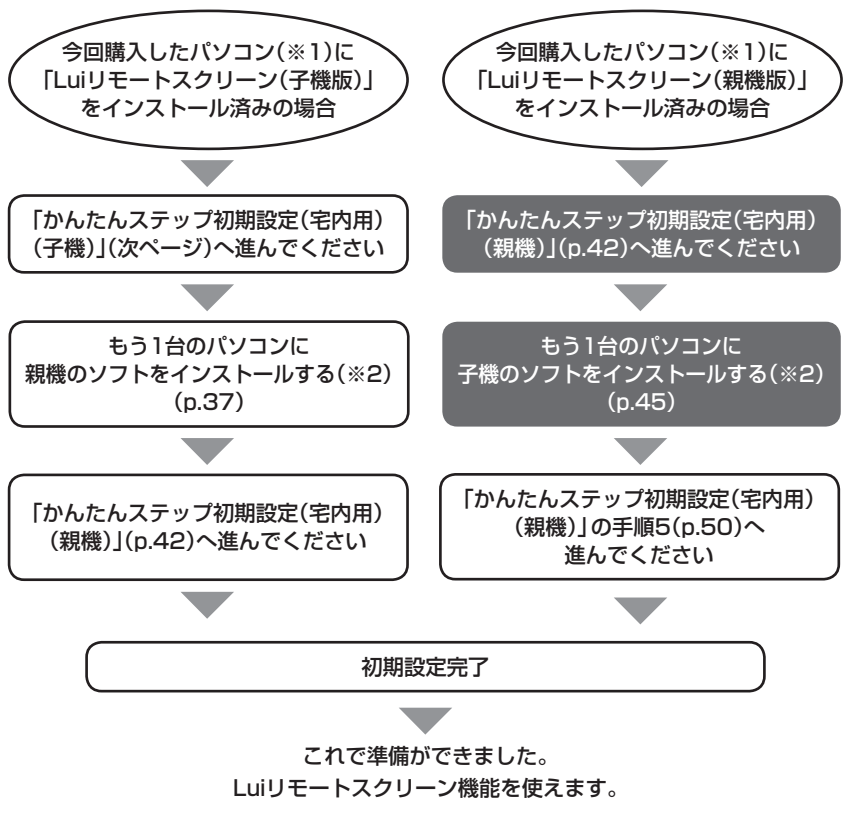
お使いの環境に合わせて進めてください。
初期設定では、親機と子機の設定を交互におこなうため、親機と子機を近くに置いて始めると便利です。

■：このマニュアルでの掲載順序が逆になっていますので、ご注意ください。

今回購入したパソコン(※1)に「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストール済みの場合	今回購入したパソコン(※1)に「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストール済みの場合
▼	▼
「かんたんステップ初期設定(宅内用)(子機)」(次ページ)へ進んでください	「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」(p.42)へ進んでください
▼	▼
もう1台のパソコンに親機のソフトをインストールする(※2)(p.37)	もう1台のパソコンに子機のソフトをインストールする(※2)(p.45)
▼	▼
「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」(p.42)へ進んでください	「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」の手順5(p.50)へ進んでください
▼	▼

初期設定完了

▼

これで準備ができました。
Luiリモートスクリーン機能を使えます。

※1：「Luiリモートスクリーン(親機版)」または/および「Luiリモートスクリーン(子機版)」が搭載(ハードディスクに格納)されています。
※2：画面の案内にしたがって、ソフトのコピーからインストールまでがおこなえます。USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)をご用意ください。

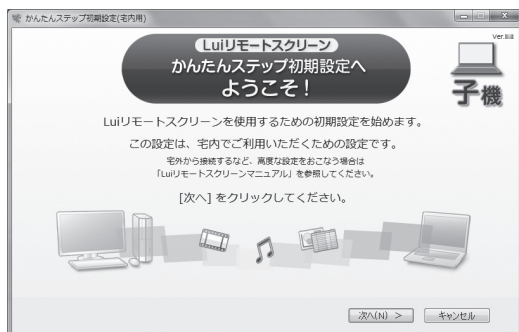
かんたんステップ初期設定(宅内用)(子機)

PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)の後、子機とするパソコンで次の操作をおこなってください。
今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールした場合は、「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」(p.42)へ進んでください。

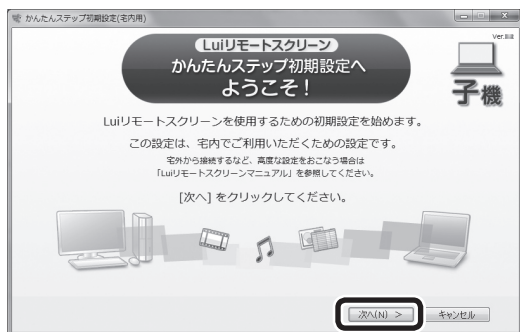
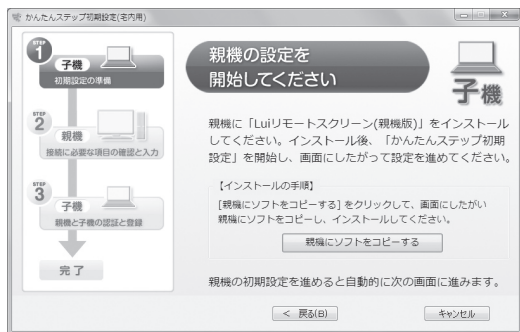
参照

USBメモリーのセットおよび取り外し手順については、パソコンのマニュアルをご覧ください。

1 子機とするパソコンに次の画面が表示されていない場合、デスクトップにある（かんたんステップ初期設定(宅内用)）アイコンをダブルクリック、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「かんたんステップ初期設定(宅内用)」をクリックする

次の画面がすでに表示されている場合、手順2へ進んでください。

チェック

上記の画面が表示されている場合で、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」でなく、「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をおこないたいときは、「キャンセル」をクリックしてこの画面を閉じ、「PART3　マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」(p.53)をご覧ください。

2 「次へ」をクリックする

次の画面が表示されます。

3 [親機の設定を開始してください]画面が表示されたら、親機の状態によって次のように進める

●親機版が親機にインストール済みの場合

子機の画面はそのままにして、「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」(p.42)へ進んでください。

●親機版が親機にまだインストールされていない場合

この画面にある「親機にソフトをコピーする」をクリックして、手順3-1へ進んでください。

なお、今回購入したパソコンを親機とする場合、親機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」をクリックしてインストールできます。

〈親機にソフトをコピーし、インストールする手順〉

・インストールするには、インストール先のハードディスク空き容量が200Mバイト以上必要です。

・必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。

・1台のパソコンに子機と親機の両方のソフトはインストールできません。

・起動中のほかのアプリケーションは終了させてから、インストールしてください。

・ルータのDHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。

・ウイルス検出ソフトなどセキュリティソフトを使用していると、「インストールを許可しますか」「通信を許可しますか」などセキュリティの警告が出ることがあります。その場合、「許可する」「はい」などをクリックしてください。インストールを許可しない場合は、インストールはおこなわれません。

・ユーザー アカウント制御の確認で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合、表示されているプログラム名を確認し問題なければ「はい」をクリックしてください。この確認画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。

・「Luiリモートスクリーン（親機版）」をインストールするには、PCリモーターサーバソフトをアンインストールする必要があります。「スタート」-「コントロールパネル」からPCリモーターサーバソフトをアンインストールした後、Luiリモートスクリーン（親機版）をインストールしてください。
また、インストールの途中で、画面の表示にしたがってPCリモーターサーバボードを初期化してください（「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」の手順5のチェック（p.27））。

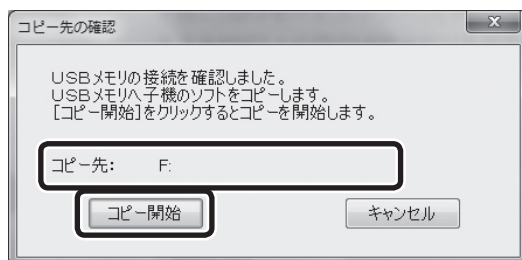
3-1 次の画面が表示されたら、子機にUSBメモリー（空き領域128Mバイト以上)をセットする

チェック

USBコネクタの場所については、お使いのパソコンのマニュアルでご確認ください。

3-2 [コピー先の確認]画面が表示されたら、「コピー先」のUSBメモリーを確認して「コピー開始」をクリックする

チェック

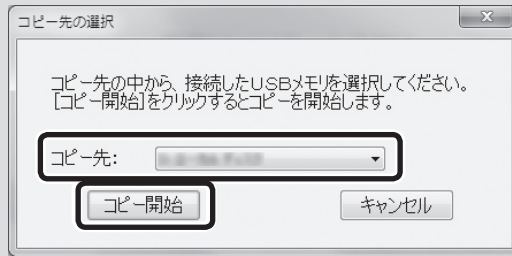
ファイルのコピー中は、USBメモリーを取り外さないでください。

チェック

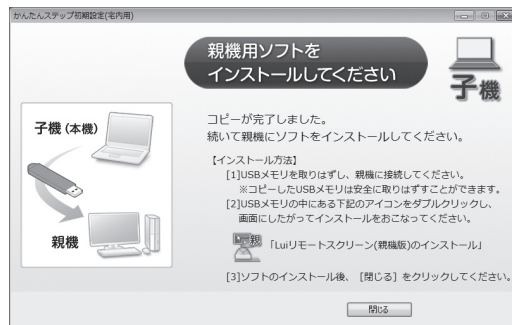
[コピー先の選択]画面が表示された場合は、「コピー先」にUSBメモリーを選択して「コピー開始」をクリックしてください。

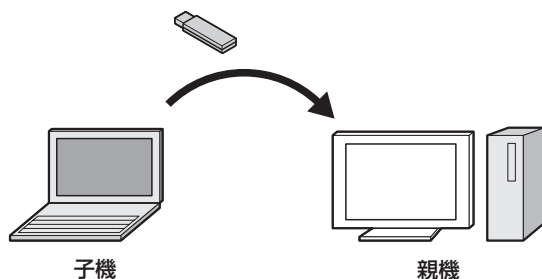
手順3-1をおこなっても[コピー先の確認]画面が表示されない場合、次の操作をおこなってください。

① いったんUSBメモリーを取り外してから、再度子機にセットする
[コピー先の確認]画面が表示されます。前ページの手順3-2へ進んでください。
表示されない場合、次の②に進んでください。

② 手順①をおこなっても表示されない場合は、USBメモリーをセットした状態で、[親機用ソフトをコピーします]画面にある「詳細設定」をクリックする

③ 次の画面が表示されたら、「コピー先」にUSBメモリーを選択し、「コピー開始」をクリックする

「ファイルをコピーしています。」と表示されるので、そのままお待ちください。

親機用ソフトがUSBメモリーにコピーされると、次の画面が表示されます。

3-3 子機からUSBメモリーを取り外す

3-4 取り外したUSBメモリーを親機とするパソコンにセットする

3-5 親機で、USBメモリーの中にある(Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール.exe)アイコンをダブルクリックする

「Luiリモートスクリーン(親機版)をインストールしています。しばらくお待ちください。」と表示されるので、そのまま何もしないでお待ちください。

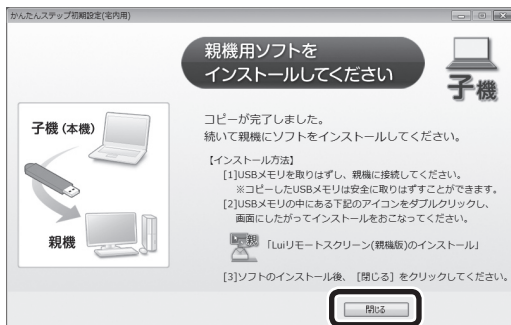
PART1の「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)の手順2 ～ 6をご覧になり、Luiリモートスクリーン(親機版)のインストールを完了させてください。インストール完了後、次の手順3-6へ進んでください。

チェック

お使いの環境によっては、「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」と表示されます。

3-6 親機のインストールが完了したら、子機の[親機用ソフトをインストールしてください]画面の「閉じる」をクリックする

「閉じる」ボタンがクリックできない場合、インストールが完了するまで、しばらくそのままでお待ちください。インストールが完了すると、クリックできるようになります。

[親機用ソフトをインストールしてください]画面が閉じます。

▲子機の画面

3-7 親機にインストールすると、親機に[かんたんステップ初期設定へようこそ！]画面が表示されるのを確認する

▲親機の画面

この画面を表示するには、親機へのインストールの手順6(p.28)で、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」を☑にしておく必要があります。

続いて、次ページの「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」へ進んでください。

かんたんステップ初期設定（宅内用）（親機）

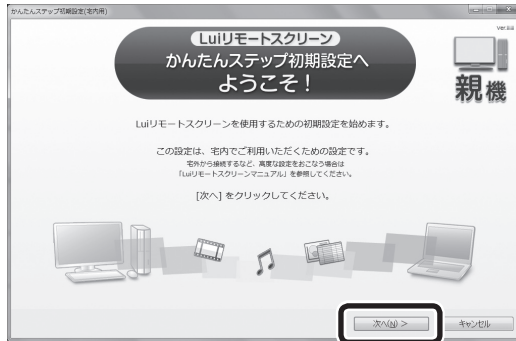
「かんたんステップ初期設定（宅内用）（子機）」（p.35）の後、または、PART1の「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」（p.22）の後、親機とするパソコンで、次の操作をおこなってください。

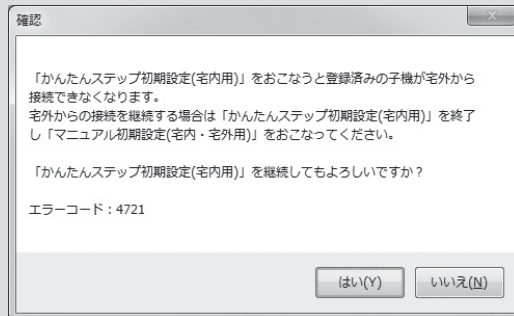
1 親機とするパソコンに次の画面が表示されていない場合、デスクトップにある（かんたんステップ初期設定（宅内用））アイコンをダブルクリック、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「かんたんステップ初期設定（宅内用）」をクリックする

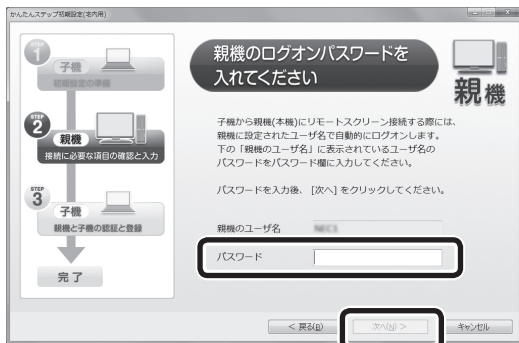
[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？　プログラム名:Luiリモートスクリーン初期設定」と表示された場合、「はい」をクリックしてください。

次の画面がすでに表示されている場合、手順2へ進んでください。

チェック

上記の画面が表示されている場合で、「かんたんステップ初期設定（宅内用）」でなく、「マニュアル初期設定（宅内・宅外用）」をおこないたいときは、「キャンセル」をクリックしてこの画面を閉じ、「PART3　マニュアル初期設定（宅内・宅外用）」（p.53）をご覧ください。

2 「次へ」をクリックする

次の[確認]画面が表示された場合、続けて「かんたんステップ初期設定(宅内用)」をおこなう場合、「はい」をクリックしてください。
「いいえ」をクリックすると、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」を終了します。

3 親機にWindowsのログオンパスワードを登録済みの場合、次の画面が表示されるので、登録してある親機のログオンパスワードを入力し、「次へ」をクリックする

この画面が表示されない場合、手順4へ進んでください。

子機の検索がおこなわれます。

4 [子機の設定を開始してください]画面が表示された場合、子機の状態によって次のように進める

●子機版が子機にインストール済みの場合

「次へ」をクリックし、手順6へ進んでください。

●子機版が子機にまだインストールされていない場合

この画面にある「子機にソフトをコピーする」をクリックして、手順4-1へ進んでください。

なお、今回購入したパソコンを子機とする場合、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」をクリックしてインストールできます。

〈子機にソフトをコピーし、インストールする手順〉

「かんたんステップ初期設定(宅内用)(親機)」の手順4の[子機の設定を開始してください]画面(p.44)で「子機にソフトをコピーする」をクリックした場合、次の操作をおこなってください。

チェック

- インストールするには、インストール先のハードディスク空き容量が200Mバイト以上必要です。
- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- 1台のパソコンに子機と親機の両方のソフトはインストールできません。
- 起動中のほかのアプリケーションは終了させてから、インストールしてください。
- ルータのDHCPサーバ機能を有効にすることをおすすめします。
- ウイルス検出ソフトなどセキュリティソフトを使用していると、「インストールを許可しますか」「通信を許可しますか」などセキュリティの警告が出ることがあります。その場合、「許可する」「はい」などをクリックしてください。インストールを許可しない場合は、インストールはおこなわれません。
- ユーザー アカウント制御の確認で「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合、表示されているプログラム名を確認し問題なければ「はい」をクリックしてください。この確認画面が最小化されている場合は、タスクバーにある[ユーザー アカウント制御]画面のアイコンをクリックして表示させてください。
- Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールするには、PCリモーターソフトをアンインストールする必要があります。「スタート」-「コントロールパネル」からPCリモーターソフトをアンインストールした後、Luiリモートスクリーン(子機版)をインストールしてください。

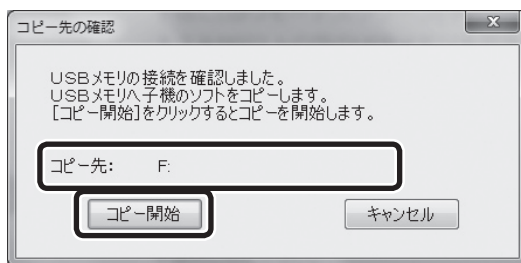
4-1 親機に次の画面が表示されたら、USBメモリー（空き領域128Mバイト以上)を親機にセットする

チェック

USBコネクタの場所については、お使いのパソコンのマニュアルでご確認ください。

4-2 [コピー先の確認]画面が表示されたら、「コピー先」のUSBメモリーを確認して「コピー開始」をクリックする

チェック

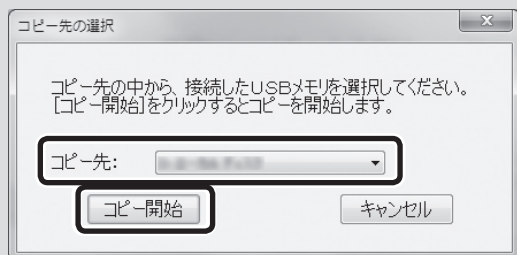
ファイルのコピー中は、USBメモリーを取り外さないでください。

チェック

[コピー先の選択]画面が表示された場合は、「コピー先」にUSBメモリーを選択して「コピー開始」をクリックしてください。

手順4-1をおこなっても[コピー先の確認]画面が表示されない場合、次の操作をおこなってください。

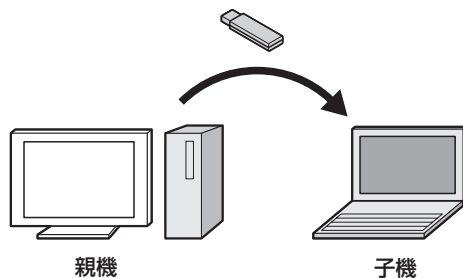
① いったんUSBメモリーを取り外してから、再度親機にセットする
[コピー先の確認]画面が表示されます。前ページの手順4-2へ進んでください。
表示されない場合、次の②に進んでください。

② 手順①をおこなっても表示されない場合は、USBメモリーをセットした状態で、[子機用ソフトをコピーします]画面にある「詳細設定」をクリックする

③ 次の画面が表示されたら、「コピー先」にUSBメモリーを選択し、「コピー開始」をクリックする

「ファイルをコピーしています。」と表示されるので、そのままお待ちください。

子機用ソフトがUSBメモリーにコピーされると、次の画面が表示されます。

4-3 親機からUSBメモリーを取り外す

4-4 取り外したUSBメモリーを子機とするパソコンにセットする

4-5 子機で、USBメモリーの中にある(Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール.exe)アイコンをダブルクリックする

子機に「Luiリモートスクリーン(子機版)」がインストールされます。

PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)の手順2～5をご覧になり、Luiリモートスクリーン(子機版)のインストールを完了させてください。インストール完了後、次の手順4-6へ進んでください。

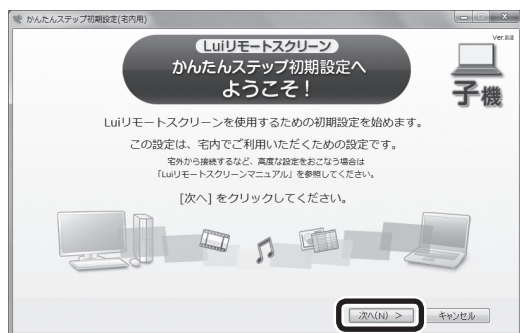
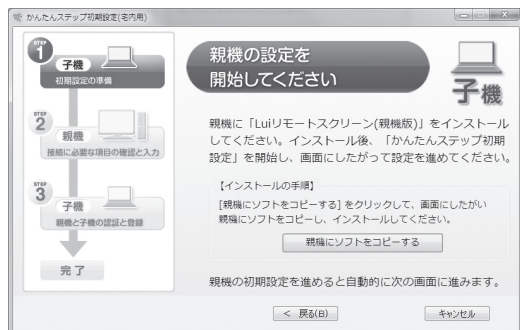
チェック

お使いの環境によっては、「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」と表示されます。

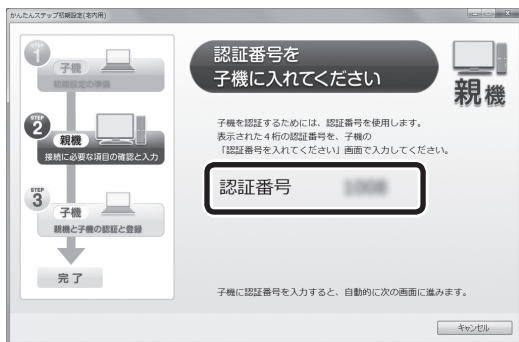
4-6 インストールが完了したら、親機の[子機用ソフトをインストールしてください]画面の「閉じる」をクリックする

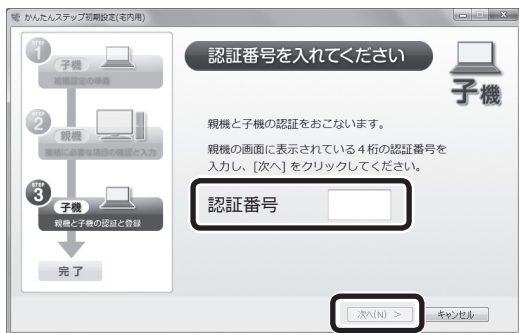
「閉じる」ボタンがクリックできない場合、インストールが完了するまで、しばらくそのままでお待ちください。インストールが完了すると、クリックできるようになります。

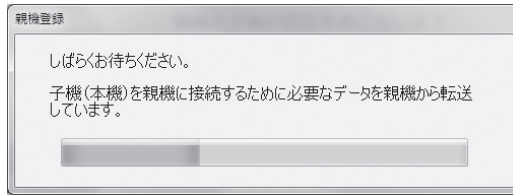
［子機用ソフトをインストールしてください］画面が閉じます。

4-7 子機に次の画面が表示されるので「次へ」をクリックする

4-8 次の画面が表示されたら「かんたんステップ初期設定（宅内用）（親機）」の手順5（p.50）へ進む

5 子機に［親機の設定を開始してください］画面が表示されているのを確認し、親機の[子機の設定を開始してください]画面で「次へ」をクリックする

子機が見つからない場合はセキュリティソフトのファイアウォール機能で通信がブロックされている可能性があります。詳しくは、PART3の「セキュリティソフトの設定について」(p.80)をご覧ください。

6 ［認証番号を子機に入れてください］画面が表示されるので、4桁の認証番号を確認する

▲親機の画面

7 「親機」に表示された4桁の認証番号を「子機」に入力し、「次へ」をクリックする

▲子機の画面

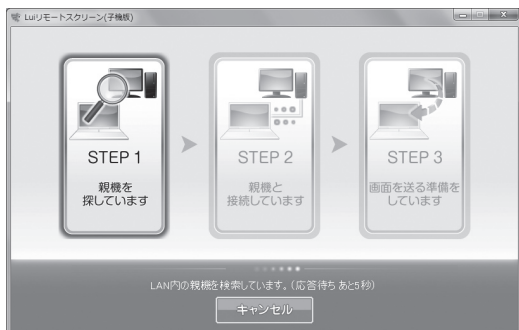
次の画面が表示されるので、そのまましばらくお待ちください。

入力された認証番号の照合が済むと、子機と親機に[かんたんステップ初期設定が完了しました]画面が表示されます。

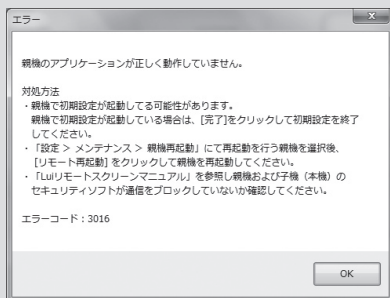
▲子機の画面

▲親機の画面

8 親機の[かんたんステップ初期設定が完了しました]画面で「完了」をクリックする

9 子機の[かんたんステップ初期設定が完了しました]画面で「完了」をクリックする

10 子機のデスクトップ画面で、親機に接続する(Luiリモートスクリーン)(親機に接続する(Luiリモートスクリーン))アイコンをダブルクリック、または子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「親機に接続する(Luiリモートスクリーン)」をクリックする

親機に接続されると、子機に親機のデスクトップ画面が表示されます。

接続時、親機に[かんたんステップ初期設定が完了しました]画面が表示されたままになっていると、子機に次の[エラー]画面が表示されることがあります。その場合は、親機の画面で「完了」をクリックし、[エラー]画面の「OK」をクリックした後、あらためて手順10をおこなってください。

リモートスクリーンをお使いになる前に、PART5の「リモートスクリーンを使うときの注意事項」(p.118)をご覧ください。

PART

3

マニュアル初期設定（宅内・宅外用）

このPARTでは、Luiリモートスクリーンの初期設定から宅内または宅外からの接続ができるようになるまでを説明しています。

Luiリモートスクリーンご利用までの流れ

Luiリモートスクリーンを利用するには、設定をおこなう必要があります。
設定が正しくおこなわれないと、Luiリモートスクリーンが動作しないことがあります。

初期設定について

初期設定は、Luiリモートスクリーンをはじめて使用するときに子機、親機でおこなう設定です。初期設定をしないとLuiリモートスクリーンを使用できません。一度初期設定をおこなった後も、やりなおしたり、変更したりすることができます。

参照

初期設定のやりなおしや変更について→このPARTの「初期設定のやりなおしや変更、親機の削除について」(p.79)

初期設定は、親機と子機ともに起動した状態で作業します。
次のいずれかの方法でおこないます。
すでにどちらかで済ませている場合、使用環境(宅内のみの利用／宅内と宅外で利用)などを変更する必要がなければ、再度おこなう必要はありません。

- **かんたんステップ初期設定(宅内用)**
  Luiリモートスクリーン機能を宅内のみから利用する場合におこないます。
  「PART2　かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)をご覧ください。
- **マニュアル初期設定(宅内・宅外用)**
  Luiリモートスクリーン機能を宅内のほか宅外からも利用する場合におこないます。
  このPARTをご覧ください。

このPARTでは、マニュアル初期設定(宅内・宅外用)の手順について説明します。

マニュアル初期設定(宅内・宅外用)を始める前に

準備するもの

マニュアル初期設定(宅内・宅外用)を始める前に次のことを確認してください。

●2台のパソコンを用意

親機と子機が必要です。PART1の「親機と子機を決める」-「親機を準備する」(p.8)、「子機を準備する」(p.9)をご覧になり、親機と子機を用意してください。

●ソフトのインストール

今回購入したパソコンを親機または子機とする場合、PART1をご覧になり、親機とするパソコンに「Luiリモートスクリーン(親機版)」、または子機とするパソコンに「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールしてください。
この段階では親機か子機のどちらかにインストールしておき、後でもう一方のパソコンにインストールする手順をこれから説明します。

参照

・今回購入したパソコンでLuiリモートスクリーン(親機版)をインストールする→PART1の「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)
・今回購入したパソコンでLuiリモートスクリーン(子機版)をインストールする→PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)

・これからおこなう「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」の途中でソフトをUSBメモリーにコピーし、もう1台のパソコンにインストールします。USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)を準備しておいてください。
・1台のパソコンに子機と親機の両方はインストールできません。どちらか一方をインストールしてください。

●空き領域128Mバイト以上のUSBメモリーを用意
●親機と子機を同じルータに接続する

参照

親機と子機のネットワーク接続について→PART1の「2台のパソコンを同じルータに接続する(ホームネットワークの準備)」(p.11)

このPARTでは、マニュアル初期設定(宅内・宅外用)の手順について説明します。
また、子機と親機を交互に操作するため、次の説明を読みながら進めてください。

子機および親機のマニュアルをご覧になり、子機および親機のネットワークの設定を済ませておいてください。

メモ

以下の説明では子機と親機をそれぞれで以下の順番で操作する場合でご案内しています。お使いの環境によっては、親機から始める場合もあるため、進み方を説明しています。以下の説明をご覧になりながら進めてください。

初期設定は、データ通信カードを取り外した状態でおこなってください。

・このPARTで設定した内容の変更や、親機を追加する場合→「PART8　設定する」(p.151)
・再度、初期設定をする場合→PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)

初期設定を始める

マニュアル初期設定（宅内・宅外用）開始から準備完了までの流れ

お使いの環境に合わせて進めてください。
初期設定では、親機と子機の設定を交互におこなうため、親機と子機を近くに置いて始めると便利です。

■：このマニュアルでの掲載順序が逆になっていますので、ご注意ください。

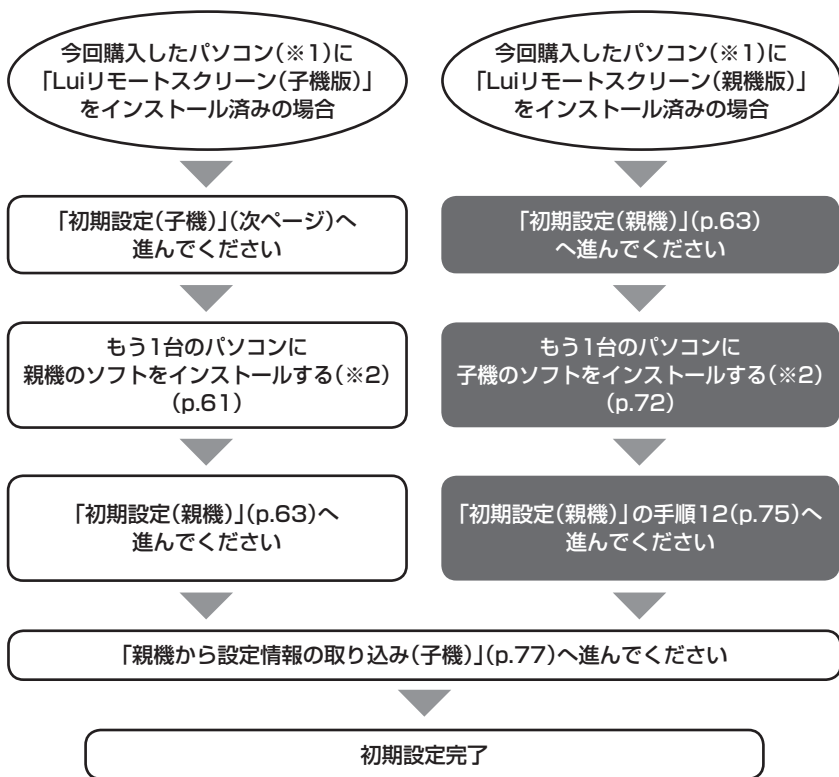
今回購入したパソコン（※1）に「Luiリモートスクリーン（子機版）」をインストール済みの場合	今回購入したパソコン（※1）に「Luiリモートスクリーン（親機版）」をインストール済みの場合
▼	▼
「初期設定（子機）」（次ページ）へ進んでください	「初期設定（親機）」（p.63）へ進んでください
▼	▼
もう1台のパソコンに親機のソフトをインストールする（※2）（p.61）	もう1台のパソコンに子機のソフトをインストールする（※2）（p.72）
▼	▼
「初期設定（親機）」（p.63）へ進んでください	「初期設定（親機）」の手順12（p.75）へ進んでください

▼

「親機から設定情報の取り込み（子機）」（p.77）へ進んでください

▼

初期設定完了

▼

これで準備ができました。
Luiリモートスクリーン機能を使えます。

※1：「Luiリモートスクリーン（親機版）」または/および「Luiリモートスクリーン（子機版）」が搭載（ハードディスクに格納）されています。
※2：画面の案内にしたがって、ソフトのコピーからインストールまでがおこなえます。USBメモリー（空き領域128Mバイト以上）をご用意ください。

初期設定(子機)

今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストール済みの場合、ここからマニュアル初期設定(宅内・宅外用)を開始してください。
今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールした場合は、先に「初期設定(親機)」(p.63)をおこなってください。

チェック

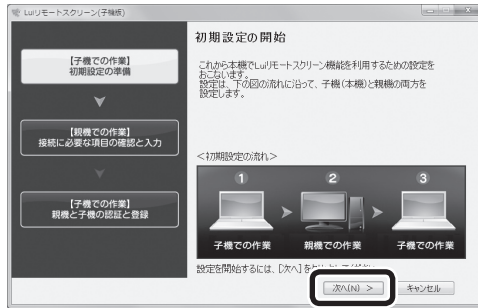
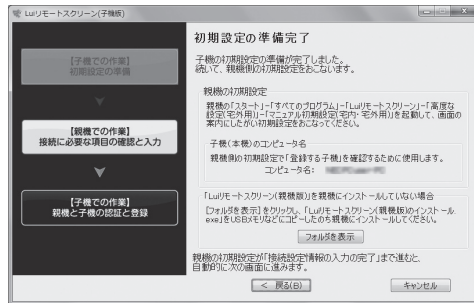
- 初期設定をおこなう前に、PART1をご覧になり、親機と子機のネットワークの設定、およびLuiリモートスクリーン(子機版)のインストール、またはLuiリモートスクリーン(親機版)のインストールが済んでいることを確認してください。
- 今回購入したパソコンを子機として使用する場合で、まだ「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールしていない場合、PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)をご覧になり、インストールをおこなってください。
- 今回購入したパソコンを親機として使用する場合で、まだ「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストールしていない場合、PART1の「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)をご覧になり、インストールをおこなってください。
- 子機や親機にLaVieシリーズのパソコンをご利用の場合、パソコンのマニュアルをご覧になり、子機や親機にACアダプタを接続しておいてください。
- 子機および親機とルータとを接続しておいてください。

1 子機の「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をクリックする

次の画面が表示されます。

子機で「スタート」-「高度な設定(宅外用)」が表示されない場合は、PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)をご覧になり、インストールをおこなってください。インストール後、表示されます。

2 「初期設定」をクリックする

3 次の画面が表示されるので「次へ」をクリックする

次の画面が表示されます。

●親機版が親機にインストール済みの場合

「初期設定(親機)」(p.63)へ進んでください。

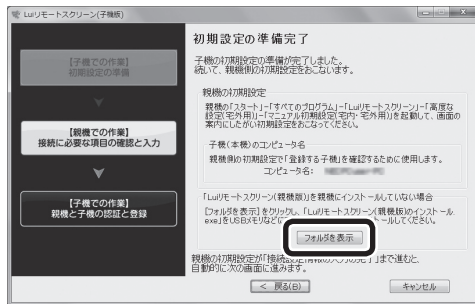
●親機版が親機にまだインストールされていない場合

USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)を用意し、手順3-1へ進んでください。なお、今回購入したパソコンを親機とする場合、親機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」をクリックしてインストールできます。

参照

Luiリモートスクリーン(親機版)のインストールについて→PART1の「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)

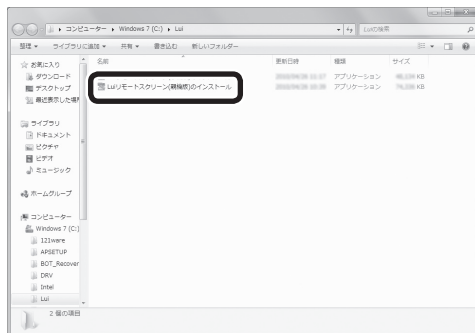
〈「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール.exe」を親機にコピーし、インストールする手順〉

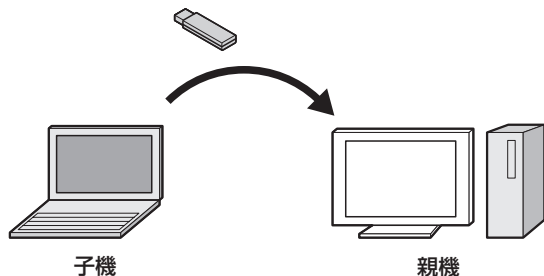
3-1 「フォルダを表示」をクリックする

子機のCドライブの「Lui」フォルダーが表示されます。

3-2 「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール.exe」をUSBメモリーにコピーする

チェック

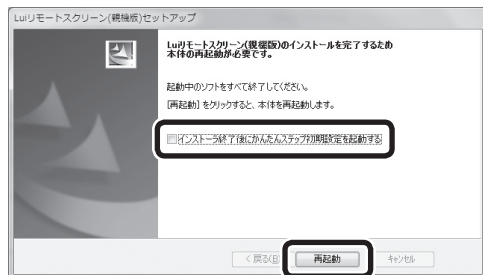
お使いの環境によっては、「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」と表示されます。

メモ

コピーが終わったら、 x をクリックして画面を閉じてください。

3-3 USBメモリーを子機から取り外し、親機にセットする

3-4 USBメモリーに入れた「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール.exe」をダブルクリックする

必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてインストールをおこなってください。

PART1の「Luiリモートスクリーン(親機版)のインストール」(p.22)の手順2 ～ 6をご覧になり、Luiリモートスクリーン(親機版)のインストールをおこなってください。

なお、p.28の手順6の画面では、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」を☑にして「再起動」をクリックしてください。

親機へのインストールが完了したら、次ページの「初期設定(親機)」へ進んでください。

初期設定(親機)

今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(親機版)」をインストール済みの場合、ここからマニュアル初期設定(宅内・宅外用)を開始してください。
今回購入したパソコンに「Luiリモートスクリーン(子機版)」をインストールした場合は、先に「初期設定(子機)」(p.58)をおこなってください。

- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてから初期設定をおこなってください。
- 初期設定に失敗する場合は、このPARTの「セキュリティソフトの設定について」(p.80)を参照し、ファイアウォールの設定をしてください。

1 共有フォルダを使用する場合、親機で、管理者権限のあるWindowsのアカウントでWindowsのパスワードを設定する

Windowsのパスワードが設定されていないと、共有フォルダ機能をご利用になれません。そのため共有フォルダをご利用になるには、管理者権限のあるWindowsアカウントでWindowsのパスワードを設定してください。
パスワードの設定方法については、親機のマニュアルをご覧ください。
すでに設定済みの場合は、あらためて設定する必要はありません。手順2へ進んでください。

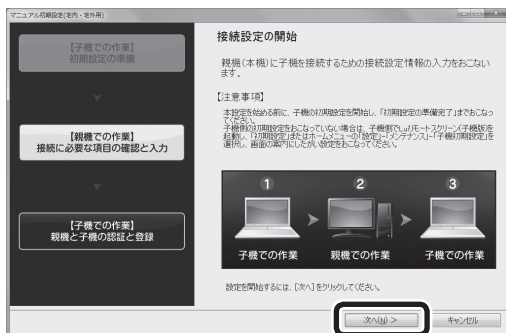
共有フォルダについて→「PART6　共有フォルダを使う」(p.131)

2 親機の「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をクリックする

[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？　プログラム名:Luiリモートスクリーン初期設定」と表示された場合、「はい」を選択してください。

親機の解像度設定が、横:1024ドットまたは縦:768ドットより小さい場合、Luiリモートスクリーン初期設定(親機)は、起動できません。初期設定をおこなうときは、解像度を横:1024ドット、縦:768ドットより大きく設定してください。

なお、1024×768ドットの解像度にしても、DPIの設定が大きい場合、起動できないことがあります。そのときは、DPI設定の「カスタム　テキストサイズの設定(DPI)」で文字サイズを100%に設定するか、または、「Windows XP形式のDPIスケーリングを使用する」を☑にしてください。DPIの設定は、画面上で右クリックし、「画面の解像度」-「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックして表示される画面で変更できます。

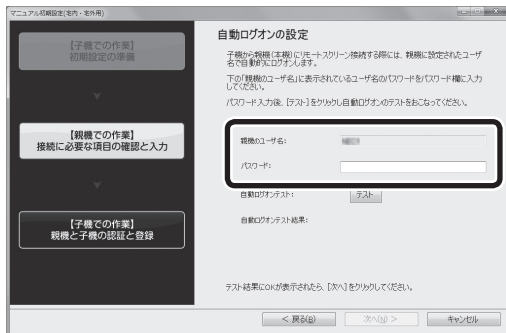
3 [接続設定の開始]画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

4 [自動ログオンの設定]画面が表示されたら、Windowsにログオンするユーザー アカウントを確認し、ユーザー アカウントのパスワードを入力する

親機にWindowsのパスワードを設定している場合に表示されます。ここでは、そのパスワードを入力して自動ログオンできることを確認します。

この画面が表示されない場合は、手順7へ進んでください。

マルチユーザーに対応していません。「自動ログオンユーザ」に設定できるのは、親機1台につき、管理者権限のあるユーザー アカウント1つになります。

メモ

パソコン内の情報保護のため、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
設定すると、電源を入れたときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードが入力されないとパソコンを使うことができないため、第三者がパソコンを起動して情報を見ることを防ぐことができます。
Windowsのパスワードを設定するには、親機のマニュアルをご覧ください。

初期設定完了後、ユーザー アカウントのパスワードを変更/削除したり、新規に登録した場合は、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧になり、親機の追加/変更をおこなってください。

5 「テスト」をクリックする

自動ログオンテスト結果に「OK」が表示されていることを確認してください。
「OK」が表示されないと次へ進めません。

メモ

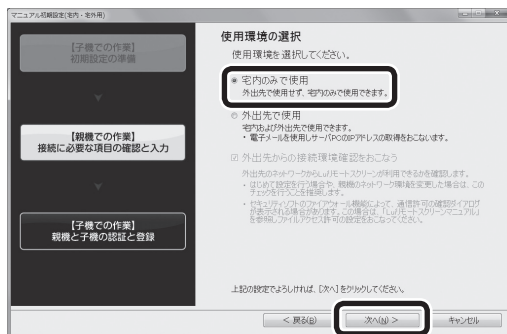
Luiリモートスクリーンをご利用の場合は、あらかじめ設定したユーザー アカウントでのみご利用できます。

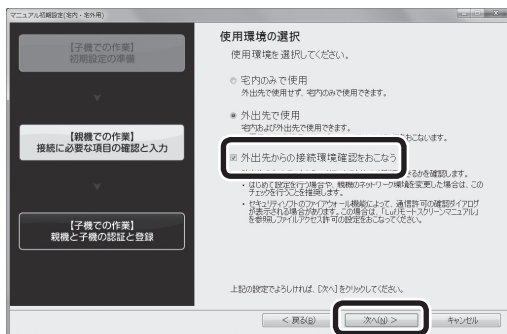
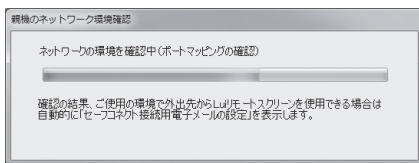
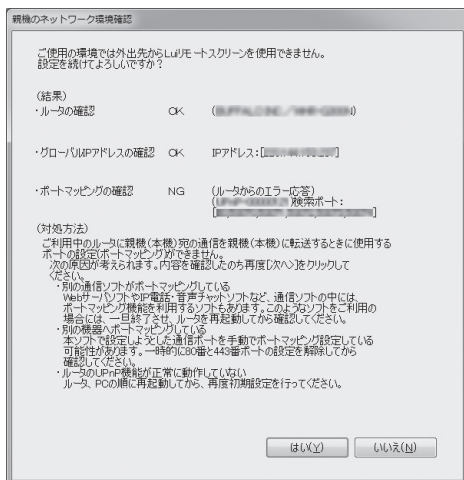
6 [自動ログオンの設定]画面で、「次へ」をクリックする

[使用環境の選択]画面が表示されます。

7 Luiリモートスクリーンを宅内のみで使用する場合、「宅内のみで使用」を◉にして、「次へ」をクリックする

「宅内のみで使用」を選択すると、この画面でおこなう電子メールの設定を省くことができます。宅内で接続できることを確認したい場合は、「宅内のみで使用」を◉にして「次へ」をクリックして手順11へ進んでください。
電子メールの設定は、宅外から接続する場合に必要です。電子メールの設定をする場合は、「外出先で使用」を◉にして、手順8へ進んでください。

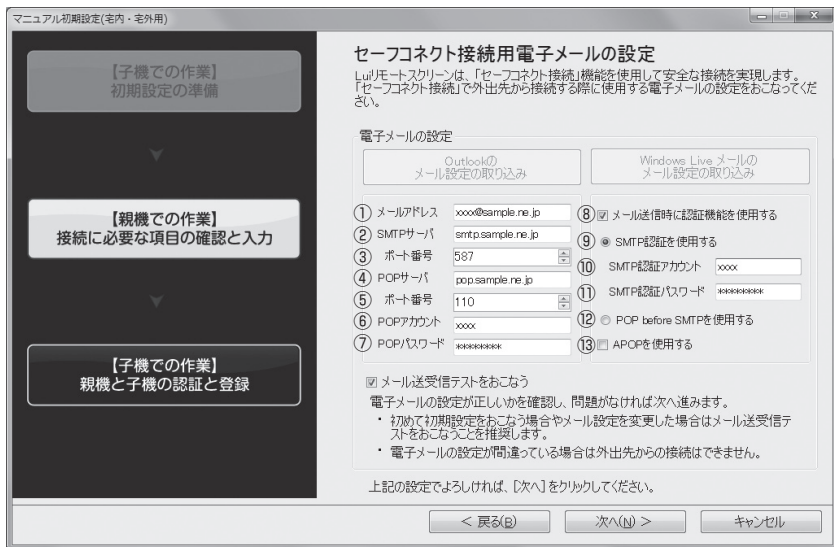
メモ

いったん宅内で接続確認をして、後で、「外出先で使用」に変更することもできます。
その場合は、「宅内のみで使用」を◉にして、このまま進み、PART3が済んでから、別途、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧になり、設定の変更をおこなってください。

8 電子メールの設定をおこなう場合、「外出先からの接続環境確認をおこなう」が☑になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

接続環境の確認がおこなわれ、問題がある場合は確認結果が表示されます。その場合は、画面の「対処方法」をご覧になり、外出先から接続できるようにしてください。テスト結果を確認し、手順9へ進んでください。

▲外出先からの接続環境確認中の画面

▲確認結果の画面例

9 電子メールの設定をおこなう

親機に接続するためのIPアドレスの通知にメールを使用するため、メール設定をおこないます。
p.70の表を参考に必要な項目を入力してください。
または、次のボタンをクリックすると、すでに使用しているメールアドレスの設定を取り込むことができるので、設定が簡単にできます。

・「Outlookのメール設定の取り込み」ボタン
　Outlookのメール設定が取り込まれます。
・「Windows Live メールのメール設定の取り込み」ボタン
　Windows Live メールのメール設定が取り込まれます。

・電子メールアカウントには、使用する受信メールサーバが「POP3」のものを使用してください。
・メールソフトにHotmailなど受信メールサーバが「POP3」以外のメールアカウントを設定している場合にメール設定の取り込みをおこなうと、正常に取り込まれないことがあります。その場合は、受信メールサーバが「POP3」であるメールアカウントの設定情報を手動で入力してください。
・POPパスワードとSMTP認証パスワードは取り込めませんので、それぞれ入力してください。
・SSL接続(POP over SSL、SMTP over SSL)は未対応です。

▲SMTP認証を使用する設定の一例

チェック

宅外から接続するために、初期設定値ではSMTPサーバの「ポート番号」が587、POPサーバの「ポート番号」が110、「メール送信時に認証機能を使用する」と「SMTP認証を使用する」にチェックが入っています。
この値を変更してしまうとプロバイダの迷惑メール対策(OP25B)によって宅外から接続できなくなる場合があります。
SMTP認証をおこなうことを強く推奨します。
迷惑メール対策(OP25B)の有無など詳細については、プロバイダにご確認ください。

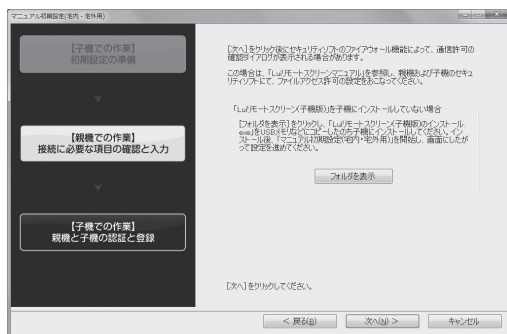
メール設定の情報について詳しくは、プロバイダのホームページやプロバイダから送られてきた書類などを参照してください。

①	メールアドレス	Webメール、フリーメール、広告が挿入されるメールなどは使用できません。
②	SMTPサーバ	プロバイダによっては「送信メールサーバ」や「メールサーバ」などと記載されている場合があります。
③	ポート番号	子機を宅外から接続するためには、SMTP認証を使用する設定に合わせたポート番号を設定する必要があります(通常は587です)。25番ポート設定の場合、プロバイダの迷惑メール対策(OP25B)により宅外から利用できない場合があります。
④	POPサーバ	プロバイダによっては「受信メールサーバ」や「メールサーバ」などと記載されている場合があります。
⑤	ポート番号	POPサーバのポート番号を入力してください(通常は110です)。
⑥	POPアカウント	プロバイダによっては「アカウント名」、「受信メールサーバアカウント」、「ユーザー名」、「メールアカウント」などと記載されている場合があります。
⑦	POPパスワード	プロバイダによっては「パスワード」、「受信メールサーバパスワード」、「メールパスワード」などと記載されている場合があります。
⑧	メール送信時に認証機能を使用する	宅外から利用する場合はチェックを入れてください。認証機能を使用しないと、プロバイダの迷惑メール対策(OP25B)により、宅外から利用できない場合があります。
⑨	SMTP認証を使用する	認証方式のひとつです。宅外から利用する場合はこちらを選択することをおすすめします。
⑩	SMTP認証アカウント	プロバイダによっては「アカウント名」、「ユーザー名」、「メールアカウント」などと記載されている場合があります(プロバイダによってはPOPアカウントと同じ場合があります)。
⑪	SMTP認証パスワード	プロバイダによっては「パスワード」、「メールパスワード」などと記載されている場合があります(プロバイダによってはPOPパスワードと同じ場合があります)。
⑫	POP before SMTPを使用する	認証方式のひとつです。こちらを利用しても宅外から利用できない場合があります。宅外からご利用の場合はSMTP認証を使用してください。SMTP認証を使用する場合は使用できません。
⑬	APOPを使用する	プロバイダのPOPサーバがAPOPに対応している場合のみ使用可能です。

Webメールやフリーメール、広告が自動挿入されてメール件名や本文が書き替わるメールは使用できません。

10 「メール送受信テストをおこなう」が☑になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

・テストの結果に問題がなければ何も表示されません。手順11へ進んでください。
・問題がある場合は、テスト結果が表示されるので電子メールの設定を見直してください。

次の画面が表示されます。

11 次の操作をおこなう

●子機版が子機にインストール済みの場合

手順12(p.75)へ進んでください。

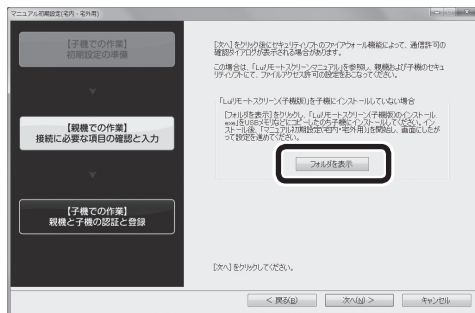
●子機版が子機にまだインストールされていない場合

USBメモリー(空き領域128Mバイト以上)を用意し、手順11-1へ進んでください。

なお、今回購入したパソコンを子機とする場合、子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」をクリックしてインストールできます。

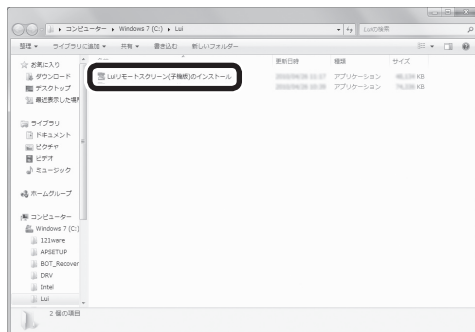
Luiリモートスクリーン(子機版)のインストールについて→PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)

〈「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール.exe」を子機にコピーし、インストールする手順〉

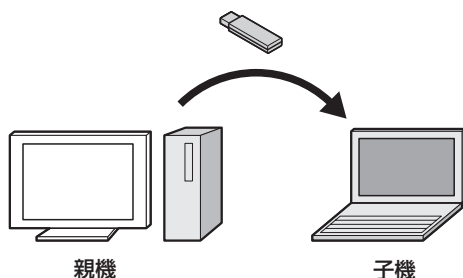
11-1 「フォルダを表示」をクリックする

親機のCドライブの「Lui」フォルダーが表示されます。

11-2 「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール.exe」をUSBメモリーにコピーする

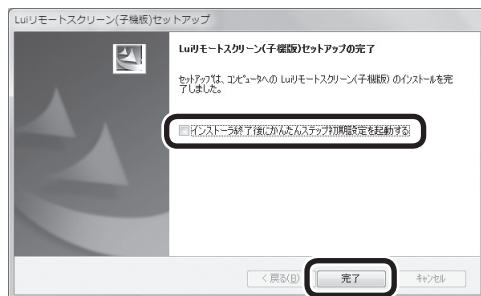
チェック

お使いの環境によっては、「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」と表示されます。

メモ

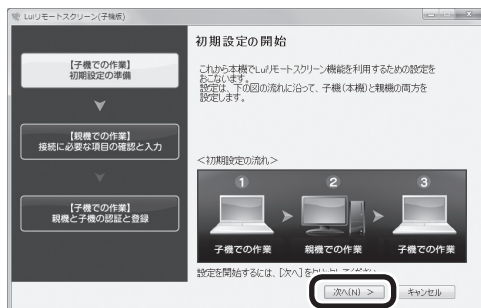
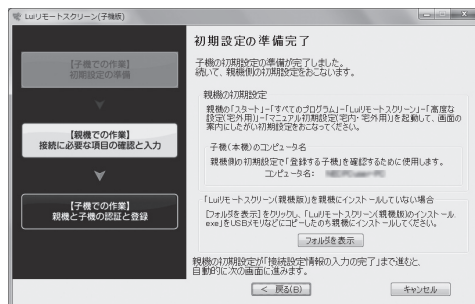
コピーが終わったら、[×]をクリックして画面を閉じてください。

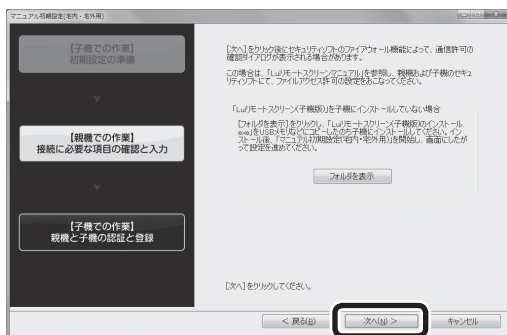
11-3 USBメモリーを親機から取り外し、子機にセットする

11-4 USBメモリーに入れた「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール.exe」をダブルクリックする

必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてインストールをおこなってください。

PART1の「Luiリモートスクリーン(子機版)のインストール」(p.16)の手順2 ~ 5をご覧になり、Luiリモートスクリーン(子機版)のインストールをおこなってください。なお、p.20の手順5の画面では、「インストーラ終了後にかんたんステップ初期設定を起動する」を□にして「完了」をクリックしてください。

11-5 インストール後、子機の「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をクリックする

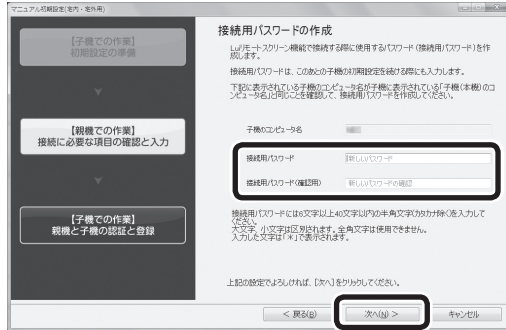
11-6 「初期設定」をクリックする

11-7 「次へ」をクリックする

次の画面が表示されます。

以上で子機の準備ができました。親機の操作に戻ります。手順12へ進んでください。

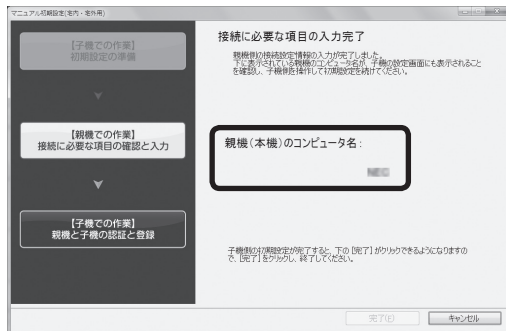
12 子機の画面に「初期設定の準備完了」と表示されているのを確認し、親機で「次へ」をクリックする

・「次へ」をクリックすると、セキュリティソフトのファイアウォール機能で通信許可の確認が表示される場合があります。ファイアウォールの設定変更のしかたについては、このPARTの「セキュリティソフトの設定について」(p.80)をご覧ください。
・「現在通信可能な子機が見つかりません。」と表示された場合は、画面の確認事項をお読みになり、接続や設定を確認してください。
・子機側でマニュアル初期設定(宅内･宅外用)を起動していない場合、子機の「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「マニュアル初期設定(宅内･宅外用)」をクリックして起動させてください。「初期設定」-「次へ」をクリックし子機でマニュアル初期設定(宅内･宅外用)を進めた後、親機でもう一度手順12をおこなってください。

13 Luiリモートスクリーン機能で親機と子機とを接続するときの接続用パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

ここで設定した接続用パスワードは、リモートスクリーン接続時に必要になるので、メモを取っておいてください。

接続用パスワードには6文字以上40文字以内の半角文字列を入力します。全角文字は使用できません。英字は大文字と小文字の区別をします。入力された文字は「＊」で隠されて表示されます。

親機と子機の間で自動で通信が開始されます。

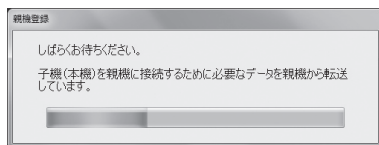
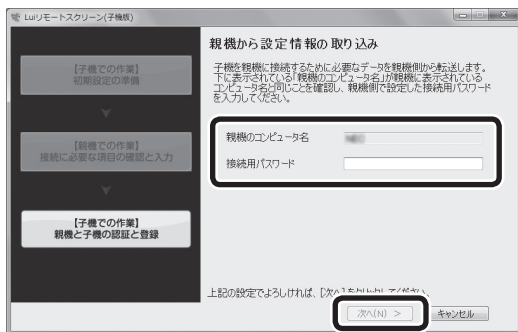
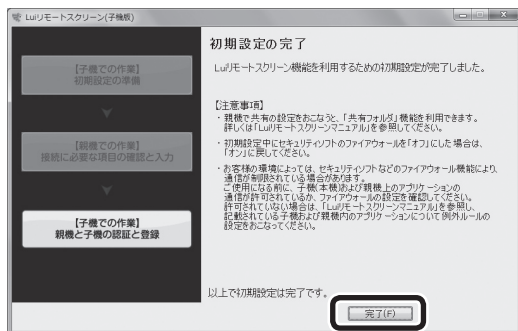
「同期通信中」の表示のまま先に進まない場合は、子機の表示を確認し、操作してください。

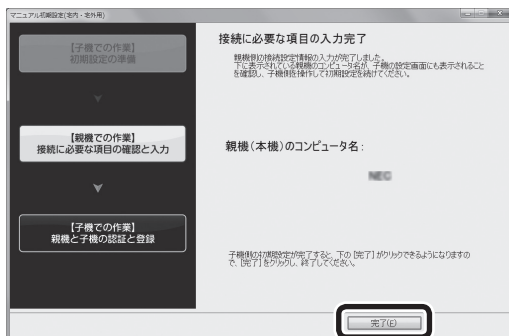
14 [接続に必要な項目の入力完了]画面が表示されたら、「親機(本機)のコンピュータ名」が子機の画面にも表示されていることを確認する

▲親機の画面

親機の画面はそのままにして、「親機から設定情報の取り込み(子機)」(p.77)に進み、子機の初期設定の続きをおこないます。

親機から設定情報の取り込み(子機)

親機での入力が終わると、子機に自動的に手順1の画面が表示されます。

1 「親機のコンピュータ名」に、親機の名前が表示されていることを確認し、「初期設定(親機)」の手順13(p.75)で設定した接続用パスワードを入力して、「次へ」をクリックする

2 [初期設定の完了]画面が表示されたら、画面の内容を確認し、「完了」をクリックする

子機にLuiリモートスクリーンのホームメニュー画面が表示されます。

3 親機に戻り、[接続に必要な項目の入力完了]画面で「完了」をクリックする

チェック

- セーフコネクトは、ユーザーごとの登録ではなく、親機／子機の組み合わせごとに登録をおこないます。
  そのため同一ユーザー名であっても、異なる子機を使用する場合は使用する子機ごとに初期設定を実施する必要があります。
- 1台の親機へ同時に2台以上の子機を接続できません。
  また、親機が他のパソコンからセーフコネクト機能を使って接続されている間は、子機から親機に宅外から接続できません。
- 子機に登録が可能な親機は最大8台です。
- 親機に登録が可能な子機は最大8台です。

これで、初期設定は完了です。
子機の画面はそのままにして、「宅内で接続の確認をする」(p.82)へ進んでください。

初期設定のやりなおしや変更、親機の削除について

次のような場合は、初期設定のやりなおしや、親機の追加/変更が必要です。

・ 初期設定後、次のいずれかに該当した場合、PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
  - 子機のコンピュータ名を変更した
  - 接続用パスワードを忘れた

・ 初期設定後に、親機のコンピュータ名、ユーザー アカウント、ユーザー アカウントのパスワードのいずれかを変更した場合、親機の追加/変更をおこなう必要があります。その場合、子機のホームメニューで「設定」-「子機登録設定」-「親機設定」-「親機の追加/変更」でおこないます。詳しくは、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧ください。

・ 不要になった親機を削除することができます。その場合、子機のホームメニューで「設定」-「子機登録設定」-「親機設定」で表示される画面で削除したい親機を選択し、「親機の削除」をクリックしてください。

セキュリティソフトの設定について

ファイアウォールについて

親機、子機のセキュリティソフトは、ご購入のパソコンにあらかじめ用意されているウイルスバスターの使用をおすすめします。
子機を外出先から使うとき、インターネットを介して自宅の親機に接続します。そのため、ほかの不正なアクセスは防ぎながら、子機から自宅の親機には接続できるセキュリティの設定が必要になります。

外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能を「ファイアウォール」といいます。「ファイアウォール」は、Windowsやセキュリティソフトに搭載されています(ウイルス対策ソフトなど、ファイアウォール機能を搭載していないものもあります)。

Windowsファイアウォール以外のセキュリティソフトをお使いの場合は、次の「ファイルアクセス許可の設定」をご覧になり、設定をおこなってください。
Windowsファイアウォールをお使いの場合は、「ファイルアクセス許可の設定」が自動的におこなわれるため、設定する必要はありません。

・ファイアウォールのソフトを2つ以上同時に使うと干渉し合ってうまく働かないことがあります。パソコンにWindowsファイアウォールとその他のファイアウォールのソフトがインストールされている場合も、どちらかを選んで使用してください。
・ファイアウォールのソフトをアップデートした場合、再度ファイルアクセス許可の設定が必要となる場合があります。

ファイルアクセス許可の設定

ご使用になる前に、次のファイルアクセスを許可してください。

■親機

C:¥Program Files(x86)¥NEC¥PC-Remoterフォルダ内(※1)

・ pcrservice.exe
・ pcrsvset.exe
・ pcrsvmgr.exe
・ RRS.exe
・ pcrsubproc.exe
・ pcrsvinitset.exe

※1: 親機のOSが「32ビット版Windows 7」の場合は、次のようになります。
C:¥Program Files¥NEC¥PC-Remoterフォルダ内

C:¥Program Files(x86)¥NEC¥SafeConnect¥binフォルダ内(※2)

・ ipresolve_sv.exe
・ ScSvGUI.exe
・ scsvfrm.exe
・ scsvinit.exe
・ scsvmailer.exe
・ screlayd.exe
・ scsvsetm.exe
・ scsvlog.exe

※2: 親機のOSが「32ビット版Windows 7」の場合は、次のようになります。
C:¥Program Files¥NEC¥SafeConnect¥binフォルダ内

■子機

C:¥Program Files(x86)¥NEC¥PC-RemoterClientフォルダ内(※3)

・ RPCMain.exe

※3: 子機のOSが「32ビット版Windows 7」の場合は、次のようになります。
C:¥Program Files¥NEC¥PC-RemoterClientフォルダ内

C:¥Program Files(x86)¥NEC¥SafeConnect¥binフォルダ内(※4)

・ ipresolve_cl.exe
・ ScClGUI.exe
・ scconct_mng.exe
・ scfrm.exe
・ scinit.exe
・ scip_mng.exe
・ sclog.exe
・ scmailer.exe
・ scsetm.exe

※4: 子機のOSが「32ビット版Windows 7」の場合は、次のようになります。
C:¥Program Files¥NEC¥SafeConnect¥binフォルダ内

設定方法については、セキュリティソフトのマニュアルなどを参照してください。

宅内で接続の確認をする

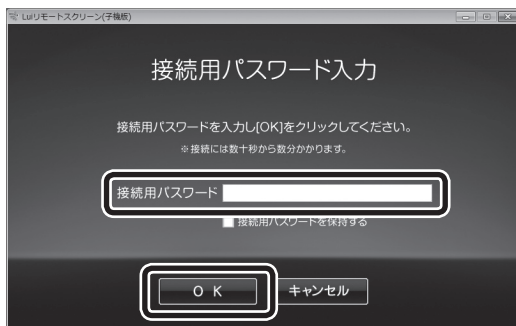
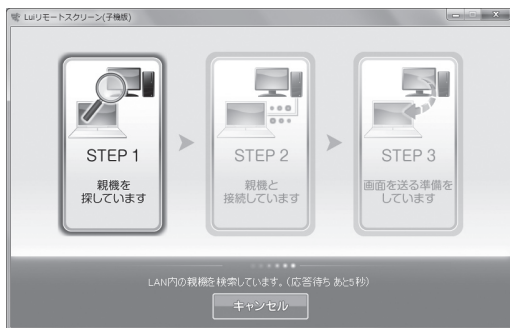
初期設定が完了した後、宅内で接続を確認するには次の手順でおこないます。

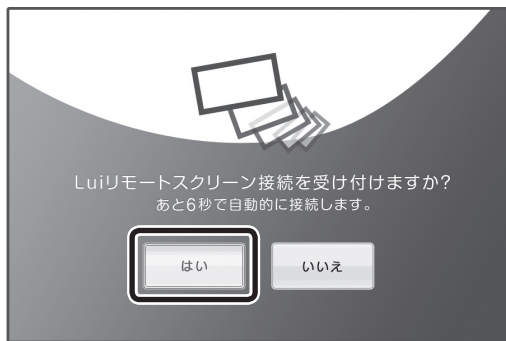
1 次のいずれかの操作をおこなう

- 子機のデスクトップにある (親機に接続する(Luiリモートスクリーン))アイコンをダブルクリックする
- 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「親機に接続する(Luiリモートスクリーン)」をクリックする
- 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックし、表示されるホームメニューの「リモートスクリーン接続」をクリックする

2 [接続用パスワード入力]画面が表示されたら、接続用パスワードを入力し、「OK」をクリックする

「初期設定(親機)」の手順13(p.75)で設定した「接続用パスワード」を入力してください。

メモ

かんたんステップ初期設定(宅内用)をおこなった場合、[接続用パスワード入力]画面は表示されません。

3 **親機の画面に「Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？あと○秒で自動的に接続します。」と表示された場合は、「はい」をクリックする**

「はい」をクリックしなくても、しばらくすると自動で接続されます。この画面が表示されないように設定することもできます。PART8の「設定を変更する」-「親機の設定を変更する」-「設定できる項目」-「■リモートスクリーン設定」-「接続許可確認」(p.160)をご覧ください。

[Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？]画面に「あと○秒で自動的に接続します。」と表示されていない場合は、カウントダウン停止中です。カウントダウン中(7秒)に、親機側でキーボードまたはマウス操作をおこなうと、カウントダウンが停止されます。停止が5秒間続いた後、カウントダウンを7秒前から再開します。

親機がロック画面、ログオフ画面などのときは、本画面は表示されません。

接続すると、子機に親機の画面が表示され子機から操作できます。親機のマウス、キーボードから操作することはできません。
GPUパワーモードがオフの場合、親機のディスプレイにも画面が表示されます。
GPUパワーモードがオンの場合、親機のディスプレイには何も表示されません。

GPUパワーモードのオン、オフについて→PART5の「GPUパワーモードについて」(p.123)

親機が正しくネットワーク接続されていないと、この画面が表示されないことがあります。その場合、PART1の「2台のパソコンを同じルータに接続する(ホームネットワークの準備)」-「ルータと接続する」(p.11)をご覧になり、ネットワークの接続を確認してください。

4 リモートスクリーンを使う

リモートスクリーンをお使いになる前に、PART5の「リモートスクリーンを使うときの注意事項」(p.118)をご覧ください。

リモートスクリーン画面や使い方について→「PART5　リモートスクリーンを使う」(p.93)

5 リモートスクリーンを終了する

接続が確認できたら、ツールバーの☒(全画面表示時)、または[x](ウィンドウ表示時)をクリックするとリモートスクリーンが終了します。

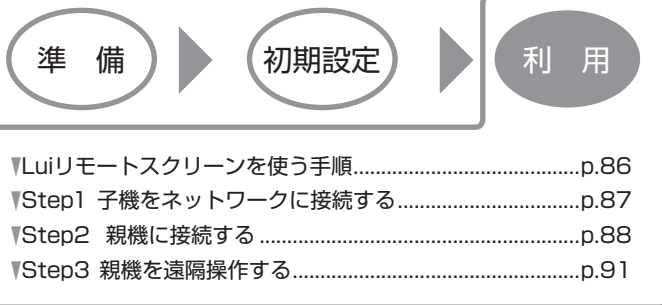
これで、宅内で子機からリモートスクリーン接続ができることを確認できました。
「PART4　Luiリモートスクリーンの基本的な使い方」(p.85)へ進んでください。

PART

4

Luiリモートスクリーンの基本的な使い方

このPARTでは、Luiリモートスクリーンの特性、使い方を説明しています。

準　備 ▶ 初期設定 ▶ 利　用

Luiリモートスクリーンを使う手順

Luiリモートスクリーンを使う手順について、次の３つのStepで説明しています。

子機をネットワークに接続する

Luiリモートスクリーンを快適にお使いいただくためには、なるべく速い回線を使うことを推奨します。

親機に接続する

親機を遠隔操作する

Step1 子機をネットワークに接続する

宅内で利用する場合はLANに接続してください。宅外から利用する場合は、公衆無線LANや通信カードなどを利用して子機をインターネットに接続してください。

Luiリモートスクリーンはネットワーク経由で画面を転送し、遠隔操作を実現しているため、ネットワーク回線が遅いと、操作性が悪くなる場合があります。

外出先などでは高品位の通信環境を確保することが難しく、状況によっては表示画質や操作性が損なわれることがあります。

Luiリモートスクリーンの表示画質や操作性が悪くなるのは次のようなケースです。

〈無線LANやデータ通信カードを使っているとき〉

- 無線の電波が弱いときや電波が届かないとき。あるいは、たくさんの電波が飛んで混雑しているとき。
- たくさんの無線機器が同時に接続しているとき。
- 通信速度が遅い回線や、通信に遅延のある回線に接続しているとき。

〈データ通信カードを利用しているとき〉

- 新幹線など、高速で移動しているとき。

データ通信カードによっては、大量のデータ通信や長時間接続に対する制約により表示画質や操作性が悪くなることがあります。その場合は、公衆無線LANなどほかの手段でインターネット接続するか、時間をおいて接続しなおしてください。詳しくは、通信サービス提供会社などのホームページをご覧ください。

表示画質や操作性が悪くなったときの対処方法については、PART5の「通信状況に応じた対処方法」(p.102)をご覧ください。

Step2　親機に接続する

親機に接続するには

子機のデスクトップにある(親機に接続する(Luiリモートスクリーン))アイコンをダブルクリック、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「親機に接続する(Luiリモートスクリーン)」をクリックして、Luiリモートスクリーンを起動します。
かんたんステップ初期設定(宅内用)で設定した場合、起動すると自動的に画面が遷移して、子機に親機の画面が表示されます。
マニュアル初期設定(宅内･宅外用)で設定した場合は、[接続用パスワード入力]画面が表示されます。接続用パスワードを入力すると画面が遷移し、子機に親機の画面が表示されます。

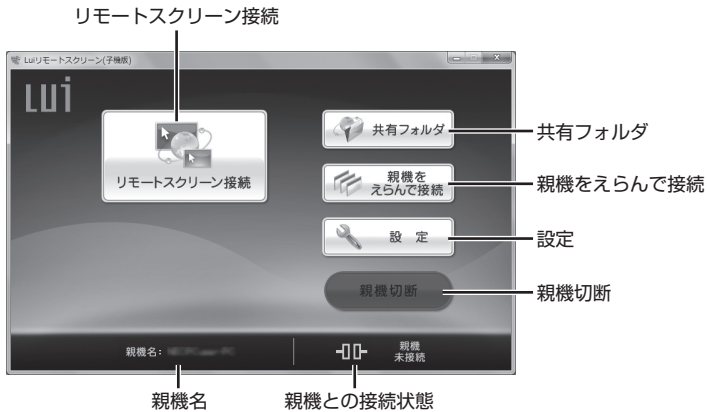
ホームメニューから起動するには

ホームメニューを表示させる場合、「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックします。
ホームメニューで「リモートスクリーン接続」をクリックすると、親機と接続します。
ホームメニューからは、「リモートスクリーン接続」のほかにも、親機とファイルのやりとりをする「共有フォルダ」などの機能を起動できます。

ホームメニューのボタンにマウスポインタを置くと、バルーンヘルプ(簡単な説明)が表示されます。

チェック

初期設定が済んでいない場合、(親機に接続する(Luiリモートスクリーン))をダブルクリックすると、「かんたんステップ初期設定(宅内用)」の[ようこそ]画面が表示されます。その場合は、PART2の「かんたんステップ初期設定(宅内用)(子機)」(p.35)をご覧ください。また、「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックすると、マニュアル初期設定(宅内･宅外用)の[ようこそ]画面が表示されます。その場合は、PART3の「初期設定(子機)」の手順2(p.59)をご覧ください。

ホームメニューの画面

リモートスクリーン接続	親機とリモートスクリーン接続し、リモート操作します。 **参照** リモートスクリーンについて→このPARTの「子機へ画面や音声が転送される仕組み」(p.92)、「PART5 リモートスクリーンを使う」(p.93)
共有フォルダ	親機と接続し、共有フォルダ内のファイルのやりとりをおこないます。 **参照** 共有フォルダについて→「PART6 共有フォルダを使う」(p.131)
親機をえらんで接続	親機を手動で選択して接続します。 **参照** 「親機をえらんで接続」について→「PART7 「親機をえらんで接続」を使う」(p.147)
設定	Luiリモートスクリーンの設定を変更します。 一部の項目は、親機接続中に設定できません。その場合は、いったん親機との接続を切断してください。 **参照** 設定について→PART8の「設定を変更する」(p.152)

<table>
<tr><td>親機切断</td><td colspan="2">親機との接続を切断します。</td></tr>
<tr><td>親機名</td><td colspan="2">自動的に接続する親機名および接続中の親機名を表示します。

メモ
「設定」-「子機登録設定」-「自動接続」をクリックして表示される画面で、「自動接続時の接続先」を「自動接続する親機を選択しない」にした場合、親機名は空欄になります。親機に接続すると、接続中の親機名が表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">親機との接続状態</td><td colspan="2">親機との接続状態を表示します。</td></tr>
<tr><td>-[]]-</td><td>親機接続中</td></tr>
<tr><td>-[] [-</td><td>親機未接続</td></tr>
<tr><td>[–]</td><td colspan="2">画面を最小化します。</td></tr>
<tr><td>[×]</td><td colspan="2">Luiリモートスクリーンを終了します。</td></tr>
</table>

Step3 親機を遠隔操作する

リモートスクリーンを使う

接続が完了すると、リモートスクリーンのウィンドウ内に親機の画面が表示され、子機側で親機の画面を見て遠隔操作できます。

リモートスクリーンの機能について、PART5の「リモートスクリーンの各種機能について」(p.103)をご覧ください。

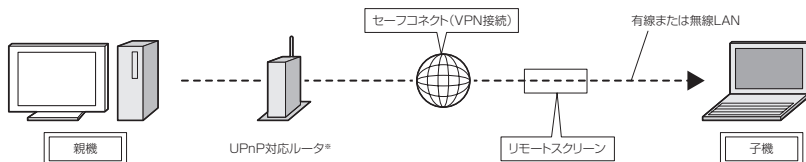
リモートスクリーンを終了する

リモートスクリーンのウィンドウ上部にあるツールバーの✕(全画面表示時)、または✕(ウィンドウ表示時)をクリックし、表示される確認画面で「はい」をクリックするとリモートスクリーンが終了します。
ホームメニューから接続した場合は、ホームメニューに戻ります。ホームメニューの✕をクリックすると終了します。

子機へ画面や音声が転送される仕組み

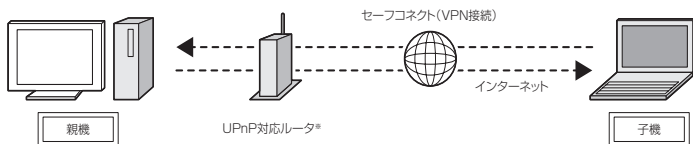
ここでは、親機から子機に画面や音声が転送される仕組みについて説明します。

●リモートスクリーンについて

「リモートスクリーン」は、子機から親機をネットワーク経由で操作するためのNEC独自の機能です。
子機のディスプレイには、ネットワークを経由して自宅の親機の画面が表示されます。また、親機にある音楽ファイルを再生すると、子機から音声が出力されます。

まず、親機の画面情報や音声情報は、ネットワーク転送に適した形に圧縮されます。その後、ネットワークを経由して子機へ送られます。

ネットワークの速度や表示する画質の設定に合わせて、画面情報や音声情報の圧縮率および送信フレーム数(一定時間あたりの映像のコマ数)を変化させ、子機へのデータ転送をおこないます。

●セーフコネクトについて

「セーフコネクト」は、外出先からインターネットを経由して手軽に安全に親機に接続するための、NEC独自のVPN(仮想プライベートネットワーク)技術です。

※:親機側のルータにグローバルIPアドレスが割り振られている必要があります。

PART

5

リモートスクリーンを使う

このPARTでは、リモートスクリーン方式で親機に接続する方法について説明しています。

リモートスクリーンを使う

リモートスクリーンは、親機のデスクトップ環境を子機で遠隔操作する機能です。リモートスクリーン接続で1台の親機に対して同時に利用可能な子機は1台です。親機が、ほかのパソコンとセーフコネクト機能を使って接続中は、その親機に宅外から接続することはできません。

参照

セーフコネクトについて→PART4の「子機へ画面や音声が転送される仕組み」(p.92)

チェック

- 宅外から接続する場合は、以下の手順をおこなう前に、子機、親機がインターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- 複数のネットワークアダプタが接続状態(IPアドレスが割り当てられている)である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

  例）有線LANで使用する場合

  - 外付けされているネットワークアダプタをパソコンから取り外す
  - 無線LANの電源をオフにする
- データ通信カードなどを使用して接続する場合、データ通信カードなどでインターネットに接続した後にLuiリモートスクリーンを起動して接続をおこなってください。詳しくは、PART4の「Step1 子機をネットワークに接続する」(p.87)をご覧ください。
- 親機にSmartVisionが搭載されている場合、親機でSmartVisionを起動中、および起動しない状態で予約録画中など一部の機能を使用中は、親機側でLuiリモートスクリーン機能を使用できません。また、リモート再起動をおこなえません。
- 親機がワイヤレスTVデジタル添付モデルでSmartVisionを起動中、および起動しない状態で予約録画中など一部の機能を使用中は、親機と子機でLuiリモートスクリーン機能を使用できません。また、リモート再起動をおこなえません。
- 「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」、「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」を使って録画番組の配信および受信中は親機と子機で、Luiリモートスクリーン機能を使用できません。また、セーフコネクト接続できません。

親機への接続

リモートスクリーンを使用するには次の手順をおこなってください。

・ブルーレイディスクやDVDが親機のDVD/CDドライブにセットされているときは親機に接続できません。子機をお使いになる場合は、DVD/CDドライブからブルーレイディスクやDVDを取り出してからお使いください。

・親機は、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能(縦長表示状態での接続)はサポートしていません。

1 次のいずれかの操作をおこなう

・子機のデスクトップにある (親機に接続する(Luiリモートスクリーン))アイコンをダブルクリックする

・子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「親機に接続する(Luiリモートスクリーン)」をクリックする

・子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックし、表示されるホームメニューの「リモートスクリーン接続」をクリックする

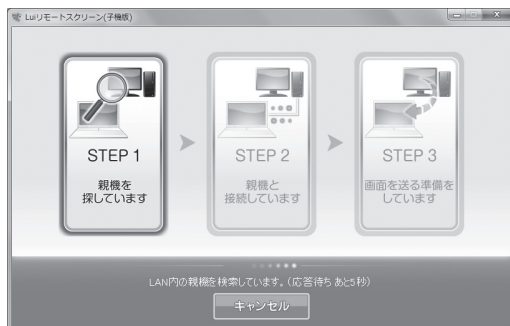
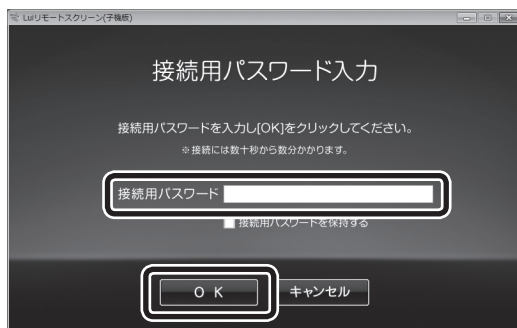
親機を複数登録している場合で、自動接続する親機を選択していないときは、親機選択画面が表示されます。接続する親機を選択してください。

自動接続する親機を設定しておくことができます。詳しくは、「自動接続」(p.97)をご覧ください。

PART 5 リモートスクリーンを使う

2 ［接続用パスワード入力］画面が表示されたら、接続用パスワードを入力し、「OK」をクリックする

メモ

かんたんステップ初期設定（宅内用）をおこなった場合、［接続用パスワード入力］画面は表示されません。

ログオフしている場合は自動でWindowsにログオンして、親機のデスクトップ画面が表示されます。

チェック

接続完了後に親機の画面が子機に表示されるまで時間がかかる場合があります。

メモ

ホテルや公衆無線LANから接続する場合

ホテルや公衆無線LANからの接続では、専用の認証(ログイン)が必要な場合があります。Internet Explorerを起動し、任意のサイトにアクセスし、そのホテルや公衆無線LANの専用の認証(ログイン)画面で認証(ログイン)をおこなってください。ホームページが見られることを確認した後、ご利用ください。

チェック

インターネット経由で接続する場合

・ 親機と子機の間でメールのやりとりをおこない、接続処理をおこないます。そのため、接続が完了するまで数分かかります。
・ 接続完了後に親機の画面が子機に表示されるまで時間がかかる場合があります。
・ 遅延が生じるネットワークに接続した場合、遅延に応じて操作の反応時間が遅くなります。

参照

接続時の画質について→このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」-「画質の調節」(p.107)

接続中の画面について

親機に接続すると、子機に親機の画面が表示されます。

チェック

親機の状態、または回線の状態によっては、接続に失敗することがあります。その場合は、再度接続してください。

このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」(p.103)をご覧ください。

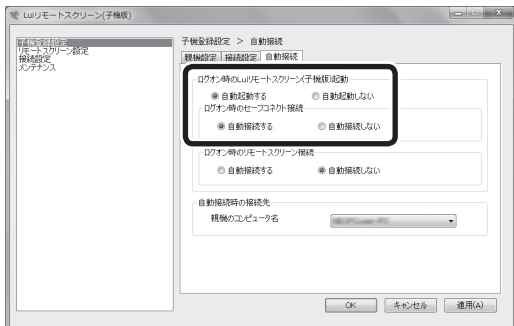
自動接続

自動接続の設定をおこなうと、子機にログオンするだけで、Luiリモートスクリーンの起動から、指定した親機へ接続するまでの一連の操作を自動でできるようになります。

1 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

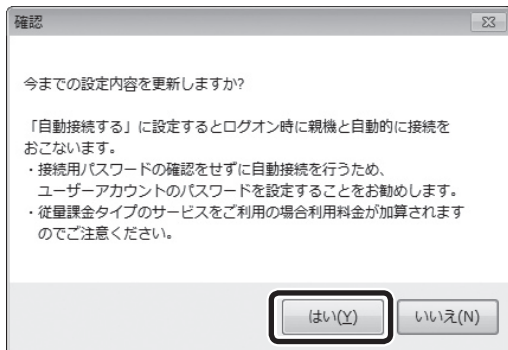
2 親機に接続していない状態で「設定」-「子機登録設定」をクリックし、「自動接続」タブをクリックする

自動接続の設定画面が表示されます。

3 「ログオン時のLuiリモートスクリーン(子機版)起動」の「自動起動する」を◉にし、「ログオン時のセーフコネクト接続」の「自動接続する」を◉にする

4 「自動接続時の接続先」で接続する親機を選択する

リモートスクリーン接続までを自動でおこないたい場合は、「ログオン時のリモートスクリーン接続」の「自動接続する」を◉にしてください。

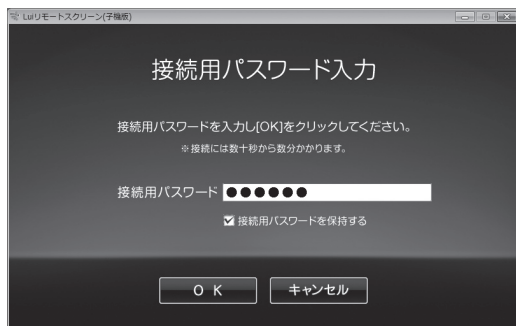
5 「OK」をクリックする

6 [確認]画面が表示されたら、「はい」をクリックする

設定が保存され、次回、ログオン時に自動的に親機に接続されるようになります。

メモ

セーフコネクト接続時には、接続用パスワードを入力する画面が表示されます。自動接続などでこの画面をスキップしたい場合、接続用パスワード入力画面で「接続用パスワードを保持する」を☑にしてください。次回セーフコネクト接続時から有効になります。

かんたんステップ初期設定(宅内用)をおこなった場合、[接続用パスワード入力]画面は表示されません。

PART 5 リモートスクリーンを使う

リモートスクリーンの終了

「リモートスクリーン」を終了する場合は、次の方法があります。

接続は、親機が起動している場合のみ可能なため、リモートスクリーン接続した状態で親機をシャットダウン、スリープまたは休止の操作をおこなわないでください。

■ツールバーのまたはをクリックする

(全画面表示時)、または(ウィンドウ表示時)をクリックすると終了します。ホームメニューから接続した場合は、セーフコネクトの接続が維持されたままホームメニューに戻ります。
親機はロックされた画面になります。

■「Luiリモートスクリーンメニュー」を使う

画面右上のLuiリモートスクリーンメニュー、または画面右下の通知領域のをクリックして表示される画面にあるを右クリックして表示されるLuiリモートスクリーンメニューで「切断」をクリックすると、終了します。ホームメニューから接続した場合は、セーフコネクトの接続が維持されたままホームメニューに戻ります。

子機のデスクトップにある(Luiリモートスクリーン(子機版))アイコンをダブルクリック、または「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「親機に接続する(Luiリモートスクリーン)」をクリックして接続した場合は、ホームメニューに戻らず、画面を閉じて終了します。

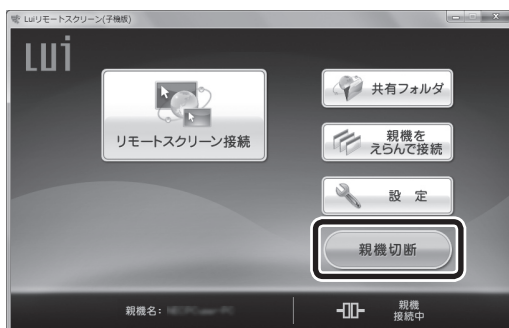
Windows Media Playerなどで音楽ファイルや動画ファイルを再生中にリモートスクリーンを終了しないでください。リモートスクリーンを終了する前に、Windows Media Playerなどを終了してください。

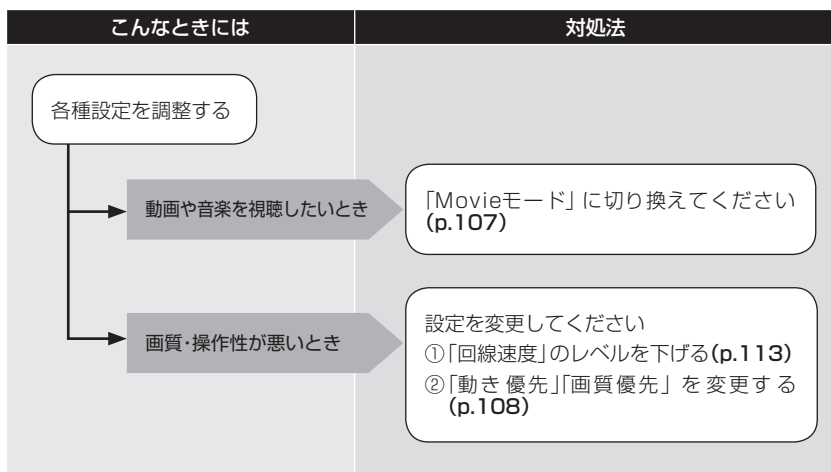
親機を切断する

リモートスクリーンを終了後、画面を閉じると、親機との接続も切断されます。リモートスクリーンを終了後、ホームメニューが表示された場合は、まだ親機と接続中です。
ホームメニューの「親機切断」をクリックすると、セーフコネクト接続(親機との接続)が切断されます。

メモ

「親機接続中」の状態で、「リモートスクリーン接続」、「共有フォルダ」を実行すると、短時間で接続できます。機能を切り換えて使用する場合などに便利です。

PART 5 リモートスクリーンを使う

通信状況に応じた対処方法

高速移動中や電波が弱いなど通信状況が良好でない場合は、次のようにご利用ください。

参照

利用目的や回線速度に応じた機能の使い方→付録の「Luiリモートスクリーン使いこなし術」(p.185)

リモートスクリーンの各種機能について

ツールバーについて

リモートスクリーン接続中の画面上部に、ツールバーが表示されます。
ツールバーのアイコンにマウスポインタを置くと、バルーンヘルプ(簡単な説明)が表示されます。

(ピンアイコン:常に表示)			ツールバーが常に表示されている状態です。 全画面モードで使用中にクリックすると、一定時間経過後、自動的に隠す状態に切り換わります。 ウィンドウモードで使用中は、ツールバーが常に表示される設定になっています。
(ピンアイコン:自動的に隠す)			ツールバーが自動的に隠れる状態です。ツールバーの位置にマウスカーソルを移動すると、一時的に表示できます。 全画面モードで使用中にアイコンをクリックすると、ツールバーが常に表示される状態に切り換わります。 ウィンドウモードで使用中は、ツールバーが常に表示される設定になっています。
画面	フル※	フル	親機の画面全体を表示します。縦横比が一致しない場合があります。
	ノーマル※	ノーマル	親機の画面全体を表示します。画面に黒い帯が表示されることがあります。
	1:1	1:1	任意のウィンドウサイズにdot by dot表示します。ウィンドウサイズ内に親機の画面が入りきらない場合は、ウィンドウに表示されるスクロールバーで上下左右にスクロールできます。 また、ウィンドウサイズを全画面にし、親機の画面がすべて表示されない場合は、画面の上下左右の端にマウスカーソルを置くと、画面をスクロールできます。 全画面モードで1:1にすると、画面に黒い帯が表示されることがあります。
Window fit		Window fit	親機で表示しているソフトのウィンドウサイズを子機に最適な大きさで表示します。 全体表示(フル、ノーマル)のときにクリックすると、dot by dot表示(1:1)に切り換え後、ソフトのウィンドウサイズを最適な大きさで表示します。

※:全画面モードでのみ使用できます。

用途	PCモード	PCモードに変更します。 PCモードについてはこのPARTの「画質の調節」(p.107)をご覧ください。
	Movieモード	Movieモードに変更します。Movieモードについてはこのpartの「画質の調節」(p.107)をご覧ください。
画質	画質優先	画質を最大にします。 マウス操作やキーボード入力の反応速度より画質を優先した設定にします。
	標準	画質を中間の設定にします。
	動き優先	マウス操作やキーボード入力の反応速度を上げます。
		画面を最小化します。
		画面サイズを自由に設定(ウィンドウモード)します。
		画面を最大化して表示(全画面モード)します。
		リモートスクリーン接続を終了して、親機との接続を切断します。ホームメニューから接続した場合は、ホームメニューに戻ります(親機との接続は継続されます)。

メモ

リモートスクリーンの画質やモードの調整は、ショートカットキー（キーボードの複数のキーの組み合わせ)でおこなうこともできます。

参照

ショートカットキー操作について→付録の「キー操作一覧」(p.184)

チェック

全画面モードで使用中、ツールバーから「フル」「ノーマル」「1：1」を選ぶ操作は、【Ctrl】+【Shift】+【F8】キーでもできます。ただし、【Ctrl】+【Shift】+【F8】キーで切り換える場合、動作は次のようになります。切り換え前の状態によって、切り換え後の動作が異なります。

- フル→1:1(dot by dot表示)→フル
- ノーマル→1:1(dot by dot表示)→ノーマル
- 1:1(dot by dot表示)→「フル」または「ノーマル」(1:1にする前の状態)→1:1(dot by dot表示)

リモートスクリーン接続時の表示方法を全体表示(フル/ノーマル)とdot by dot表示(1:1)に切り換えることができます。

全体表示(フル/ノーマル)※

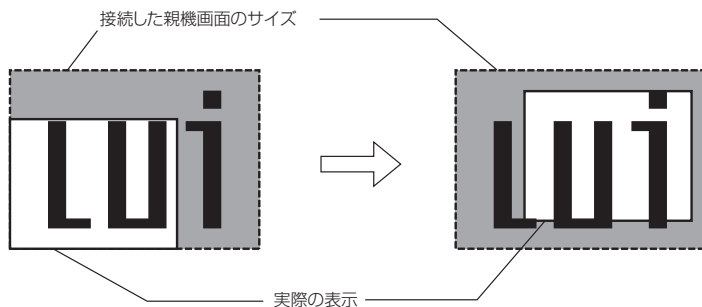
全体表示とは、子機に親機のデスクトップ画面全体を表示する機能です。
「ノーマル」では、画面に黒い帯が表示されることがあります。

※:全画面モードでのみ使用できます。

dot by dot表示(1:1)

dot by dot表示(1:1)とは、親機の画面サイズ(解像度)を拡大縮小せずに表示する機能です。
子機の画面サイズ(解像度)が親機の画面サイズより大きい場合、画面に黒い帯が表示されます。

子機の画面サイズ(解像度)が親機の画面サイズより小さい場合、子機には親機のデスクトップ画面の一部が表示されます。

PART 5 リモートスクリーンを使う

ウィンドウフィット表示

dot by dot表示(1:1)のときに、親機で表示しているアクティブなソフトのウィンドウサイズを子機の画面に最適な大きさで表示する機能です。切り換えは Window fit でおこないます。

変更後は、ソフトのウィンドウおよび部分表示の位置が画面左上に移動し、ウィンドウのサイズを変更します。リモートスクリーンを切断してもウィンドウの場所やサイズはもとに戻りません。

なお、ソフトによってはウィンドウサイズを変更できないことがあります。画面上のボタンが隠れるなどでソフトの操作ができなくなった場合は、【Alt】+【F4】を押して、ソフトを一度終了させてから、再度ソフトを再起動してください。

また、ソフトによっては、動作に支障をきたすことがあります。ウィンドウフィット表示の状態から全画面表示や最大化をおこなうと、親機の画面上で最大化されるためにソフトのウィンドウが子機の画面からはみ出ることがあります。

画質の調節

子機へ送信する画像や音声は、ネットワークの速度設定に合わせて圧縮して送信します。ネットワークの速度が遅い環境では、より高圧縮して送信するため、速度の遅い環境でご使用になる場合は、ネットワークの速度が速い環境でご使用になるときに比べて画質や音質が劣ります。
ご利用方法に合わせて、PCモード/Movieモードの選択、画質優先/動き優先の調節をおこなってください。

PCモードとMovieモード

■PCモード

画像の鮮明さと子機を操作するときのレスポンスを重視するモードです。文書作成などの操作をするときに選択します。PCモードでは操作レスポンス優先のため、映像と音声のずれや、音切れが発生しやすくなります。
リモートスクリーン接続時には、PCモードで表示されます。必要に応じてモードを変更してください。

■Movieモード

動画のなめらかさを重視するモードです。Windows Media Playerなどで動画を再生するときなどに選択します。Movieモードでは操作レスポンスは悪くなりますが、映像と音声がずれず、音切れも発生しにくくなります。
Movieモードでは、マウスやキーボード操作などをおこなっても、すぐには反応しません。遅れる時間は、リモートスクリーン設定のMovieモード時のバッファサイズ数によって変わります。バッファサイズを大きくすると接続回線の変動による画像や音声の乱れに耐えやすくなります(その分、遅れる時間が大きくなります)。

バッファサイズの調節は、ホームメニューの「設定」-「リモートスクリーン設定」-「リモートスクリーン設定」でおこなえます。

PCモードとMovieモードはツールバーまたはキーボードで【Shift】+【Ctrl】+【F10】で切り換えます。

Movieモードは動画のなめらかさを重視するため、PCモードと比べて画質が劣ります。文書作成などのテキスト表示をおこなう場合は、PCモードで使用してください。

画質優先と動き優先

画質を優先させるか、画像の動きを優先させるかを調節します。画質の調節はツールバー、キーボードまたは「設定」メニューでおこないます。
設定している回線速度や表示している画面の内容によっては画質の見た目が変わらないことがあります。

■キーボードで調節する

キーボードで画質を調節するには次のキーでおこないます。

機能	ショートカットキー（初期値）	説明
画質優先にする	【Shift】+【Ctrl】+【F11】	キーを押すごとに、画質が向上します。マウス操作やキーボード入力などをした場合の反応速度は下がります。
動き優先にする	【Shift】+【Ctrl】+【F12】	キーを押すごとに、画質が低下します。マウス操作やキーボード入力などをした場合の反応速度は上がります。

ショートカットキーの割り当てを変更するには、ホームメニューから「設定」-「リモートスクリーン設定」-「ショートカットキー設定」で表示されるショートカットキーの設定画面でおこないます。

■「設定」メニューで調節する

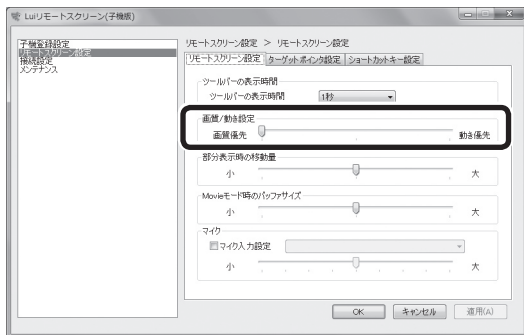
「設定」メニューでの設定は、リモートスクリーン接続時の画質を設定します。
なお、接続中は設定できません。接続終了後におこなってください。
「設定」メニューで画質を調節するには次の手順でおこないます。

1 **子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする**

2 **「設定」をクリックする**

「設定」メニューが表示されます。

3 **左欄の「リモートスクリーン設定」をクリックする**

4 「リモートスクリーン設定」タブで、「画質/動き設定」のつまみを左右に動かして、画質を調節する

つまみを「画質優先」に動かすと画質が向上します。キーボード、マウスの操作の反応速度は下がります。
つまみを「動き優先」に動かすと画質は低下します。キーボード、マウスの操作の反応速度は上がります。

5 「OK」をクリックする

PART 5 リモートスクリーンを使う

ターゲットポインタについて

ネットワーク回線の速度が遅い場合や遅延などで、リモートスクリーン接続時にマウスポインタの反応が鈍くなる場合があります。このようなときは、ターゲットポインタを使用すると、操作性を向上できます。
ターゲットポインタは、子機側でマウスの動きを描画するので、回線の遅延の影響を受けません。

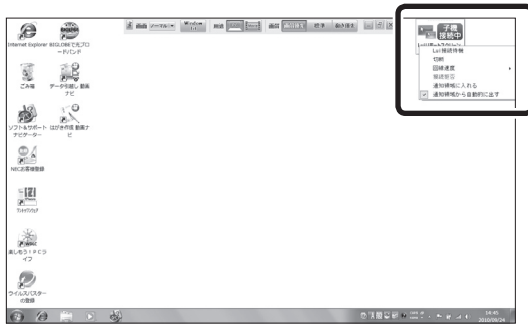
子機のターゲットポインタ		マウス操作に遅れることなく反応します。
親機のマウスポインタ		ターゲットポインタにやや遅れて到達します。遅れ具合は回線遅延の状況によって異なります。

ターゲットポインタの設定は、ホームメニューの「設定」-「リモートスクリーン設定」-「ターゲットポインタ設定」でおこなえます。

ボタンをクリックする場合などでは、ターゲットポインタを目的の場所まで動かし、その場所にマウスカーソルが追いついてからクリックしてください。

Luiリモートスクリーンメニュー

親機にインストールされている「Luiリモートスクリーンメニュー」で親機と子機との接続を管理できます。親機の切断の操作、通信の際の回線速度の調節などができます。「Luiリモートスクリーンメニュー」は次の方法で使用できます。

1 画面右上のLuiリモートスクリーンメニューを右クリック、または画面右下の通知領域の▲をクリックして表示される画面にある■を右クリックして表示されるLuiリモートスクリーンメニューから機能を選択する

▲通知領域から出ているLuiリモートスクリーンメニューを開く

▲通知領域にあるLuiリモートスクリーンメニューを開く

Lui接続待機

親機がスリープ状態、休止状態、電源が切れている状態では、子機から親機へ接続することができません。
Luiリモートスクリーンメニューで「Lui接続待機」モードにしておくと、親機を自動的にスリープ状態(休止状態)にする機能が無効になり便利です。「Lui接続待機」をクリックするごとに、設定を切り換えることができます。

- 「Lui接続待機」モードに設定していても、「接続拒否」をすると親機へ接続することができません。
- 「Lui接続待機」は親機をスリープ状態(休止状態)にさせないことで、子機から親機への接続を可能にしますが、親機の電源が切れている場合は、親機への接続はできません。
- 接続中も「Lui接続待機」モードの設定を切り換えることができます。切り換えたモードは、親機を再起動しても保持されます。

切断

親機との接続を切断します。

1 Luiリモートスクリーンメニューで「切断」をクリックする

2 リモートスクリーンの切断確認画面で「はい」をクリックする

「リモートスクリーン」が終了し、親機との接続が切断されます。ホームメニューから接続した場合は、ホームメニューに戻ります。この場合、セーフコネクトでの親機との接続状態は維持されています。

回線速度

親機に接続中に回線速度を調節できます。ご使用になっているネットワークの速度に応じて回線速度の調節をおこなってください。
回線速度の目安は次の表を参考にしてください。表の値は、参考値であり、PCモード/Movieモード、画質優先/動き優先の設定によって、必要となる回線速度は異なります。

回線速度	回線速度の目安
レベル6	40Mbps以上
レベル5	30Mbps以上
レベル4	20Mbps以上
レベル3	7Mbps以上
レベル2	3Mbps以上
レベル1	1Mbps以上

チェック

- 回線速度は、理論値ではなく実効値です。
- 回線速度は、ネットワークの帯域のほかに、親機、子機のパソコンの性能や、親機、子機で同時に使用しているアプリケーションによっても影響を受けることがあります。回線速度を低く設定することで、カクツキなどが改善される場合があります。
- 回線速度の調節は一時的なものです。通信を切断するとプリセットされている設定に戻ります。回線速度の設定を変更する場合は、子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅内用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックし、「設定」-「接続設定」-「ネットワークアダプタ設定」-「詳細設定」でおこなえます。詳しくは、PART8の「設定を変更する」-「子機の設定を変更する」(p.152)をご覧ください。
- 上記の回線速度に設定しても、ネットワークの通信速度のゆらぎ(一定でない)によって操作しづらくなることがあります。

接続拒否

子機からのリモートスクリーン接続要求を常時拒否することができます。
なお、リモートスクリーン接続中には設定できません。

通知領域から出す/通知領域に入れる

Luiリモートスクリーンメニューを通知領域から出したり、収納したりできます。

通知領域から自動的に出す

リモートスクリーン接続時にLuiリモートスクリーンメニューを通知領域から自動的に出し、リモートスクリーン終了時に通知領域に格納します。

子機の音声入力を親機に送る

子機のマイクから入力した音声を親機で録音したり、音声入力として使用することができます。使用する場合、次の設定が必要です。

- 親機の設定
  「親機側の設定」(このページ)
- 子機の設定
  「子機側の設定」(p.117)をご覧ください。

また、親機側の音量を調節できます。「親機の入力音量を調節する」(p.116)をご覧ください。

親機側の設定

子機の音声入力を親機に送るときの親機の設定について説明します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン設定(親機)」をクリックする

[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?　プログラム名:Luiリモートスクリーン設定」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- 親機の解像度設定が「横:1024ドット」または「縦:768ドット」より小さい場合、親機設定は起動できません。設定をおこなうときは、解像度を「横:1024ドット、縦:768ドット」より大きく設定してください。
- 子機を1台も登録していない場合、「Luiリモートスクリーン設定(親機)」には「システム設定」と「メンテナンス」の2項目しか表示されません。

・必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてから「Luiリモートスクリーン設定（親機）」を起動してください。
・「Luiリモートスクリーン設定（親機）」は、子機が接続されている状態では起動できません。

2 「リモートスクリーン設定」をクリックし、「サウンド」タブをクリックする

3 「子機のマイクからの音声を使用する」を☑にして「適用」をクリックしてから、「サウンド設定」をクリックする

4 「録音」タブで「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」が表示されていない場合は、「録音」タブの画面上の余白部分で右クリックし、「無効なデバイスの表示」または「切断されているデバイスの表示」をクリックする。「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」が表示されたら、「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」を右クリックし、表示されるプルダウンメニューから「有効」をクリックする

すでに「録音」タブで「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」が既定のデバイスになっている（緑色のチェックアイコン✔が表示されている）場合は「キャンセル」をクリックして画面を閉じてください。

5 「録音」タブで「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」を既定のデバイス（✔）にする

「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」が既定のデバイスになっていない場合（既定のデバイスであることを示す緑色のチェックアイコン✔が表示されていない場合）は、「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」を右クリックし、表示されるプルダウンメニューから「既定のデバイスとして設定」をクリックしてください。✔が表示されて既定のデバイスになります。

PART 5 リモートスクリーンを使う

6 「OK」をクリックする

マイクの設定を変更した場合は、リモートスクリーン終了後、もとに戻してください。

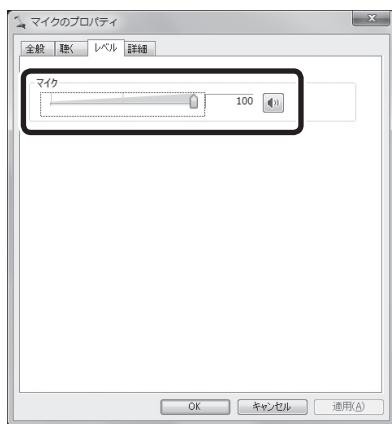
·子機の音声入力の設定について→「子機側の設定」(p.117)
·親機側の音量調節について→「親機の入力音量を調節する」(このページ)

親機の入力音量を調節する

1 親機で、「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」をクリックし、「録音」タブをクリックする

2 「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」をクリックし、「プロパティ」をクリックする

［マイクのプロパティ］画面が表示されます。

3 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で音量を調節する

4 「OK」をクリックする

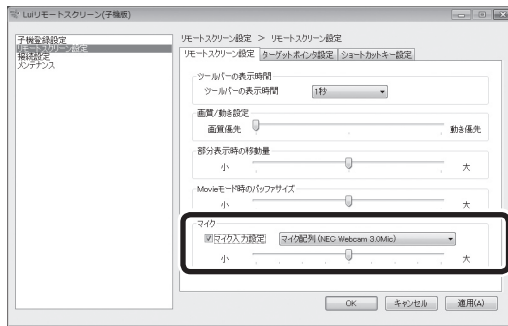
子機側の設定

子機の音声入力を親機に送るときの子機の設定について説明します。
次の子機側の設定をおこなう前に、「親機側の設定」(p.114)を済ませておいてください。

1 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

2 「設定」-「リモートスクリーン設定」をクリックし、「リモートスクリーン設定」タブをクリックする

「リモートスクリーン設定」画面が表示されます。

3 「マイク入力設定」のをクリックしてにし、をクリックして表示されるプルダウンメニューから使用するマイクデバイスを選択する

4 「OK」をクリックする

チェック

- マイクの音量について
  - マイクデバイスによっては音量を変更できないことがあります。
  - 子機側のマイクがミュートになっていると、親機に音声を送ることができません。「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」をクリックし、「録音」タブをクリックして表示される画面で、使用するマイクを選択して右クリックしてください。「プロパティ」をクリックし、「レベル」タブをクリックして表示される画面で、(ミュート)が表示されている場合、をクリックして(ミュート解除)にした後、適切な音量を設定してください。
- マイクを利用する場合は、子機のコンピュータ名を半角英数字にしてください(全角文字は使用しないでください)。なお、コンピュータ名を変更した場合は、PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

リモートスクリーンを使うときの注意事項

リモートスクリーン接続前のご注意

親機での注意事項

・親機がスリープや休止状態になっていたり、電源が切れている場合は、リモートスクリーン接続をすることができません。ご購入時に、スリープや休止状態に移行する設定になっている場合があります。親機のマニュアルをご覧になり、親機をスリープや休止状態に移行しない設定にしてください。

・親機で、DVD/CDドライブにアクセスする機能や仮想ドライブを作成する機能のある次のようなソフトが起動している場合には、子機で親機に接続できないことがあります。
  - DVDやブルーレイディスク再生ソフト
  - 音楽CDソフト(CD再生、リッピングなど)
  - ディスクライティングソフト(DVD作成機能がある動画編集ソフトを含む)
  - 仮想ドライブソフト

・親機は、マルチディスプレイおよびディスプレイのピボット機能(縦長表示状態での接続)はサポートしていません。

・親機にキーボードが接続されていない場合、「リモートスクリーン」は使用できません。

・複数台の親機が同一ネットワーク内に設置されている場合は、外出先のネットワーク環境によっては、子機から接続できないことがあります。

・初期設定後に親機の次のいずれかを変更した場合、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧になり、親機の追加/変更をおこなってください。
  - コンピューター名
  - ユーザー アカウント名
  - ユーザー アカウントのパスワード

・親機にログオンしているユーザーが一時的に子機からの接続拒否をしているときは、親機側のユーザーがログオフすることによりログオンできるようになります。

・Luiリモートスクリーンの初期設定で自動ログオンユーザとして登録したユーザー以外が親機にログオンして使用しているときには、リモートスクリーンは使用できません。

子機での注意事項

・ 初期設定後に子機のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

リモートスクリーン接続中のご注意

親機での注意事項

・ 子機で親機に接続しているときは、子機からのみ親機の操作ができます。親機に接続されているマウスやキーボードでは操作できません。また、親機には、子機に転送されている画面が表示されます。
子機で親機に接続しているときに親機側で操作をしたいときは、親機側で【Alt】+【F1】を押すと、子機と親機の接続は切断され、ホームメニューから接続した場合は、子機には「ホームメニュー」が表示されます。
・ 接続中にキーボードが取り外された場合は、リモートスクリーン接続が切断されます。
・ 子機と接続中に、ブルーレイディスクやDVDを親機にセットすると、通信が切断されます。
・ リモートスクリーン接続中は、親機でスリープ/休止状態の設定がされている場合でも自動でスリープ/休止状態になることはありません。

子機での注意事項

・ リモートスクリーン接続中に親機の解像度を切り換えると、通信が切断されたり、ターゲットポインタとマウスポインタがずれることがあります。
・ リモートスクリーン接続中、親機の解像度は「1280×768ドット」になります。親機の解像度が「1280×768ドット」をサポートしていない場合は、「1024×768ドット」になることがあります。
・ Luiリモートスクリーンでリモートスクリーン接続をしているときは、子機の解像度、表示色、DPI設定、リフレッシュレートを変更しないでください。変更すると、画面が表示されなくなる(真っ暗になる)ことがあります。画面が表示されなくなった場合は、Luiリモートスクリーンを再起動してください。
・ リモートスクリーン接続中に、子機の画面の出力先を変更することはできません。
・ リモートスクリーン上で親機にログオンしているユーザーは、ログオンする画面、ユーザー切り換えする画面、ロックする画面などには遷移できません。ユーザー切り換えをおこなうと、遷移後、自動的にログオンされるか、回線が切断されることがあります。そのため、ログオフやユーザー切り換え、ロック機能はご使用になれません。
・ 回線速度が遅い環境でご使用になる場合や、親機や子機のCPU負荷が高い場合、映像のコマ落ち、音声の途切れが発生しやすくなります。
・ 親機のマウスポインタの速度の設定は変更できません。

- ご使用の環境、またはネットワークの環境によっては操作反応の遅延が起こります。ゲームなど操作に即応性が求められるソフトのご利用には向かない場合があります。
- マルチユーザーには対応していません。Luiリモートスクリーン使用中、およびリモートスクリーン接続中は、子機および親機のユーザー切り換えをしないでください。ユーザー切り換えをしてしまった場合は、その後、Luiリモートスクリーンを再起動してください。
- リモートスクリーン接続中に、スタートボタンから再起動をおこなうと、再起動後、親機のログオン画面が小さく表示されることがあります。
- NXパッドの左右スクロールや【Ctrl】+【Alt】+【Del】は使用できません。
- リモートスクリーン接続中に移動させたアイコンは、リモートスクリーン接続を切断すると接続前の位置に戻ります。
- 親機に送信されるデバイスは、子機に接続したマウスとキーボードのみです。子機に接続した携帯音楽プレーヤーのデータ同期をとったり、子機に接続したプリンタに印刷したりすることはできません。
- リモートスクリーン接続中は、マウスポインタのアニメーション(バックグラウンドで作業中など)や影などが表示されないことがあります。また、マウスカーソルが大きく表示されることがあります。
- 親機でソフトを全画面表示している場合、リモートスクリーン接続や切断をした際、自動的にウィンドウ表示や最小化されることがあります。

利用するソフトの注意事項

- ソフトのインストールおよびアンインストールはおこなわないでください。
- 3D表示機能に対応するソフトは使用できません。
- ソフトによっては、起動時に「画面解像度を1024×768以上でお使いください」というメッセージが表示されて起動できないことがあります。その場合は、親機の解像度を「1024×768ドット」に変更後、ソフトを起動しなおしてください。サポートしている解像度は「1280×768ドット」「1024×768ドット」です。
- 画面モードが切り換わるゲームなどのソフトを起動すると通信が切断されることがあります。
- マウスやキーボードの自動入力をガードする機能が組み込まれているソフト(オンラインゲームなど)は動作しないことがあります。
- ソフトによっては起動するとマウスでの操作ができなくなることがあります。その場合は、キーボードにより操作、終了してください。
- 著作権保護のため、地上デジタル放送やBS/CSデジタル放送の録画番組を親機で再生させ、子機で見ることはできません。また、DVDやブルーレイディスクを親機で再生させ、子機で見ることはできません。
- 動画を再生するソフトによっては、再生画面が黒く表示されたり、親機の音声が子機から出力されないことがあります。

- 特定のソフトでは、ウィンドウの大きさが変わらない、メニューが隠れて操作できなくなる、画面のほとんどがメニュー表示になってしまうなどの症状が発生することがあります。
- 拡大鏡を使用するときは、拡大鏡の表示の設定を「固定」にして使用してください。「固定」以外にすると、動作が遅くなったり、マウスカーソルがずれたりします。また、ソフトによっては正常に表示できないことがあります。
- 親機にSmartVisionが搭載されている場合、SmartVisionの設定で、録画などの予約実行後にスリープや休止状態に移行、または電源を切る設定になっていると、Luiリモートスクリーンを使用して子機から親機に接続できないことがあります。親機に添付されている『テレビを楽しむ本』をご覧になり、予約や番組表受信終了後、自動的に電源が切れない設定にしてください。
- ソフトによっては、処理後、自動的にスリープや休止状態に移行またはシャットダウンをおこなうことがあります。その場合は、ソフトのマニュアルをご覧になり、自動的に電源が切れない設定にしてください。
- ソフトによっては、全画面で表示できないことがあります。
- ソフトによっては、子機に画面が表示されないことがあります(Windows Live フォト ギャラリーのスライドショーなど)。
- 親機や子機で、SmartVision、ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM、ホームネットワークサーバー powered by DiXiMを使用できません。
- 親機に対して「彩りプラスの設定」、「彩りの設定」のすべての機能(彩りプラス(映像調整)機能、LED消灯機能、輝度変更機能)が適用されません。
- NXパッドの「手書きでお助けパッド」機能は使用できません。
- タッチパネル用のソフト(画面に触れて操作するソフト)は使用できません。

その他の注意事項

- 子機と親機の切断後、親機の解像度がもとに戻らないことがあります。

著作権に関するご注意

- 音楽、映像、コンピュータープログラムなどの著作物は、著作権法によりその著作権および著作権者の権利が保護されています。お客様が著作権を保有していなかったり、あるいはお客様が、著作権者から複製(データ形式の変換を含みます)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などの了解を得ずに、著作物の複製(データ形式の変換を含みます)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などをおこなった場合、利用許諾条件または著作権法に違反することがあります。
- 音楽、映像、コンピュータープログラムなどの著作物を複製することは、個人的にまたはご家庭内で楽しむ、または個人的にまたはご家庭内で使用する目的でのみおこなうことができます。前述の目的を超える場合には、著作権者の承諾が必要になります。

最新の情報は、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/navigate/support/lui/manual/index.html

GPUパワーモードについて

NVIDIA社のグラフィックアクセラレータが搭載されているパソコンの特定のモデルでは、GPUパワーモードを使用できます。使用可能なモデルについては、次のホームページでご確認ください。
http://121ware.com/catalog/taioukiki/

GPUパワーモード使用時は、NVIDIA社のグラフィックアクセラレータの演算機能を使用します。そのため、リモートスクリーン機能をより便利に利用できます。

GPUパワーモードの特長

●フルHDで画面を遠隔操作することができます(宅内接続の場合)(※)

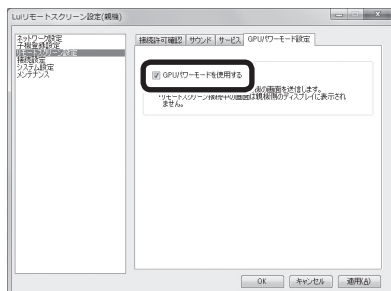
子機で画面解像度をフルHD(1920×1080ドット)で表示している場合、親機から転送する画面の解像度もフルHDで転送します。より広い画面を利用した遠隔操作を快適に利用できます。
フルHD画面を転送する場合、親機、子機は1000BASE-Tや高速無線LAN(IEEE802.11n)で接続することをおすすめします。

※:宅外から接続する場合は、WXGA(1280×768ドット)で接続されます。

●より多くのソフトを遠隔操作することができます

GPUパワーモードを使用しない場合に子機に表示されない画面(Windows Live フォト ギャラリーのスライドショーなど)も、GPUパワーモードにすると表示されて遠隔操作できます。ただし、地上/BS/CSデジタル放送、DVD、ブルーレイディスクなどの再生は除きます。

GPUパワーモードの設定方法

GPUパワーモードが利用可能な場合は、親機の「設定」メニューで「リモートスクリーン設定」をクリックすると、「GPUパワーモード設定」タブが表示されます(色数が32ビット以外のときは表示されません)。「GPUパワーモードを使用する」を☑にすると、GPUパワーモードを使用できます。

GPUパワーモードを使用するときの注意事項

- 一部のアプリケーションと併用した場合、フレームレートが低下することがあります。
- リモートスクリーン接続中は親機のディスプレイには何も表示されません。
- リモートスクリーン接続をおこなうと、親機の解像度は、子機で設定されている解像度(1920×1080 ～ 800×600ドット)になります。
- 接続時の子機の画面解像度設定がフルHDの場合は非常に大きなデータを転送するため、屋外などでご利用の場合は、子機の画面解像度を1280×768ドットなどの解像度に変更してから接続することをおすすめします。
- グラフィックアクセラレータの演算機能を利用するソフトを利用中は、親機から転送する画面のコマ落ちが発生することがあります。
- リモートスクリーン接続中は、色数が32ビットになり、色数の変更もできません。また、設定可能な親機の解像度は、接続時の子機の解像度、1280×768ドット、1024×768ドット、800×600ドットのみとなります。
- GPUパワーモードを使用するときは、親機の色数を32ビットにしてください。
- 解像度1920×1080ドットのときの回線速度のレベルと回線速度の関係は次のとおりです(※)。

回線速度	回線速度の目安
レベル6	80Mbps以上
レベル5	60Mbps以上
レベル4	40Mbps以上
レベル3	14Mbps以上
レベル2	6Mbps以上
レベル1	1Mbps以上

※:解像度1920×1080ドットの画面を転送する場合には非常に大きなデータを転送します。親機、子機は1000BASE-Tや高速無線LAN(IEEE802.11n)で接続することをおすすめします。なお、無線LAN接続時は、ご利用環境や接続機器などにより通信速度が低下し、リモートスクリーン画面のカクツキが多く、操作しにくくなることがあります。その場合は、回線速度設定をカクツキが減少する設定値まで下げてお使いください。

参照

回線速度の変更について→このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」-「Luiリモートスクリーンメニュー」-「回線速度」(p.113)

最新の情報は、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/navigate/support/lui/manual/index.html

親機の電源について

親機の電源について

子機からリモートスクリーン接続するとき、親機は起動したままにしておいてください。親機の電源が切れていたり、休止状態やスリープ状態になっていると、子機から接続できません。
自動的にスリープ状態や休止状態にする機能を無効にする「Lui接続待機」モードに設定しておくと便利です。

参照

Lui接続待機モードについて→このPARTの「リモートスクリーンの各種機能について」-「Luiリモートスクリーンメニュー」-「Lui接続待機」(p.112)

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能について

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))とは、ネットワークを通じて遠隔操作でパソコンをスリープ状態や休止状態から起動させる機能です。
親機がリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能に対応している場合は、市販のWoLに対応したルータを利用すると離れた場所から親機を起動することができます。

●リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用するための準備

リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用する場合、次の準備をおこないます。

親　機	ルータ

①親機とルータがWoLに対応しているか確認する

親　機	ルータ
親機がリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))に対応しているか、親機のマニュアルの次の箇所で確認してください。 ・BIOS(バイオス)の設定について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「BIOS(バイオス)」 ・LANドライバの設定について→「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク」-「LANネットワークの設定」 上記メニューがない場合、「ソフト&サポートナビゲーター」の画面上部にある入力欄で「ハードウェア環境の設定」、「バイオス」、「BIOS」、「ネットワークの設定」、「リモートパワーオン」などの用語を入力して「検索」ボタンをクリックしてください。	ルータがリモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))に対応しているか、ルータのマニュアルで確認してください。 WoL機能に対応しているAterm製品をお使いの場合、リモートパワーオン機能をご利用いただけます。 WoL機能に対応しているAterm製品を確認するには、AtermStationのホームページ(http://121ware.com/aterm/)にアクセスし、「トピックス」-「外出先から自宅のパソコンにアクセス」をクリックしてください。

▼

②両方とも対応している場合、それぞれでWoLの設定をおこなう

親　機	ルータ
親機のマニュアルの上記箇所をご覧になり、親機のBIOS(バイオス)やLANドライバの設定をおこなってください。	ルータに添付されているマニュアルをご覧になり、ルータの設定をおこなってください。 WoL機能に対応しているAterm製品をお使いの場合、ホームページ(http://121ware.com/navigate/support/lui/manual/index.html)をご覧ください。

▼

③親機とルータをLANケーブルで接続する

WoL機能を利用する場合、親機からLANケーブルで、WoLに対応しているルータの有線LANポートと接続してください。親機とルータを無線LANで接続している場合、WoL機能を使用できません。

これで準備ができました。
リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))を利用できます。

パソコンによっては、電源が切れた状態からのWoLに対応していないことがあります。

●リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用する
(遠隔操作で親機を起動する)

次の操作をおこなう前に前ページの「●リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))機能を利用するための準備」が済んでいることを確認してください。

1 リモートパワーオン(WoL(Wake on LAN))で親機を起動する

2 親機にLuiリモートスクリーン接続をする

親機の操作

「接続拒否」について

親機側で子機に接続されると不都合な場合は、Luiリモートスクリーンメニューで「接続拒否」を設定することができます。操作を開始する前に「接続拒否」を設定していると、子機から接続されることなく操作ができます。操作が終了したら、「接続拒否」を解除することにより、子機からの接続を受け付けるようになります。
「接続拒否」を設定していても、子機からリモート再起動した場合、親機側に確認画面が表示され、10秒後に再起動します。

メモ

「接続拒否」の状態は、親機の再起動もしくは、ユーザーがWindowsからログオフすると自動的に解除されます。

親機での切断方法

リモートスクリーン接続中、親機側には、子機に転送されている画面が表示されます(GPUパワーモードを使用する場合、親機側に画面は表示されません)が、親機で操作をおこなうことはできません。親機側から操作をおこないたい場合は、親機側で【Alt】+【F1】を押して強制的に通信を切断してください。接続許可画面が表示されるまでは、この操作をおこなっても切断できない場合があります。

接続許可確認について

親機を操作中に「Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？あと ○秒で自動的に接続します。」という画面が表示されたときに、「はい」をクリックすると子機からの接続を受け付けます。接続を受け付けると親機側には、子機に転送されている画面が表示されて、操作をおこなうことはできなくなります。「いいえ」をクリックすると子機からの接続を拒否できます。

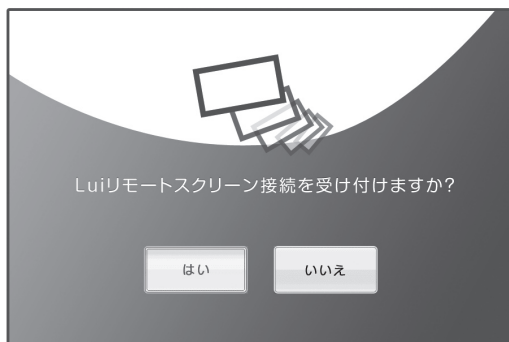
メモ

- 「Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？あと○秒で自動的に接続します。」という画面が表示されたときに、操作をおこなわなかった場合、一定時間後に子機からの接続を受け付けます。
- 「Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？」という画面を表示する必要がない場合には親機の設定を変更してください。

接続許可確認の設定について→PART8の「設定を変更する」-「親機の設定を変更する」-「設定できる項目」-「■リモートスクリーン設定」-「接続許可確認」(p.160)

カウントダウンの停止について

親機に[Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？]画面が表示されカウントダウン中(7秒)に、親機側でキーボードまたはマウス操作をおこなうと、カウントダウンが停止されます。停止が5秒間続いた後、カウントダウンを7秒前から再開します。

カウントダウン停止中は、[Luiリモートスクリーン接続を受け付けますか？]画面に「あと○秒で自動的に接続します。」が表示されません。

PART

6

共有フォルダを使う

このPARTでは、親機と子機の間で、共有フォルダを使ってデータのやりとりをする方法を説明しています。

共有フォルダを使うためには

親機と子機の間で、データのやりとりをするには、「共有フォルダ」機能を使います。共有フォルダを使うと、外出先などからも、ホームネットワークのようにデータをやりとりすることができます※。

※：親機が、ほかのパソコンとセーフコネクト機能を使って接続中は、その親機に宅外から接続することはできません。

- 共有フォルダを使うためには、親機のWindowsのパスワードを設定する必要があります。Windowsのパスワードを設定するには、親機のマニュアルをご覧ください。
- 次の手順をおこなう前に、インターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- 複数のネットワークアダプタが接続状態（IPアドレスが割り当てられている）である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

  例）有線LANで使用する場合

  - 外付けされているネットワークアダプタを子機から取り外す
  - 無線LANの電源をオフにする
- この項目の説明で使用しているパブリック ネットワークとは、ブロードバンドルータなどを使わずに、直接、インターネットに接続しているネットワークのことを指します。

ここでは、共有フォルダを使うための準備について説明しています。

共有フォルダを使うための準備

親機と子機との間で、すでにホームグループを設定済みの場合は、「ホームグループの作成（親機側）」の手順6（p.134）に進んでください。

Windows 7では、ホームグループによるファイル共有をおこなうことができます。親機と子機との間で、これからホームグループの設定をする場合、次の説明をお読みください。

Windows 7 Starterでは独自のホームグループを作成することはできません。先に、次の手順で、Windows 7がインストールされている親機でホームグループを作成して、その後で、子機側でホームグループへ参加する操作をおこないます（p.137）。

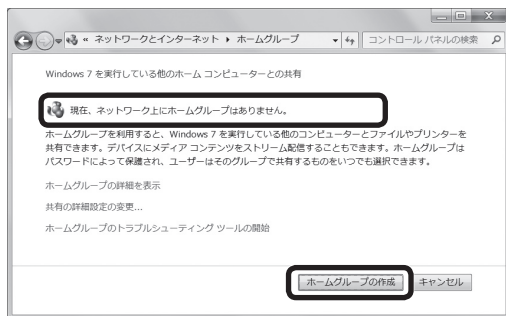
ホームグループの作成（親機側）

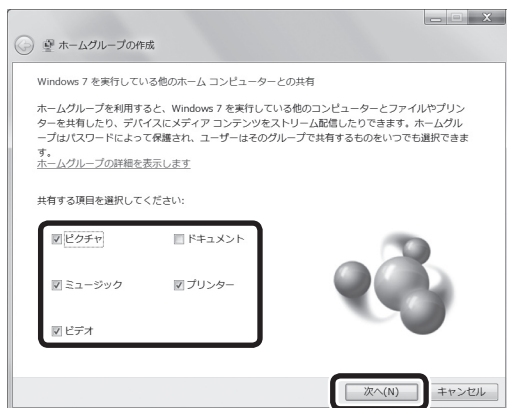
ここでは、親機でホームグループを作成する手順を説明します。

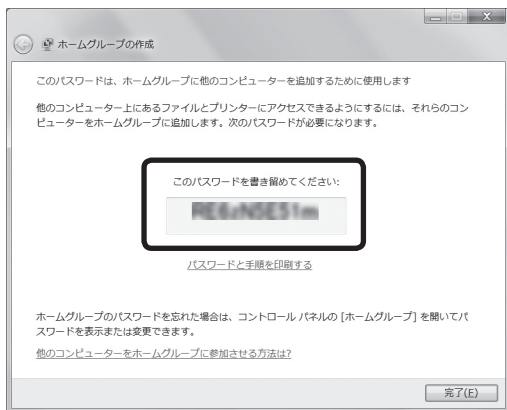
1 **親機で、「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする**

親機のホームグループへの参加状態が表示されます。

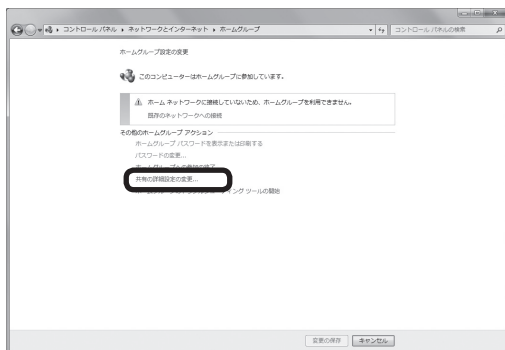
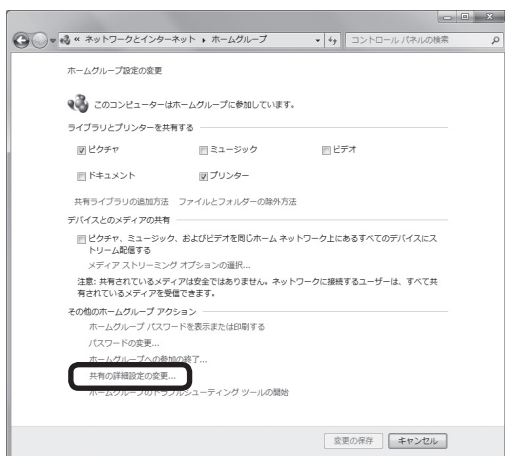
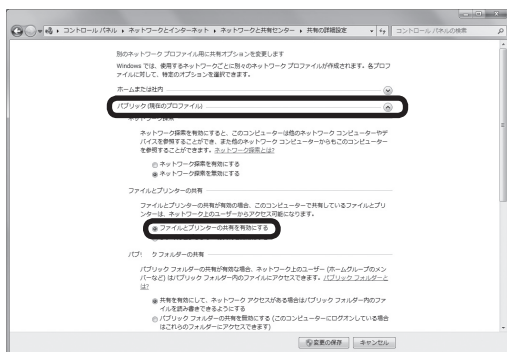
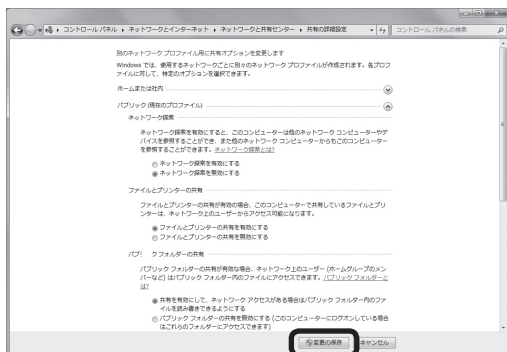
2 **「現在、ネットワーク上にホームグループはありません。」と表示された場合、「ホームグループの作成」をクリックする**

「このコンピューターはホームグループに参加しています。」と表示された場合、手順7（p.135）に進んでください。

3 [ホームグループの作成]画面が表示されたら、共有する項目を選択して、「次へ」をクリックする

ここで選んだ項目(フォルダやデバイス)が子機から参照可能になります。

4 ホームグループのパスワードが表示されたら、書き留める

パスワードは、自動生成されます。後でホームグループに参加するときに使用します。

5 「完了」をクリックする

6 「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする

7「共有の詳細設定の変更」をクリックする

上記の画面が表示されず次の画面が表示された場合も、「共有の詳細設定の変更」をクリックしてください。

8 「パブリック」を開き、「ファイルとプリンターの共有を有効にする」をにする

9 「変更の保存」をクリックする

10 「キャンセル」をクリックする

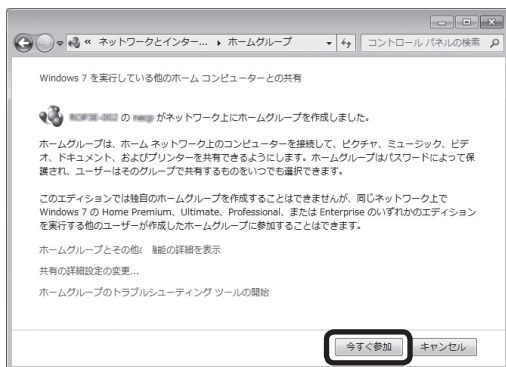
「ホームグループ設定の変更」を終了します。

これでホームグループの設定は完了です。次の「ホームグループへの参加(子機側)」に進んでください。

ホームグループへの参加（子機側）

ここでは、親機で作成したホームグループへ参加する手順を説明します。

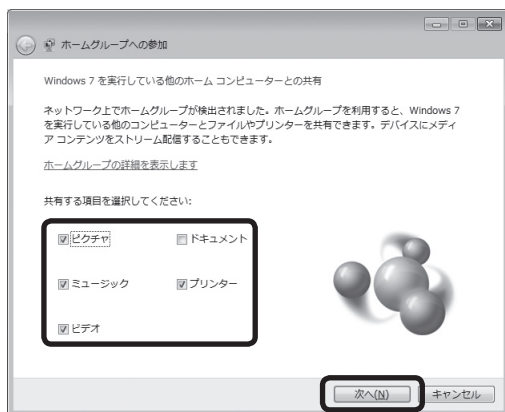
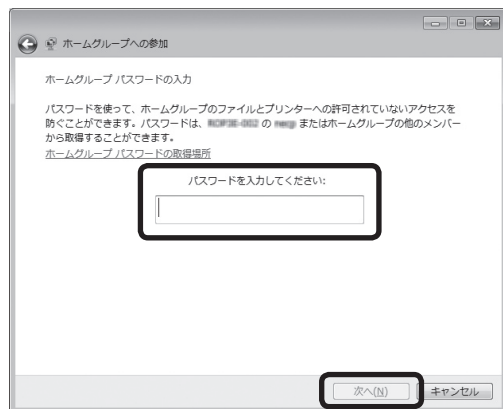
1 子機で、「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする

2 次のような画面が表示されたら、「今すぐ参加」をクリックする

▲Windows 7 Starterの場合の画面

チェック

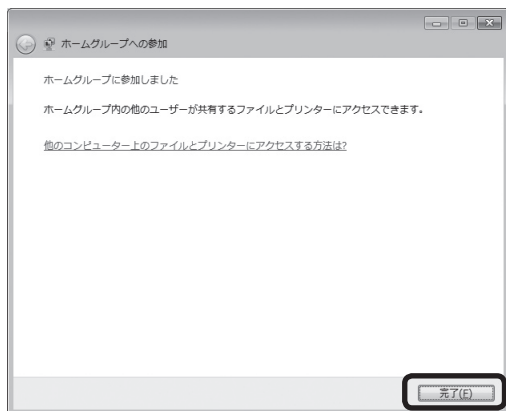
「今すぐ参加」ボタンがアクティブになっていない場合は、「ホームグループのトラブルシューティングツールの開始」をクリックしてください。

PART 6 共有フォルダを使う

3 [ホームグループへの参加]画面が表示されたら、共有する項目を選択して、「次へ」をクリックする

4 「パスワードを入力してください」と表示されたら、「ホームグループの作成（親機側）」の手順4(p.134)で書き留めたホームグループのパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

設定されているホームグループのパスワードは、次の手順で確認できます。

1 ホームグループにすでに参加しているパソコンで、「スタート」-「コントロールパネル」-「ホームグループと共有に関するオプションの選択」をクリックする

2 「その他のホームグループ アクション」の項目にある「ホームグループ パスワードを表示するまたは印刷する」をクリックする

5 「ホームグループに参加しました」と表示されたら、「完了」をクリックする

これで、親機と子機との間で共有フォルダを使う準備ができました。続けて、「共有フォルダを使う」(p.140)に進んでください。

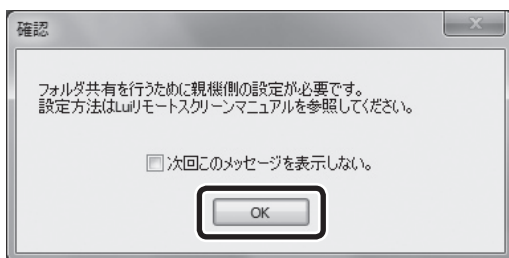
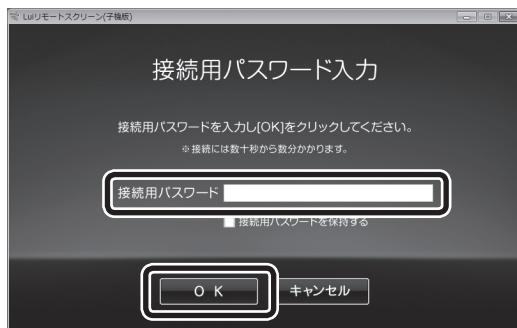
共有フォルダを使う

親機と子機を接続して、ファイルやフォルダを共有する方法について説明します。

共有フォルダを開く

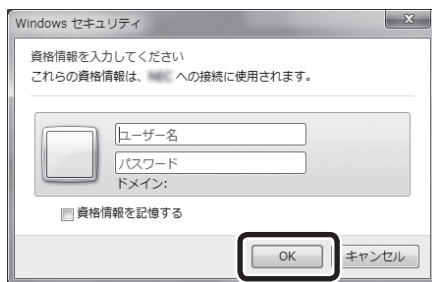
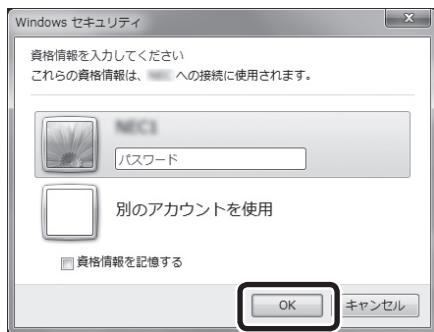
1 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

2 「共有フォルダ」をクリックする

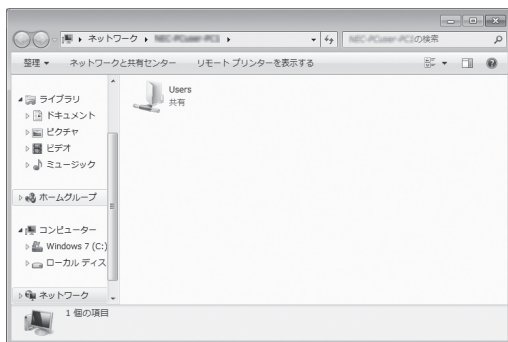
3 [確認]画面が表示されたら、内容を確認し、「OK」をクリックする

4 接続用パスワードを入力し、「OK」をクリックする

かんたんステップ初期設定(宅内用)をおこなった場合、[接続用パスワード入力]画面は表示されません。

すでに親機に接続している場合は、この画面は表示されません。

5 [Windows セキュリティ]画面が表示された場合、親機のWindowsのユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をクリックする

次の画面が表示された場合、親機側に登録したWindowsのユーザー名、パスワードを入力してください。

次の画面が表示された場合、親機側に登録したWindowsのパスワードを入力してください。

メモ

[Windows セキュリティ]画面のユーザー名に、通信しているネットワークアダプタのIDなどが自動入力されている場合は、「別のアカウントを使用」をクリックし、親機のユーザー名、パスワードを入力してください。

子機への接続とフォルダ共有の準備が終わると、親機で共有の設定をしたフォルダが表示されます。

チェック

- ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、親機側に登録したユーザー アカウント名とパスワード(PART3の「初期設定(親機)」の手順4(p.65)で使用した「親機のユーザ名」と「パスワード」など)を入力してください。
- 宅外から共有フォルダを使用する場合、ユーザー名、パスワードを入力後、共有設定したフォルダが表示されるまでに時間がかかることがあります。

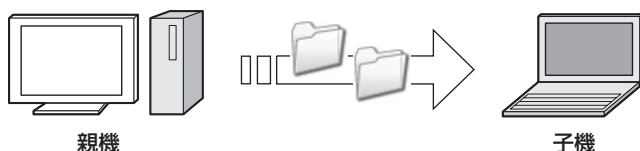
ファイルを共有する

「共有フォルダを開く」(p.140)の手順で開いた親機のフォルダは、通常のエクスプローラーと同じようにフォルダやファイルのコピーなどの操作ができます。

親機と子機では、パソコンの性能や、インストールされているソフトに違いがあります。

そのため、親機からコピーしたファイルがすべて子機で使用できるわけではありません。

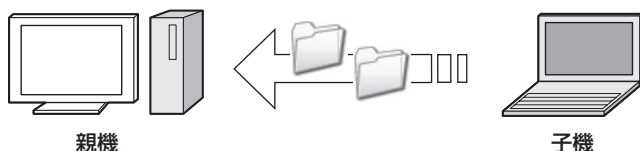
親機のファイルを子機にコピーする

インターネットが使えるときに、子機にファイルをコピーしておけば、インターネットが使えないところに移動しても、ファイルを扱うことができます。

子機から親機にアクセスしたときに、特定のフォルダだけを見えないようにすることができます。その場合、次の設定をおこなってください。

1 親機で、エクスプローラーを開き、フォルダを選択して右クリックする

2 表示されたメニューから「共有」を選択し、「なし」をクリックする

子機のファイルを親機にコピーする

インターネットが使えないときに作成したファイルを親機に戻すことができます。また、外出先で撮った写真を自宅に送ったりできます。

共有フォルダの終了

親機と子機のフォルダやファイルの共有が終わったら、フォルダ右上の × をクリックして共有フォルダを終了してください。この状態では、まだセーフコネクトの接続は維持されています。

親機を切断する

ホームメニューの「親機切断」をクリックすると、セーフコネクト接続(親機との通信)が切断されます。

メモ

「親機接続中」の状態で、「リモートスクリーン接続」、「共有フォルダ」を実行すると、短時間で接続できます。機能を切り換えて使用する場合などに便利です。

共有フォルダを使うときの注意事項

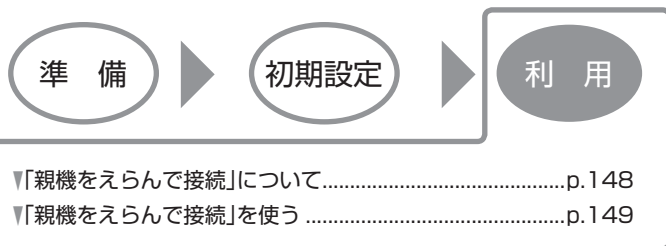
・ 共有フォルダにフォルダやファイルなどを作成した場合、すぐに表示されないことがあります。その場合は、しばらくたってから、をクリックしてください。
・ 複数の親機が同一ネットワーク内に設置されていると、宅外のネットワーク環境によっては、子機から接続できない場合があります。
・ 初期設定後に子機のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
・ 初期設定後に親機の次のいずれかを変更した場合、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧になり、親機の追加/変更をおこなってください。
  - コンピューター名
  - ユーザー アカウント名
  - ユーザー アカウントのパスワード

最新の情報は、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/navigate/support/lui/manual/index.html

PART

7

「親機をえらんで接続」を使う

このPARTでは、親機や接続方式を手動で選択して接続する方法について説明しています。

「親機をえらんで接続」について

ホームメニューの「親機をえらんで接続」をクリックすると、親機を選択することができます。
「親機をえらんで接続」は、ネットワークの状況などによって使用する親機を変更したりする場合に便利です。

「親機をえらんで接続」を使う

「親機をえらんで接続」は次の手順でおこなってください。
1台の親機に同時に2台以上の子機を接続できません。また、親機がほかのパソコンとセーフコネクト機能を使って接続中は、その親機に宅外から接続することはできません。

- 以下の手順をおこなう前に、インターネットに接続できる状態になっているか確認してください。
- 複数のネットワークアダプタが接続状態（IPアドレスが割り当てられている）である場合、使用しないネットワークアダプタをネットワークから切断してください。

  例）有線LANで使用する場合
  - 外付けされているネットワークアダプタをパソコンから取り外す
  - 無線LANの電源をオフにする

1 ホームメニューで「親機をえらんで接続」をクリックする

2 親機が複数登録されている場合、親機選択のダイアログが表示されるので、接続する親機を選択する

以降の手順については、「PART5 リモートスクリーンを使う」(p.93)をご覧ください。

PART

8

設定する

このPARTでは、Luiリモートスクリーンの設定を変更する方法について説明しています。

設定を変更する

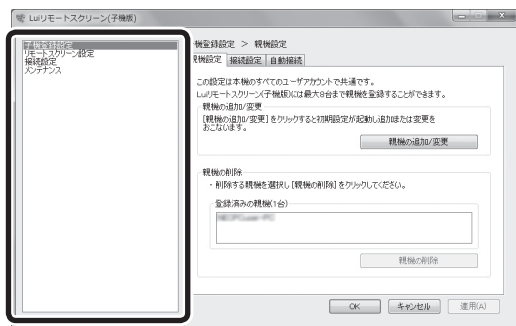
Luiリモートスクリーンの「初期設定」で設定した内容を含め、子機や親機の設定などを変更することができます。

子機の設定を変更する

子機の設定を変更するには、子機で「Luiリモートスクリーン設定(子機版)」を起動しておこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

2 「設定」をクリックする

「設定」メニューが表示されます。

3 設定が終了したら「OK」をクリックする

設定できる項目

■ 子機登録設定

親機設定※1	親機の追加/変更	初期設定のウィザードを起動します。すでに別の親機が子機に設定されている場合、2台目以降の親機を登録するときに使用します。同時に複数の親機に接続することはできません。 メモ 子機に登録可能な親機は最大8台です。
	親機の削除	親機を選択して削除します。

接続設定※1	親機のコンピュータ名				親機のコンピュータ名が表示されています。複数台登録しているときは、親機を選択できます。
		接続用パスワード変更※2			セーフコネクトの接続用パスワードを変更します。 **メモ** パスワードの変更は、親機と子機とが同一ルータでネットワークにつながっている場合のみ可能です。
	宅内のみで使用※2				「宅内のみで使用」を☑にすると、外出先から接続ができなくなります。宅内のみで使用する場合は、メールの設定は不要です。 外出先から接続する場合は☐にして、メールの設定をおこないます。 **チェック** この設定を変更した場合、すでに登録した子機が親機と接続できなくなります。子機と登録済みの親機の初期設定を再度おこなってください。
		メール設定			メールの設定をします。
			メールアドレス		セーフコネクト接続に使用するメールアドレスを設定します。
			SMTPサーバ		SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
				ポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
			POPサーバ		POPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
				ポート番号	POPサーバのポート番号を設定します。
			POPアカウント		POPサーバにアクセスするアカウント名を設定します。
			POPパスワード		POPサーバにアクセスするアカウント名のパスワードを設定します。
			メール詳細設定		メール送信時に認証機能を使用したり、APOPでメール受信をする場合は「メール詳細設定」をクリックして設定してください。 宅外から接続するときに使用するISPと、SMTPサーバを提供しているISPが異なる場合は、一般的にSMTP認証(SMTPAuth)を使用しないとメール送信ができません。
自動接続	ログオン時のLuiリモートスクリーン(子機版)起動				ログオン時にLuiリモートスクリーン(子機版)を起動するかどうかを設定します。初期状態では、「自動起動しない」が選択されています。
		ログオン時のセーフコネクト接続			ログオン時にセーフコネクト接続をおこなうかどうかを設定します。
		ログオン時のリモートスクリーン接続			ログオン時にリモートスクリーン接続をおこなうかどうかを設定します。
	自動接続時の接続先				自動接続する親機を指定します。

※1: セーフコネクト接続中には設定できません。ホームメニューで親機切断をしてから設定してください。
※2: 初期設定を「かんたんステップ初期設定(宅内用)」でおこなった場合、この項目は設定/変更できません。

■ リモートスクリーン設定

リモートスクリーン設定	ツールバーの表示時間		ツールバーを自動的に隠すまでの表示時間を設定できます。設定できる表示時間は、0.5秒/1秒/2秒/3秒/5秒です。
	画質/動き設定		リモートスクリーン接続時の子機の画質を設定します。
	部分表示時の移動量		部分表示で、ウィンドウの端にマウスポインタを置いたときの画面の移動量を設定できます。
	Movieモード時のバッファサイズ		Movieモード時のバッファのサイズを設定します。
	マイク	マイク入力設定	☑にすると、入力デバイスが選択できます。マイク入力を使用する場合は、☑にして、ボリュームを設定します。
ターゲットポインタ設定	ターゲットポインタを使用する		ターゲットポインタを使用する場合、☑にして、次の項目を設定します。
		形状	ターゲットポインタの形状を3つの中から選択します。
		大きさ	ターゲットポインタの大きさを3つの中から選択します。
		色	ターゲットポインタの色を5色の中から選択します。
ショートカットキー設定	ショートカットキーの設定		ショートカットキーの設定がおこなえます。各ショートカットについて詳しくは、付録の「キー操作一覧」(p.184)をご覧ください。

■ 接続設定

ネットワークアダプタ設定	ネットワークアダプタ		通信可能なネットワークアダプタの一覧が表示されます。
	詳細設定	ネットワークアダプタ名	選択したネットワークアダプタ名が表示されます。
		回線速度	ネットワークアダプタごとにリモートスクリーン接続時の回線速度を設定できます。
	削除		不要なネットワークアダプタを選択してボタンをクリックすると、一覧から削除できます。なお、削除したネットワークアダプタは、通信可能な状態になると一覧に追加されます。
接続設定	プロキシサーバ		プロキシサーバを使用するか選択します。次の項目を設定する場合は、「使用する」を選択してください。初期状態では「自動検出する(推奨)」が選択されています。
	アドレス		プロキシサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。
	ポート番号		プロキシサーバのポート番号を設定します。
	通知音		リモートスクリーン接続時に通知音を鳴らす場合、チェックを入れます。
	親機との接続時に通知音を鳴らす		

■ メンテナンス

子機初期設定※1	マニュアル初期設定(宅内･宅外用)	登録されているすべての親機の設定を初期化し、新規に親機を登録します。 子機初期設定を起動すると、登録されている親機はすべて削除されます。
親機再起動	再起動する親機	再起動する親機を選択できます。
	リモート再起動	親機を再起動します。親機を使用中のユーザーが再起動を拒否した場合は、再起動されません。
バージョン情報	Luiリモートスクリーン(子機版) バージョン	Luiリモートスクリーン(子機版)のバージョン情報が表示されます。
	著作権	Luiリモートスクリーン(子機版)の著作権情報が表示されます。

※1: セーフコネクト接続中には設定できません。ホームメニューで親機切断してから設定してください。

親機の設定を変更する

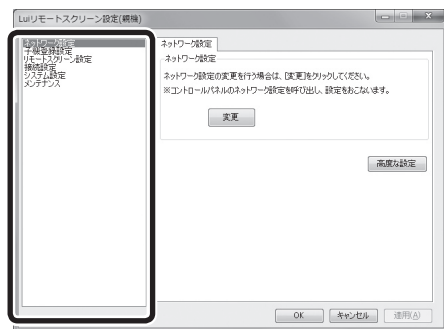
親機の設定を変更するには、親機で「Luiリモートスクリーン設定(親機)」を起動しておこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン設定(親機)」をクリックする

[ユーザー アカウント制御]画面に「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？　プログラム名:Luiリモートスクリーン設定」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- 親機の解像度設定が「横:1024ドット」または「縦:768ドット」より小さい場合、親機設定は起動できません。設定をおこなうときは、解像度を「横:1024ドット、縦:768ドット」より大きく設定してください。
- 子機を1台も登録していない場合、「Luiリモートスクリーン設定(親機)」には「システム設定」と「メンテナンス」の2項目しか表示されません。

- 必ず管理者権限のあるユーザーでログオンしてから「Luiリモートスクリーン設定(親機)」を起動してください。
- 「Luiリモートスクリーン設定(親機)」は、子機が接続されている状態では起動できません。

「設定」メニューが表示されます。

2 設定が終了したら「OK」をクリックする

PART 8 設定する

設定できる項目

■ ネットワーク設定

ネットワーク設定	変更	「コントロールパネル」のネットワーク接続を呼び出します。
	高度な設定	ネットワークの高度な設定をします。
	ポート設定	セーフコネクト通信とリモートスクリーンのポートを自動（推奨）または手動で設定します。「手動設定」を選択した場合、ルータのポートフォワード（ポートマッピング）設定の変更が必要です。
	セーフコネクト接続処理の高速化	☑にすると、セーフコネクトで使用するポート番号宛の通信を常に親機へ転送することで、セーフコネクト接続を高速化します。初期状態では、☑となっており有効になっています。

■ 子機登録設定

使用環境	宅内で使用	◉にすると、外出先から接続ができなくなります。宅内で使用する場合は、メールの設定は不要です。
	外出先で使用	外出先から接続する場合は◉にして、メールの設定をおこないます。
	メールアドレス	セーフコネクト接続に使用するメールアドレスを設定します。(最大320文字)
	SMTPサーバ	SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(最大255文字)
	ポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
	POPサーバ	POPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(最大255文字)
	ポート番号	POPサーバのポート番号を設定します。
	POPアカウント	POPサーバにアクセスするアカウント名を設定します。(最大40文字)
	POPパスワード	POPサーバにアクセスするアカウント名のパスワードを設定します。(最大40文字)
	メール送信時に認証機能を使用する	メール送信時に認証機能を使用する場合は☑にします。 宅外から接続するときに使用するISPと、SMTPサーバを提供しているISPが異なる場合は、一般的にSMTP認証(SMTP Auth)を使用しないとメール送信ができません。
	SMTP認証を使用する	SMTP認証(SMTP Auth)をおこなう場合は◉にします。
	SMTP認証アカウント	SMTP認証(SMTP Auth)のアカウント名を設定します。(最大320文字)
	SMTP認証パスワード	SMTP認証(SMTP Auth)で使用するパスワードを設定します。(最大40文字)
	POP before SMTPを使用する	POP before SMTP認証をおこなう場合は◉にします。
	APOPを使用する	APOP認証をおこなう場合は ☑ にします。
	メール送受信テスト	メールの送受信テストをおこないます。
	Outlookのメール設定の取り込み	Outlookのメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
	Windows Live メールのメール設定の取り込み	Windows Live メールのメールの設定を取り込むときクリックします。 「POPパスワード」および「SMTP認証パスワード」は取り込むことができません。
子機登録設定		子機との接続状態を表示します。 最終接続日時には、最後に宅外から接続した日時が表示されます。 セーフコネクトの接続用パスワードを設定※1したり、登録済みの子機の登録を解除したりできます。親機でパスワードを変更したときは、「セーフコネクト接続」でパスワードを入力するときに「接続用パスワード変更後、初めて接続する」を☑にしてください。

※1: 初期設定を「かんたんステップ初期設定(宅内用)」でおこなった場合、この項目は設定/変更できません。

■ リモートスクリーン設定

接続許可確認	子機からリモートスクリーン接続したときに、接続要求の画面を表示するか設定します。「接続要求許可ダイアログを表示する」を☐にすると、接続要求許可ダイアログが表示されません。
サウンド	「子機のマイクからの音声を使用する」を☑にし、「適用」をクリックした後、「サウンド設定」をクリックすると、「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」の「録音」画面が呼び出されます。子機からの音声を使用する場合、「マイク　NEC リモートスクリーンオーディオ」を既定のデバイス（緑色のチェックアイコンが表示）にしてください。
サービス	親機を起動したときに「リモートスクリーン」のサービスを自動起動する場合、「起動時にサービスを自動起動にする」を☑にします。サービスを起動/停止する場合は「起動」または「停止」をクリックします。
GPUパワーモード設定	今回購入したパソコンにNVIDIA社のグラフィックアクセラレータが搭載されている場合に表示されます。フルHDで画面を遠隔操作することができます。 オンにする場合、「GPUパワーモードを使用する」を☑にしてください。

■ 接続設定

自動ログオン	親機のユーザ名	自動ログオンするユーザを設定します（管理者権限のあるユーザを設定してください）。
	パスワード	自動ログオンユーザのパスワードを設定します。 **メモ** パスワードの設定が正しくないと設定を終了できません。
	自動ログオンテスト	「テスト」をクリックして、自動ログオンの設定を確認します。
	自動ログオンテスト結果	自動ログオンテストの結果を表示します。

■ システム設定

パワーマネジメント	「パワーマネジメント設定」をクリックすると、「コントロールパネル」の「電源オプション」が呼び出されます。

■ メンテナンス

<table>
<tr><td colspan="2">親機初期設定</td><td>「開始」をクリックするとマニュアル初期設定(宅内･宅外用)を起動します。すでに別の子機が親機に設定されている場合、2台目以降の子機を登録するときに使用します。複数台同時に親機に接続することはできません。

メモ
親機に登録が可能な子機は8台です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バージョン情報</td><td>バージョン情報</td><td>Luiリモートスクリーン(親機版)のバージョン情報が表示されます。</td></tr>
<tr><td>Copyright</td><td>Luiリモートスクリーン(親機版)の著作権情報が表示されます。</td></tr>
</table>

親機の追加/変更をおこなう

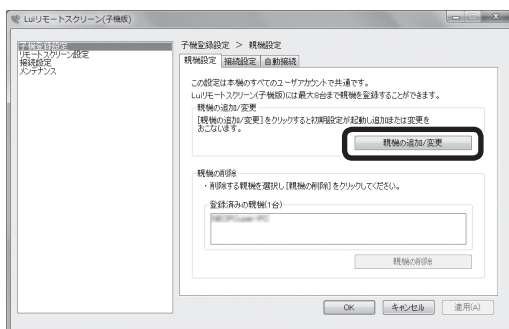
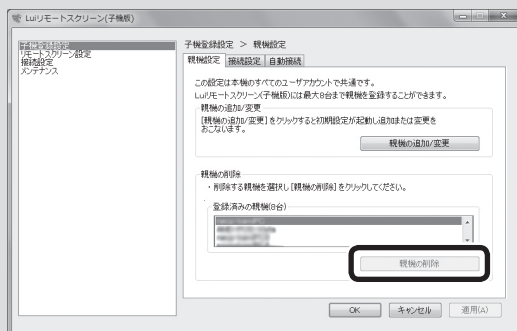
子機は最大8台までの親機を登録できます。
複数の親機を登録したり、登録した親機を変更したりする場合、次の手順でおこなってください。
また、初期設定を「かんたんステップ初期設定(宅内用)」(p.31)でおこなった場合、および「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」の「宅内のみで使用」(p.66)にした場合で、外出先からも接続できるように変更したいときも、次の手順で設定の変更をおこないます。

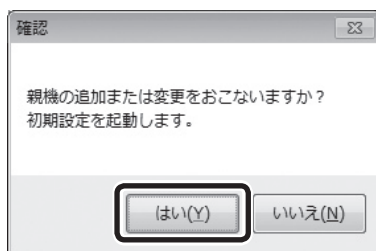
- セーフコネクト接続中は親機を追加/変更できません。その場合、いったん親機を切断してください。
- 「PART1 ご使用前の準備」(p.1)をご覧になり、親機を準備しておいてください。
- 追加/変更する親機と子機とを同じルータにつないでください。

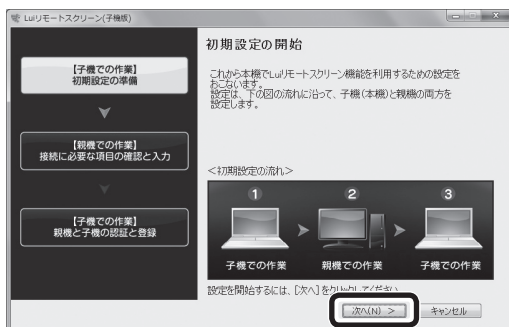
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

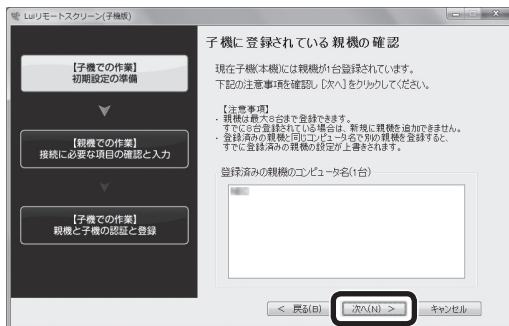
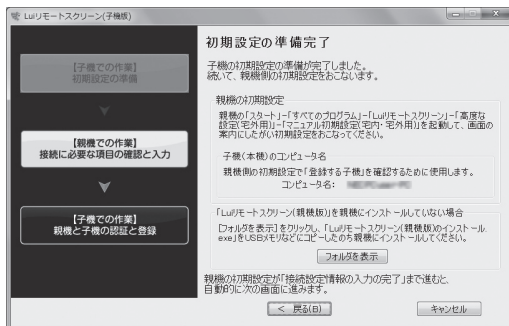
2 「設定」をクリックする

3 「子機登録設定」をクリックし、「親機設定」タブをクリックする

4 「親機の追加/変更」をクリックする

親機が8台登録されていると、親機を追加できません。その場合は、追加をおこなう前に、登録済みの親機を選択し「親機の削除」をクリックして、親機を削除してください。

5 「親機の追加または変更をおこないますか？　初期設定を起動します。」と表示されたら、「はい」をクリックする

初期設定について→「PART3　マニュアル初期設定（宅内・宅外用）」（p.53）

6 「初期設定」をクリックする

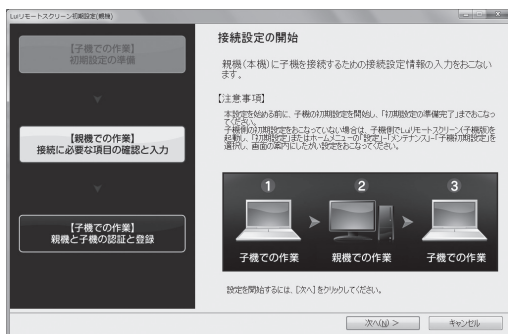
7 「次へ」をクリックする

8 「次へ」をクリックする

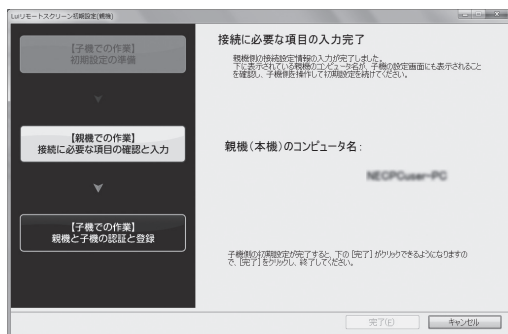
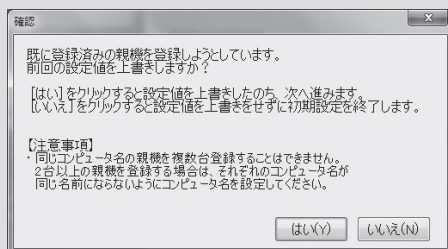
登録済みの親機と同じコンピューター名の親機を登録した場合は、前回の設定値を上書きします。

子機の初期設定の準備が完了すると、次の画面が表示されます。

次の手順9へ進んでください。

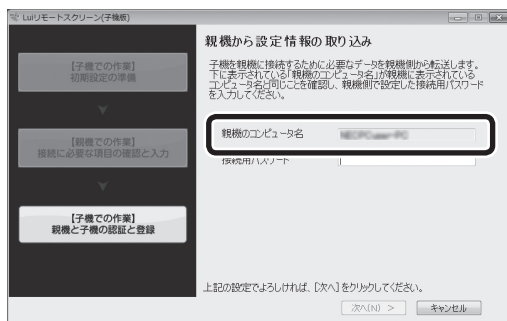
まだ親機にソフトをインストールしていない場合は、USBメモリーを用意し、「フォルダを表示」をクリックして、コピーとインストールを開始してください。インストール後、手順9へ進んでください。

「Luiリモートスクリーン(親機版)」の親機へのインストール手順の詳細→PART3の「初期設定(親機)」(p.63)

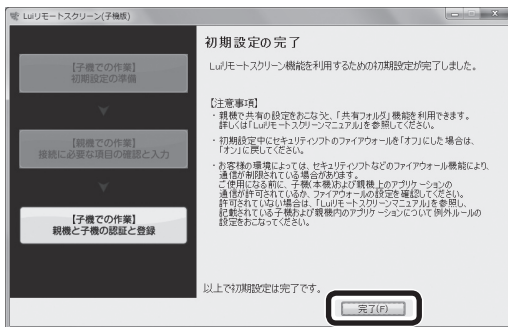
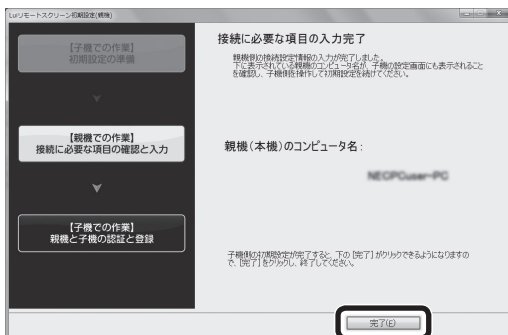
9 親機で接続設定をする

PART3の「初期設定(親機)」(p.63)をご覧になり、親機の接続設定をおこないます。

▲親機の接続設定は、親機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「マニュアル初期設定(宅内･宅外用)」をクリックして起動

接続設定をおこない、次の[接続に必要な項目の入力完了]画面が表示されたら、再び子機の操作に戻ります。

[接続用パスワード作成]画面で「次へ」をクリックした後、「同期通信中」と表示された状態がしばらく続く場合は、子機の画面を確認してください。次の[確認]画面が表示されている場合、内容をご覧になり操作してください。

▲子機の画面

10 子機に、親機のコンピュータ名が表示されていることを確認する

11 子機で、親機からの設定情報の取り込みをおこなう

PART3の「親機から設定情報の取り込み(子機)」(p.77)をご覧になり、親機からの設定情報の取り込みをおこないます。

12 親機からの設定情報の取り込みが終わり、子機に[初期設定の完了]画面が表示されたら「完了」をクリックする

13 親機の[接続に必要な項目の入力完了]画面で「完了」をクリックする

これで、親機の追加/変更は完了です。

「初期設定」をやりなおす

チェック

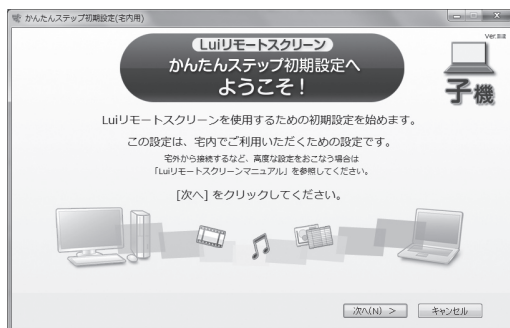
以下の操作をおこなうと、登録済みの親機設定情報などがすべて初期化されます。親機を追加したり、すでに登録した内容を変更したい場合は、このPARTの「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧ください。

子機を使い始める際におこなった「初期設定」をやりなおして、接続設定を変更する場合は、次のいずれかの方法でおこないます。

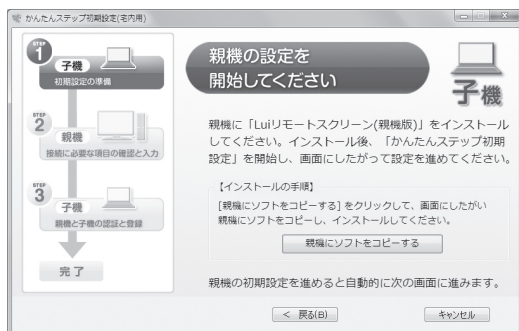
●かんたんステップ初期設定(宅内用)でやりなおす
この方法で、初期設定をやりなおした場合、宅外からの接続ができません。

●マニュアル初期設定(宅内・宅外用)でやりなおす
この方法で、初期設定をやりなおした場合、宅外から接続するための設定をおこなえます。

かんたんステップ初期設定(宅内用)でやりなおす

1 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「かんたんステップ初期設定(宅内用)」をクリックする

2 「次へ」をクリックする

3 次の画面が表示されたら、親機にソフトがインストールされていない場合は、「親機にソフトをコピーする」をクリックする

すでに親機にソフトがインストールされている場合は、「親機にソフトをコピーする」をクリックする必要はありません。

以降の手順について、PART2の「かんたんステップ初期設定(宅内用)(子機)」(p.35)をご覧になり、子機と親機の初期設定を完了してください。

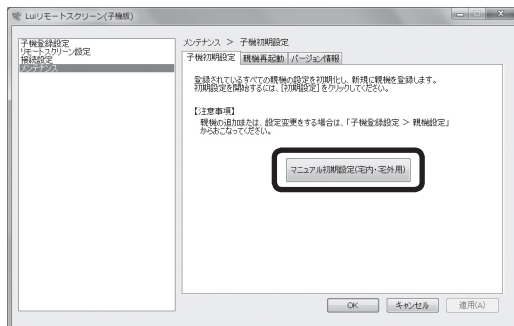
マニュアル初期設定(宅内・宅外用)でやりなおす

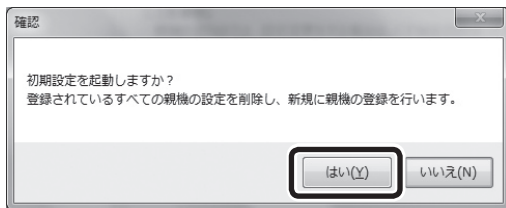
1 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

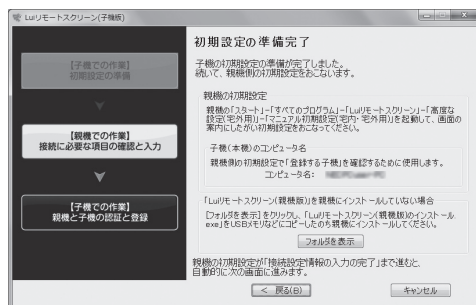
ホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで「設定」をクリックする

3 左欄の「メンテナンス」をクリックする

4 「子機初期設定」タブで、「マニュアル初期設定(宅内・宅外用)」をクリックする

5 [確認]画面が表示されたら内容を確認し、初期設定を起動する場合、「はい」をクリックする

初期設定をおこなうと、登録されているすべての親機の設定が削除されます。

初期設定が始まります。手順については、PART3の「初期設定(子機)」(p.58)をご覧ください。

すでに親機にソフトがインストールされている場合は、途中で表示される次の画面で「フォルダを表示」をクリックする必要はありません。
まだインストールされていない場合は、「フォルダを表示」をクリックして、ソフトのコピーとインストールを開始してください。手順について詳しくは、PART3の「初期設定(子機)」の手順3(p.60)をご覧ください。

PART

9

トラブル解決

このPARTでは、Luiリモートスクリーンを使っていて
困ったときの対処法を説明しています。

トラブル発生時の対応

ここに掲載されていないQ&Aについては、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/search/qa/

初期設定ができない

ネットワーク環境を確認してください

初期設定時または宅内利用時に、親機と接続できるネットワーク環境（有線LANまたは無線LAN）が必要です。

無線（ワイヤレス）LAN機能がオンになっていますか？

無線LANで接続する場合、パソコンのマニュアルをご覧になり、無線LAN機能をオンにしてください。ワイヤレスランプ（）またはワイヤレスLANランプ（）が搭載されているモデルをお使いの場合で、ワイヤレスランプ（）またはワイヤレスLANランプ（）が点灯または点滅していないときはパソコンのマニュアルをご覧になり、無線LAN機能をオンにしてください。

設定内容を確認してください

初期設定を「マニュアル初期設定（宅内・宅外用）」でおこなった場合、初期設定の手順中に入力する電子メールの設定などが正しいか確認してください。

親機を再起動してください

親機をシャットダウンし、電源コードを抜いて30秒間待ってから電源コードを差して起動してください。

子機を再起動してください

ウイルス対策ソフトなどのアップデート中に初期設定をおこなうと失敗することがあります。その場合はアップデート完了後、「スタート」- シャットダウン の をクリックして表示されるメニューから「再起動」をクリックして子機を再起動してください。

親機との通信が切断されてしまう

親機の解像度を確認してください

GPUパワーモードがオフの場合は、サポートされている親機の解像度は1280×768ドット、1024×768ドットです。「リモートスクリーン」接続中に、これ以外の解像度に変更したり、解像度を切り換えるソフトなどを使用すると、通信が切断される場合があります。切断されたときは再度接続をおこなってください。

電波が弱くなっていませんか？

無線LANで接続している場合、電波が弱い場所では通信が切断されてしまうことがあります。電波の届く場所に移動してください。

ケーブルが抜けていませんか？

有線LANで接続している場合、LANケーブルが抜けていないか確認してください。

リフレッシュレートや色数、解像度など画面モードが切り換わるソフト(ゲームなど)を使用していませんか？

画面モードが切り換わるゲームなどのソフトを起動すると通信が切断されることがあります。切断されたときは再度接続をおこなってください。
起動したソフトの影響で接続がうまくいかない場合は、「リモート再起動」機能を使って親機を再起動することでソフトを強制的に終了させることができます。「リモート再起動」については、PART8の「設定を変更する」-「子機の設定を変更する」-「設定できる項目」-「■メンテナンス」(p.156)をご覧ください。

バージョンを確認してください

親機と子機の組み合わせによっては、初期設定ができなかったり、つながらなかったりすることがあります。121wareなどからアップデートモジュールをダウンロードし適用した場合、親機と子機のアップデートをセットでおこなう記載があるときは、必ずその指示にしたがってください。

親機との接続用パスワードを忘れてしまった

再度初期設定をしてください

接続用パスワードを忘れてしまった場合は、PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、子機の初期設定をやりなおしてください。

リモートスクリーン使用中に画面がかくつく、画質が悪い

お使いの環境に左右される場合があります

お使いのネットワーク環境や電波の状態により、または、親機や子機のCPU負荷が高い場合、画面が動かなくなったり、カクツキ、操作反応の遅延、音の途切れが発生することがあります。

PCモードとMovieモードを切り換えてください

PCモードは画像の鮮明さと子機を操作するときのレスポンスを重視するモードです。Movieモードは動画のなめらかさを重視したり、音が途切れないようにするモードです。利用場面によってモードを切り換えてください。詳しくは、PART5の「画質の調節」(p.107)をご覧ください。

画質を調節してください

画質を優先させるか、画像の動きを優先させるかを調節することができます。調節のしかたは、PART5の「画質の調節」(p.107)をご覧ください。動きを優先させると、画面がかくつくことがあります。

親機の壁紙を変更してください

親機の壁紙に写真などを使っていると、画面表示のために転送される情報が多くなります。そのため、子機のレスポンスが低下したり、子機に表示される画面がモザイク状に表示されたりすることがあります。

その場合、親機の壁紙をシンプルなものに変更すると、画面表示のために転送される情報が減るので、操作のレスポンスなどが向上します。

ご使用状況に応じて、単色(純色)の壁紙などを選んでください。推奨色は「グレー」です。次の操作で変更できます。

1. **親機のデスクトップ画面で右クリックし、表示されるメニューから「個人設定」をクリックする**

2. **表示される画面で「デスクトップの背景」をクリックし、「画像の場所」に「単色」を選ぶ**

3 表示されているパレットから「グレー」の画像をクリックし、「変更の保存」をクリックする

4 をクリックする
設定が変更され、画面が閉じます。

セーフコネクト接続画面(STEP1)でエラーになる

次のチェックポイントを確認してください

- **初期設定で「宅内のみで使用」になっている**
  初期設定をおこなった際、「宅内のみで使用」をにすると、外出先からは接続できません。外出先から接続する場合は、「外出先で使用」をにして、電子メールの設定をおこなう必要があります。初期設定の変更については、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧ください。

宅外から接続する場合

- **メール設定が正しくない**
  メールの設定が正しくないと、接続できません。メールの設定を再確認してください(メールアドレス、SMTPサーバ、POP3サーバ、SMTP認証など)。

- **グローバルIPアドレスが取得できない**
  親機側で、グローバルIPアドレスを取得できないと、接続できません。

- **ルータがUPnPに対応していない**
  ルータがUPnPに対応していないか、またはUPnP機能がオフになっている場合は接続できません。
  ルータのUPnP機能がオンであるにもかかわらずUPnP関係のエラーが出る場合は、ルータを再起動することで改善することがあります。

- **ルータが2段構成になっている**
  ホームネットワーク内に複数のルータが設置されている場合、接続できないことがあります。

宅外、宅内から接続する場合

- **親機で複数のLANアダプタが動作している**
  2つ以上のLANアダプタが同時にネットワークに接続されていると、子機が接続できない場合があります(例:パソコン本体の有線LAN、無線LANの2つの接続がある場合)。無線LANをオフにするなど、LANアダプタが1つになるようにしてください。

・ **セキュリティソフトがブロックしている**

親機、子機のセキュリティソフトがリモートスクリーンの通信をブロックしていると、リモートスクリーンを使用できません。リモートスクリーンの通信を許可するよう親機、子機のセキュリティソフトを設定してください。設定方法は、セキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。

・ **時計がずれている**

親機と子機の時計が極端にずれていると、接続できません。

プロキシサーバの設定をしてください

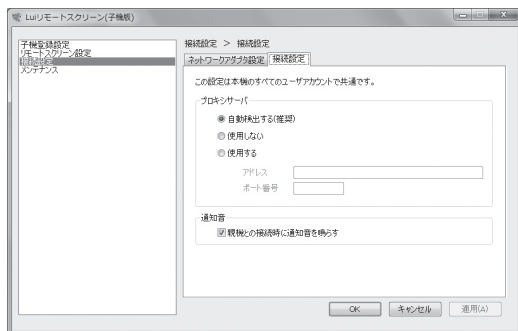
インターネットに接続する際、プロキシサーバが必要な場合は、次の手順でプロキシサーバの設定をしてください。

1 子機で「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「高度な設定(宅外用)」-「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

2 「設定」をクリックする

「設定」メニューが表示されます。

3 左欄の「接続設定」をクリックする

4 「接続設定」タブをクリックし、表示された画面でプロキシサーバの設定をおこなう

5 「OK」をクリックする

ファイルをダウンロードしている最中にリモートスクリーンで接続すると、ダウンロードが切断される

リモートスクリーンの接続･切断のタイミングで、ほかのすべてのネットワーク接続はいったん切断されます。

親機と接続できない

・ リモートスクリーン利用時には親機の画面モードのリフレッシュレート60Hz(59Hz)、色数32ビット以外になっていると、接続できないことがあります。コントロールパネルから画面モードの設定を確認してください。
・ ブルーレイディスクやDVDが親機のDVD/CDドライブにセットされているときは、親機に接続できません。DVD/CDドライブを確認してください。
・ 親機の起動直後に親機に接続すると、接続に失敗することがあります。その場合、しばらくたってから、再度接続してください。
・ 初期設定の「自動ログオンの設定」で設定していないユーザーで親機にログオンしている場合は接続できません。
親機が【Ctrl】+【Alt】+【Del】を押して表示される画面や、[ユーザー アカウント制御]画面、パスワード変更画面を表示しているときは接続できないことがあります。
・ 「リモート再起動」で親機を再起動することができます。
親機で作業中に「リモート再起動」をおこなった場合は、保存していない作業を失う可能性があります。
・ 親機がLANに接続されているか確認してください。
・ 親機に添付のキーボード以外もしくは、JIS配列準拠のキーボード(PS2、USB接続のキーボード)以外を接続した場合、リモートスクリーン機能が正常に動作しないことがあります。親機に添付されているキーボードもしくは、JIS配列準拠のキーボード(PS2、USB接続のキーボード)を使用してください。
・ ウイルス対策ソフトなどのアップデート中は、親機との接続に失敗することがあります。その場合はアップデート完了後、子機を再起動してから再接続してください。
・ 初期設定後に子機のコンピューター名を変更した場合、PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。
・初期設定後に親機のコンピューター名、ユーザー アカウント名、ユーザー アカウントのパスワードのいずれかを変更した場合、PART8の「親機の追加/変更をおこなう」(p.162)をご覧になり、親機の追加/変更をおこなってください。
・ ファイアウォールのソフトをアップデートした場合、再度ファイルアクセス許可の設定が必要となる場合があります。詳細については、PART3の「セキュリティソフトの設定について」(p.80)をご覧ください。

- 親機に[ユーザー アカウント制御]画面が表示されている場合およびタスクバーに隠れている場合、[ユーザー アカウント制御]画面を閉じてください。
- 親機がスリープや休止状態になっていたり、電源が切れている場合は、リモートスクリーン接続をすることができません。ご購入時に、スリープや休止状態に移行する設定になっている場合があります。親機のマニュアルをご覧になり、親機をスリープや休止状態に移行しない設定にしてください。
- 親機にSmartVisionが搭載されている場合、SmartVisionの設定で、録画などの予約実行後にスリープや休止状態に移行、または電源を切る設定になっていると、Luiリモートスクリーンを使用して子機から親機に接続できないことがあります。親機に添付されている『テレビを楽しむ本』をご覧になり、予約や番組表受信終了後、自動的に電源が切れない設定にしてください。
- 同じコンピューター名のパソコンがありませんか?　子機と親機のコンピューター名は異なるものにする必要があります。

それでも接続できない場合

ここに書かれた内容を見ても問題が解決しない場合は、次の手順をおこなってください。

子機、親機を再起動する

「スタート」-［シャットダウン▷］の［▷］をクリックして表示されるメニューから「再起動」をクリックしてください。

パソコンが再起動したら、再度Luiリモートスクリーンの操作をしてください。

Luiリモートスクリーンの初期設定をやりなおす

PART8の「「初期設定」をやりなおす」(p.169)をご覧になり、初期設定をやりなおしてください。

Luiリモートスクリーンをインストールしなおす

どうしても問題が解決しない場合は、付録の「Luiリモートスクリーン(親機版)のアンインストール」(p.188)または「Luiリモートスクリーン(子機版)のアンインストール」(p.190)をご覧になり、「スタート」-「コントロールパネル」から、いったんLuiリモートスクリーンをアンインストール後、インストールしなおしてください。

共有フォルダにファイルなどを作成しても表示されない

作成後しばらくたってからメニューの「表示」-「最新の情報に更新」をクリックし、表示の更新をおこなってください。
メニューが表示されていない場合は、「整理」-「レイアウト」-「メニューバー」をクリックすると表示できます。

リモートスクリーン接続中に録音できない

- 子機のホームメニューで「設定」-「リモートスクリーン設定」-「リモートスクリーン設定」をクリックして表示される画面の「マイク」の設定で、「マイク入力設定」を☑にしてください。
- 子機のマイクがミュートになっていませんか？
「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」をクリックし、「録音」タブをクリックして表示される画面で、使用するマイクを選択して右クリックしてください。「プロパティ」をクリックし、「レベル」タブをクリックして表示される画面で、(ミュート)が表示されている場合は、をクリックして(ミュート解除)にした後、適切な音量を設定してください。
- 子機のホームメニューで「設定」-「リモートスクリーン設定」-「リモートスクリーン設定」をクリックして表示される画面の「マイク」の設定で、使用する録音デバイス名を選択してください。
- 親機の録音デバイスの設定(親機で「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「サウンド」-「録音」をクリックして表示される画面)で、「NECリモートスクリーンオーディオ」が既定のデバイスになっていること(既定のデバイスであることを示す緑色のチェックアイコンが表示されていること)を確認してください。
- 子機のコンピューター名に全角文字が含まれていないことを確認してください。全角文字が含まれていると、リモートスクリーン接続中に録音できないことがあります。

「ひかりTV」チューナー機能対応パソコンに本ソフトをインストールすると、「ひかりTV」が受信できなくなる

「ひかりTV」利用時に使用するネットワークアダプタに「SafeConnect VPN Adapter」が選択されている可能性があります。
パソコンに添付されている『ひかりTVを楽しむ本』を参照し、「ネットワークアダプタ切換ツール」を使って「ひかりTV」で使用するネットワークアダプタを選択しなおしてください。

付　録

キー操作一覧

リモートスクリーン中に使用できるキー操作です。

キー操作(初期値)	機能	説明
【Shift】+【Ctrl】+【F7】	ツールバーのOn/Off	ツールバーのオン/オフを切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【↑】※1	上スクロール	上方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【↓】※1	下スクロール	下方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【→】※1	右スクロール	右方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【←】※1	左スクロール	左方向にスクロールします。
【Shift】+【Ctrl】+【F8】※2	表示切換	全画面モードで使用中、画面を全体表示/dot by dot表示(1:1)に切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【F9】	Window fit	ウィンドウフィットに切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【F10】	転送モード※3	Movieモード/PCモードを切り換えます。
【Shift】+【Ctrl】+【F11】	画質優先※3	キーを押すごとにビットレートが向上し、親機接続中の画質を優先します。
【Shift】+【Ctrl】+【F12】	動き優先※3	キーを押すごとにビットレートが低下し、親機接続中の画面の動きを優先します。

※1:dot by dot表示(1:1)時のみ使用できます。
※2:【Shift】+【Ctrl】+【F8】キーで切り換える場合の動作は次のようになります。切り換え前の状態によって、切り換え後の動作が異なります。
- フル→1:1(dot by dot表示)→フル
- ノーマル→1:1(dot by dot表示)→ノーマル
- 1:1(dot by dot表示)→「フル」または「ノーマル」(1:1にする前の状態)→1:1(dot by dot表示)

※3:ツールバーを自動的に隠す設定になっている場合にキーを押すと、一時的にツールバーが表示され、キー操作がなされたことを確認できます。

メモ

ショートカットキー(キーボードの複数のキーの組み合わせ)の初期値を変更するには、ホームメニューから「設定」-「リモートスクリーン設定」-「ショートカットキー設定」で表示されるショートカットキーの設定画面でおこないます。

参照

リモートスクリーンの各種機能について→PART5の「リモートスクリーンの各種機能について」(p.103)

Luiリモートスクリーン使いこなし術

接続する回線を選んだり、接続したネットワークの速度や使用目的に合わせた設定をしたりすることで、Luiリモートスクリーンをより快適な状態で使用していただくことができます。
ここでは、ご使用状況に合わせてLuiリモートスクリーンを快適に使いこなしていただくための設定変更についてご紹介します。
詳しい設定内容や具体的な操作については、それぞれの参照先をご覧ください。

回線の設定

■ 接続する回線を切り換える

Luiリモートスクリーンを使用する場所によっては、通信用の電波が届きにくい場合があります。
無線LANやデータ通信カードで利用する電波の強さを確認し、よりよい通信環境が確保できる回線を選んでください。
ホテルなど、有線LANに接続できるときは、そちらをご利用いただくのもよい方法です。
利用しない回線は、取り外すかスイッチを切ってください。

■回線速度を調節する

接続する回線によって、回線の速度(ネットワークの帯域)が異なります。
親機に接続した後、画面右上のLuiリモートスクリーンメニュー、または、ない場合は画面右下の通知領域のをクリックして表示される画面にあるを左クリックして表示される画面から適切な回線速度を選ぶことで、より快適な操作をおこなうことができます。
最初に接続したときは、回線速度が既定値(出荷時の設定)となっています。
操作に対する反応が悪かったり、映像にカクツキや遅延があるときは、回線速度のレベルを「1」に変更して操作状況を確認してください。
その後、レベルを1つずつ上げて、適切な設定に変更してください。

参照

回線速度のレベルを設定・変更する→PART5の「回線速度」(p.113)

付録

解像度の設定

■ 解像度を設定する

親機の解像度を下げると、画面表示のために転送される情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。
画面の解像度は、親機のデスクトップ画面で右クリックし、表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックして変更することができます。ご使用状況に応じて、「1024×768」を選んでください。

使用する目的に合わせた設定

■ アプリケーションに合わせてモードを切り換える

操作しているアプリケーションに合わせて、モードを切り換えることができます。

- PCモード
  操作のレスポンスを優先するモードです。アプリケーションの操作がスムーズにおこなえます。文書の編集などに適しています。ただし、Movieモードに比べて映像や音声のずれが起こりやすくなります。
- Movieモード
  映像の再生を優先するモードです。ネットワークの速度の変化によって起こるカクツキや音の途切れを抑えて、動画をなめらかに再生します。ただし、PCモードに比べてマウスやキーボードを操作したときの反応速度は低下します。

参照

PCモード/Movieモードの切り換えについて→PART5の「PCモードとMovieモード」(p.107)

■ 画質と動き(操作のレスポンス)、いずれかの優先度を調節する

どちらを優先させるか、3段階で調節することができます。使用する目的に合わせて設定してください。

- 画質優先
  表示される文字のにじみをできるだけなくしたいときに選びます。画質の優先度を高くするごとに、マウスやキーボードなどの操作のレスポンスが低下します。
- 動き優先
  マウスやキーボードなどの操作のレスポンスを優先したいときに選びます。動きの優先度を高くするごとに、画質は低下します。

参照

画質と動きの優先度の設定について→PART5の「画質優先と動き優先」(p.108)

■親機の画面デザインを変更する

親機の画面デザインをシンプルなものに変更すると、転送する画面情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。
画面デザインの設定は、デスクトップ画面で右クリックし、「個人設定」をクリックして表示される画面で変更することができます。
ご使用状況に応じて、「Windowsクラシック」などシンプルな画面デザインを選んでください。

■親機の壁紙を変更する

親機の壁紙をシンプルなものに変更すると、画面表示のために転送される情報が減るため、操作のレスポンスが向上します。
壁紙は、デスクトップ画面で右クリックし、「個人設定」をクリックして表示される画面の「デスクトップの背景」で変更することができます。
ご使用状況に応じて、単色(純色)の壁紙などを選んでください。推奨色は「グレー」です。

Luiリモートスクリーン(親機版)のアンインストール

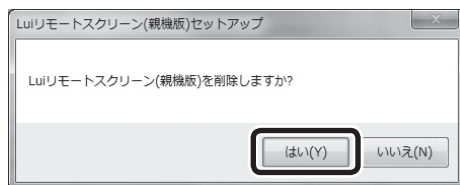
Luiリモートスクリーン(親機版)をアンインストールする場合は、次の手順でおこなってください。

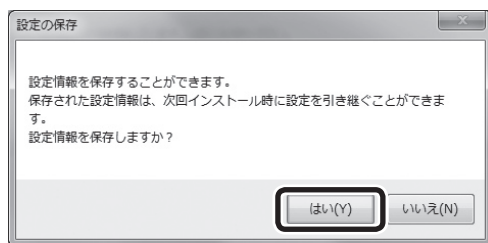
1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」をクリックする

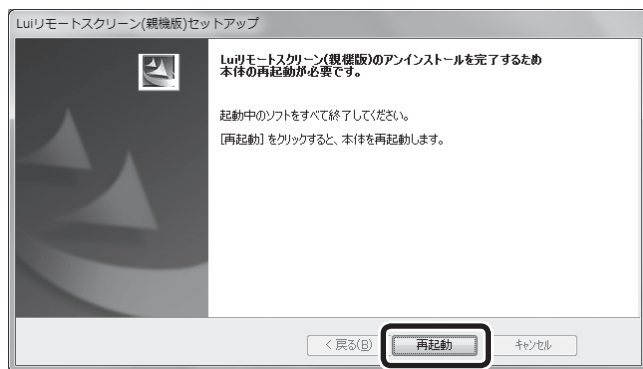
[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。

2 一覧から「Luiリモートスクリーン(親機版)」をクリックする

3 「アンインストール」をクリックする

4 「Luiリモートスクリーン(親機版)を削除しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする

5 [設定の保存]画面が表示されたら、「はい」をクリックする

設定を保存すると、すでに登録済みの設定情報を引き継ぐことができます。

「Luiリモートスクリーン(親機版)を削除しています。しばらくお待ちください。」と表示されるので、そのままお待ちください。

6 Luiリモートスクリーン(親機版)を削除後、「Luiリモートスクリーン(親機版)のアンインストールを完了するため本体の再起動が必要です。」と表示されたら、「再起動」をクリックする

パソコンが再起動します。
これで、Luiリモートスクリーン(親機版)がアンインストールされました。

付録

Luiリモートスクリーン(子機版)のアンインストール

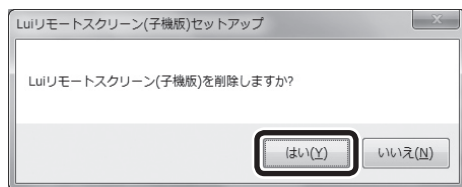
Luiリモートスクリーン(子機版)をアンインストールする場合は、次の手順でおこなってください。

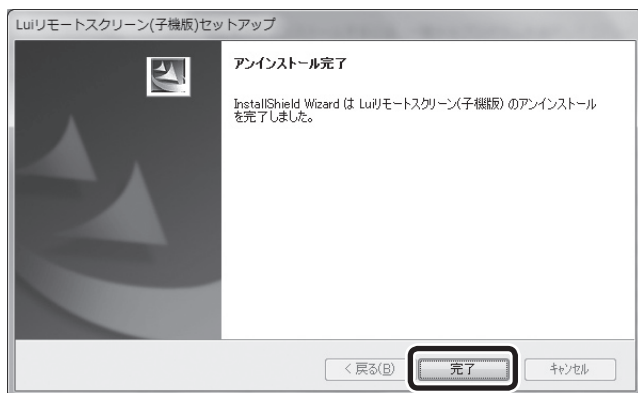
1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」をクリックする

［プログラムのアンインストールまたは変更］画面が表示されます。

2 一覧から「Luiリモートスクリーン(子機版)」をクリックする

3 「アンインストール」をクリックする

4 「Luiリモートスクリーン(子機版)を削除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする

「Luiリモートスクリーン(子機版)を削除しています。しばらくお待ちください。」と表示されるので、そのままお待ちください。

5 ［アンインストール完了］画面が表示されたら、「完了」をクリックする

これで、Luiリモートスクリーン(子機版)がアンインストールされました。

PCリモーターサーバソフトのアンインストール

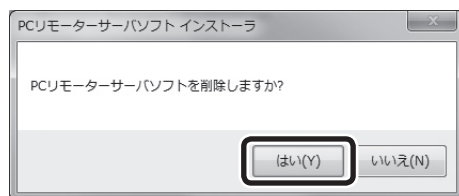
次の操作は、親機とするパソコンに、PCリモーターサーバソフトがインストールされている場合におこなってください。
Luiリモートスクリーン(親機版)をインストールする前に、PCリモーターサーバソフトをアンインストールします。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」をクリックする

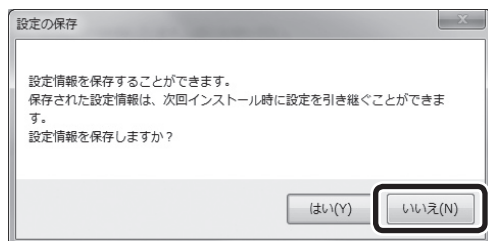
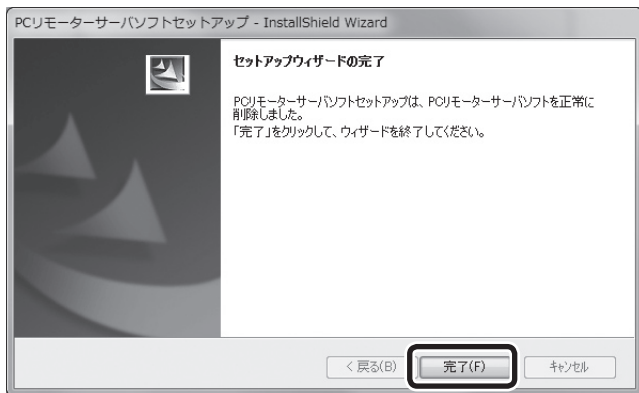
[プログラムのアンインストールまたは変更]画面が表示されます。

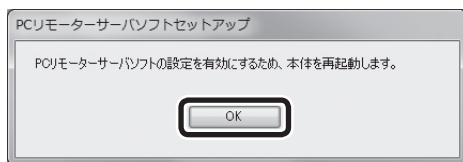
2 一覧から「PCリモーターサーバソフト」をクリックする

3 「アンインストール」をクリックする

4 「PCリモーターサーバソフトを削除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックする

5 [設定の保存]画面が表示されたら、「いいえ」をクリックする

この画面は、PCリモーターサーバソフトのバージョンが1.2.*.*以降の場合に表示されます。設定を保存しても、すでに登録済みの設定情報をLuiリモートスクリーン(親機版)に引き継ぐことはできません。

付録

6 PCリモーターサーバソフトを削除後、［セットアップウィザードの完了］画面が表示されたら、「完了」をクリックする

7 「PCリモーターサーバソフトの設定を有効にするため、本体を再起動します。」と表示されたら、「OK」をクリックする

パソコンが再起動します。

再起動時に、「PCリモーターサーバソフトのアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。」と表示される場合がありますが、正常にアンインストールされていますので、問題ありません。

これで、PCリモーターサーバソフトがアンインストールされました。

続いて、Luiリモートスクリーン（親機版）のインストールをおこないます。
PART1の「Luiリモートスクリーン（親機版）のインストール」（p.22）へ進んでください。

索引

英数字

あ行

か行

さ行

付録

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

Luiリモートスクリーンマニュアル

VALUESTAR
LaVie

Luiリモートスクリーンマニュアル

NEC
853-811090-001-A

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）